目次

FS-1000+

ECOSYS ページプリンタ

取扱い説明書

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱い説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本書をお読みください。

⚠警告	**この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠注意	**この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図中または近傍に具体的な注意内容(左図の場合は「感電注意」)が表示されています。

⃠記号は特定しない一般的な禁止行為であることを告げるものです。近傍に具体的な禁止内容の説明が表示されています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図中または近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は「分解禁止」)が表示されています。

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図中または近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」)が表示されています。

またこれら以外にも、印字品質に関する注意や、本機の操作上の注意等であることを示す「**ご注意**」表示もしています。

⚠ 警告ー電源/アース接続に関する警告

電源コードは電圧100 V(ボルト)、電源容量は15 A(アンペア)以上のコンセントへ直接差し込んでください。

電源コードを接続する前にアース接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続できない場合は、京セラミタ株式会社正規特約店、または弊社コールセンターへご相談ください。

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- タコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
- ガス管、電話専用アース線、避雷針、また途中からプラスチックになっている水道管や水道蛇口には、絶対にアース接続しないでください。引火、感電のおそれがあります。

⚠ 注意ー電源/アース接続に関する注意

電源プラグを抜く際は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

⚠ 警告ー設置/移動に関する警告

- 本機の上に金属物または花瓶、植木鉢、コップなど水の入った容器を置かないでください。中に入ったり、こぼれた場合は感電、火災のおそれがあります。
- 本機にある通気孔は、通気のために設けてありますのでふさがないでください。ふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 直射日光のあたる場所やカーテンに近い場所、またストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所には設置しないでください。発火の原因になることがあります。
- 本機は揮発性ガス(アルコール、シンナー、ガソリン等)や、可燃性ガスが発生する場所に設置しないでください。引火のおそれがあります。
- プリンタ本体本機に接続しているコード類には、子供が手を触れないよう十分ご注意ください。感電、けがのおそれがあります。

⚠ 注意ー設置/移動に関する注意

・ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

・湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因になることがあります。

・プリンタ装着時にはあやまって手をはさまないよう注意してください。けがの原因になることがありあます。

・狭い部屋で長時間使用するときは、換気にご注意ください。

・本機に寄りかかったり、必要以上の力を加えないでください。倒れたりしてけがの原因になることがあります。

・本機を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

⚠ 警告ー使用に関する警告

・外装カバーの固定されている部分は外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

・本機を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。

・お客様ご自身では、内部の点検・調整・修理を行わないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

・内部の点検・調整・修理は京セラミタ株式会社正規特約店、または弊社コールセンターへお申し付けください。

・万一、異常に発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。そして京セラミタ株式会社正規特約店、または弊社コールセンターへご連絡ください。

・万一、異物（金属片や液体等）が本機の内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。そして京セラミタ株式会社正規特約店、または弊社コールセンターへご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

⚠ 注意ー使用に関する注意

- 本機のカバーやカセット等の開閉時には、あやまって手をはさまないようご注意ください。けがの原因になることがあります。
- 本機の排紙ローラ部に、髪の毛や衣服等を近づけないようご注意ください。巻き込まれるおそれがあります。

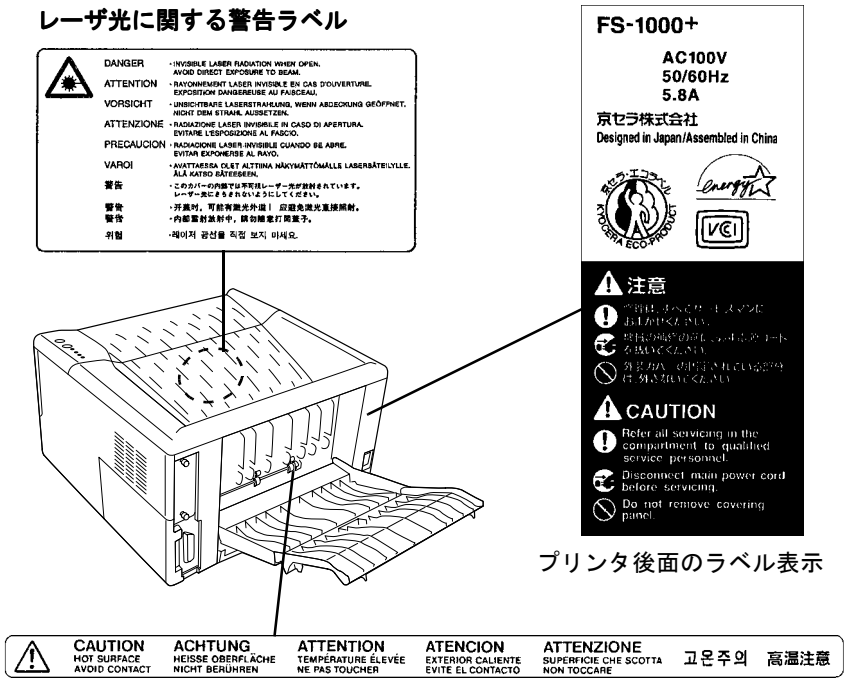
連休等で長期間本機を使用にならない場合は、安全のため必ず電源プラグを抜いてください。

⚠ 注意ーレーザ光に関する注意

本体内部のレーザスキャナ・ユニットではレーザ光が放射されています。内部のカバーには、警告ラベルが貼られています。(下図参照) レーザ光にさらされないために以下のことに注意してください。

- 本機内部の固定されているカバーは外さないでください。レーザ光がもれるおそれがあります。内部の点検・調整・修理はサービス実施店にご依頼ください。
- 本機を改造しないでください。火災、感電、およびレーザ光がもれるおそれがあります。

レーザ光に関する警告ラベル



プリンタ後面のラベル表示

後部カバー内部のラベル表示

ご注意

本書の内容の一部または全部を、無断転載することは禁止します。本書の内容は、改良などのために予告なしに変更することがあります。

本機を使用した結果の影響については、本説明書の内容にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた情報技術機器装置および周辺機器の高調波対策ガイドラインに適合しています。

コンピュータとプリンタとの接続は、シールドされたケーブルをお使いください。

お問い合わせ先

本プリンタの使用方法や技術的なお問合せは、お買い上げの京セラミタ株式会社正規特約店または下記にてうけたまわります。

京セラミタ株式会社

東日本テクニカル・サポートセンター　✆ 03 (3275) 8020
西日本テクニカル・サポートセンター　✆ 06 (6764) 3270
受付時間：10:00～12:00、13:00～17:00（日、祝祭日および弊社休業日を除く。）

オプション品の購入や故障などのお問い合わせは下記にてうけたまわります。

コールセンター　✆ フリーコール 0077 (78) 0038
受付時間：9:00～12:00、13:00～17:00
（土、日、祝祭日および弊社休業日を除く。）

商標について

- プリスクライブ、PRESCRIBE、エコシスおよびECOSYSは、京セラ株式会社の登録商標です。プリスクライブ2e、PRESCRIBE 2e、KPDLおよびKIRは、京セラ株式会社の商標です。
- IBM Proprinter X24Eは、米国IBM（International Business Machines）社の製品です。
- Power PCはIBM社の米国、その他の国における商標です。
- HP LaserJetは、米国ヒューレット・パッカード社の製品です。PCLは米国ヒューレット・パッカード社の登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windowsは、Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標です。
- 本プリンタがエミュレートしているHP LaserJetの制御言語であるPCL6は、米国Peerless Groupが開発した互換システムPeerlessPrintXLを使用しています。PeerlessPrintXLは米国Peerless Group（Redondo Beach, CA90278, U.S.A.）の商標です。
- TrueTypeは、米国Apple Computer, Inc.の登録商標です。
- PostScriptはAdobe Systems, Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- 本製品はウインドリバーシステムズ社のリアルタイムOS統合環境Tornade™を用いて開発されました。
- AGFA 本製品はAgfa CorporationからのUFST™とMicroTypeのフォントを搭載しています。

IBM PROGRAM LICENSE AGREEMENT

THE DEVICE YOU HAVE PURCHASED CONTAINS ONE OR MORE SOFTWARE PROGRAMS ("PROGRAMS") WHICH BELONG TO INTERNATIONAL BUSINESS MACHINES CORPORATION ("IBM"). THIS DOCUMENT DEFINES THE TERMS AND CONDITIONS UNDER WHICH THE SOFTWARE IS BEING LICENSED TO YOU BY IBM. IF YOU DO NOT AGREE WITH THE TERMS AND CONDITIONS OF THIS LICENSE, THEN WITHIN 14 DAYS AFTER YOUR ACQUISITION OF THE DEVICE YOU MAY RETURN THE DEVICE FOR A FULL REFUND. IF YOU DO NOT SO RETURN THE DEVICE WITHIN THE 14 DAYS, THEN YOU WILL BE ASSUMED TO HAVE AGREED TO THESE TERMS AND CONDITIONS.

The Programs are licensed not sold. IBM, or the applicable IBM country organization, grants you a license for the Programs only in the country where you acquired the Programs. You obtain no rights other than those granted you under this license.

The term "Programs" means the original and all whole or partial copies of it, including modified copies or portions merged into other programs. IBM retains title to the Programs. IBM owns, or has licensed from the owner, copyrights in the Programs.

1. License

Under this license, you may use the Programs only with the device on which they are installed and transfer possession of the Programs and the device to another party.

If you transfer the Programs, you must transfer a copy of this license and any other documentation to the other party. Your license is then terminated. The other party agrees to these terms and conditions by its first use of the Program.

You may not:

1) use, copy, modify, merge, or transfer copies of the Program except as provided in this license;
2) reverse assemble or reverse compile the Program; or
3) sublicense, rent, lease, or assign the Program.

2. Limited Warranty

The Programs are provided "AS IS".

THERE ARE NO OTHER WARRANTIES COVERING THE PROGRAMS (OR CONDITIONS), EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Some jurisdictions do not allow the exclusion of implied warranties, so the above exclusion may not apply to you.

3. Limitation of Remedies

IBM's entire liability under this license is the following;

1) For any claim (including fundamental breach), in any form, related in any way to this license, IBM's liability will be for actual damages only and will be limited to the greater of:
   a) the equivalent of U.S.$25,000 in your local currency; or
   b) IBM's then generally available license fee for the Program

This limitation will not apply to claims for bodily injury or damages to real or tangible personal property for which IBM is legally liable.

IBM will not be liable for any lost profits, lost savings, or any incidental damages or other economic consequential damages, even if IBM, or its authorized supplier, has been advised of the possibility of such damages. IBM will not be liable for any damages claimed by you based on any third party claim. This limitation of remedies also applies to any developer of Programs supplied to IBM. IBM's and the developer's limitations of remedies are not cumulative. Such developer is an intended beneficiary of this Section. Some jurisdictions do not allow these limitations or exclusions, so they may not apply to you.

4. General

You may terminate your license at any time. IBM may terminate your license if you fail to comply with the terms and conditions of this license. In either event, you must destroy all your copies of the Program. You are responsible for payment of any taxes, including personal property taxes, resulting from this license. Neither party may bring an action, regardless of form, more than two years after the cause of action arose. If you acquired the Program in the United States, this license is governed by the laws of the State of New York. If you acquired the Program in Canada, this license is governed by the laws of the Province of Ontario. Otherwise, this license is governed by the laws of the country in which you acquired the Program.

フォントの商標について

本プリンタに搭載されているフォントは、すべてAgfa Corporationからのライセンスを受けています。
Helvetica、Palatino、TimesはLinotype-Hell AGの登録商標です。
ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC Zapf Chancery、ITC Zapf Dingbatsは、International Typeface Corporationの登録商標です。

Agfa Japanライセンス契約

1. 「本件ソフトウェア」とは、特殊なフォーマットで符号化された、デジタル符号の機械読取可能なスケーラブル・アウトライン・データならびにUFST ソフトウェアを意味するものとします。
2. お客様は、お客様自身の通常の業務目的または個人的な目的で、アルファベット、数字、文字および記号(「タイプフェース」)のウェート、スタイルおよびバージョンを複製および表示するために本件ソフトウェアを使用する非独占的ライセンスを受諾することに同意します。Agfa Japanは、本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するすべての権利、権原および利権を留保します。本契約において明示的に規定した条件に基づき本件ソフトウェアを使用するライセンス以外には、いかなる権利もお客様に許諾されません。
3. Agfa Japanの財産権を保護するため、お客様は本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するその他の財産的情報を極秘に保持すること、また、本件ソフトウェアおよびタイプフェースへのアクセスとその使用に関する合理的な手続きを定めることに同意します。
4. お客様は本件ソフトウェアまたはタイプフェースを複製またはコピーしないことに同意します。
5. このライセンスは、早期終了しない限り、本件ソフトウェアおよびタイプフェースを使用し終わるまで存続するものとします。お客様が本契約ライセンスの条件の遵守を怠り、当該不履行がAgfa Japanからの通知後30日以内に是正されなかったときは、Agfa Japanは本ライセンス契約を解除することができます。本ライセンス契約が満了するか、または解除された時点で、お客様は要求に応じて本件ソフトウェアとタイプフェースの複製物ならびに文書をすべてAgfa Japanに返却するか、または破棄するものとします。
6. お客様は、本件ソフトウェアの変更、改変、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングまたは逆コンパイルを行わないことに同意します。
7. Agfa Japanは、引渡し後90日間について、本件ソフトウェアがAgfa Japanの発表した仕様に従って作動すること、欠陥がないことを保証します。Agfa Japanは、本件ソフトウェアにバグ、エラーおよび脱落が一切ない旨の保証を行いません。
   当事者は、特定目的適合性および商品性の保証を含む明示または黙示の他のすべての保証が排除されることに合意します。
8. 本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するお客様の排他的救済手段およびAgfa Japanの唯一の責任は、欠陥のある部品をAgfa Japanに返却した時点で修理または交換することです。いかなる場合もAgfa Japanは、本件ソフトウェアおよびタイプフェースの誤用または不正使用により引き起こされた喪失利益、喪失データ、またはその他の付随的損害、派生的損害その他の損害について責任を負いません。
9. 本契約はアメリカ合衆国ニューヨーク州の法律に準拠します。
10. お客様は、Agfa Japanの事前の書面による同意がない限り、本件ソフトウェアおよび/またはタイプフェースの再使用許諾、販売、リースまたはその他の方法による譲渡を行ってはなりません。
11. 政府による使用、複製または開示は、FAR252-227-7013「技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する権利」の(b) (3) (ii) 項または (c) (1) (ii) 項に定められた制限を受けます。さらに、使用、複製または開示は、FAR52. 227-19 (c) (2) 項に定められたソフトウェアの限定的権利に適用される制限を受けます。
12. お客様は、本契約を自ら読了し、了解したことを認め、また本契約の諸条件により拘束されることに同意します。いずれの当事者も、本契約に記載されていない言明または表明により拘束されないものとします。本契約の変更は、各当事者の正当な権限を有する代表者が署名した書面による場合を除き、効力は一切ありません。

京セラ株式会社は国際エネルギースター・プログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースター・プログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースター・プログラムは、その基準に適合した機器の製造・販売を促進させることにより、効率的なエネルギー活用を促進し、エネルギーの消費にともなう環境汚染を低減させることを基本目的としています。

本プリンタは国際エネルギースター・プログラムの基準に適合した、スリープ・タイマ機能を搭載しています。この機能を使用することにより、プリンタの電力消費を抑えることができます。またプリンタを長時間使用しない場合は、プリンタの電源を切ってください。

スリープモードの初期設定時間	スリープモード時の電力消費量
5分(15分)	5 W(20 W)

(　)はエネルギースター・プログラムの基準値です。

財団法人日本環境協会エコマーク事務局認定エコマーク商品

認定理由: 廃棄物の少ない事務機器用プリンタ(交換部品を少なくし、消耗品のみを補給できるようにした製品。部品の長期使用、廃棄物の減量になる。)

このマークは、京セラ株式会社が推奨する地球環境負荷の軽減に貢献する当社製品に表示しています。

本機はノンカートリッジ方式のページプリンタです。長寿命の感光体ドラムや現像器などの使用により、従来定期的に交換していたドラムカートリッジの廃棄物を減らすことができます。

はじめに

このたびは京セラページプリンタをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本プリンタをご使用になる前に、この取扱い説明書をよくお読みくださいますようお願い申し上げます。また、製品に注意、警告等の表示がある場合は、それにしたがってください。

この取扱い説明書は、いつでも見られるところに必ず保管してください。ご使用中にわからないことや、不具合が生じた際に便利です。

本プリンタは仕様の範囲内でご使用いただくとともに、保守契約を結ばれることをおすすめします。

本機の特長

本機は以下のような主な特長を備えています。

驚異的な長寿命部品

ドラム、現像ユニット、定着ユニットなど、従来のプリンタでは消耗品であった主要部品は長寿命設計されており、定期的な交換は不要になりました。このため、定期的に必要なメンテナンスはトナーコンテナ(TK-17)の交換(約6,000ページ印字毎)と、プリンタ内部を清掃することだけです。

消耗品には可燃性素材を使用

環境に配慮し、消耗品であるトナーコンテナには可燃性素材を使用しています。トナーコンテナは各自治体の条例、規則にしたがって廃棄してください。また、京セラグループでは環境問題を考慮し、使用済みトナーコンテナの無償回収を実施しております。詳しくは、トナーコンテナに同梱されている「トナーコンテナ引き取り回収依頼書」または京セラミタ株式会社のホームページ(http://www.kyoceramita.co.jp/ecosys/recycle/)をご覧ください。

スリープモード

一定の時間内にプリンタの設定やデータの受信が行われなかった場合、電力の消費を抑えるスリープモードを搭載しています。

エコプリント

トナーの消費量を抑えて印字を行うエコプリント機能を搭載しています。エコプリント機能を使うと同量のトナーでより多くの印字が可能です。

双方向パラレルインタフェースを採用

IEEE1284に準拠したパラレルインタフェースでコンピュータとのデータ転送を高速に行います。

多彩な欧文フォントを搭載

欧文スケーラブルフォント45種類と、欧文ビットマップフォント1種類を内蔵しています。

プリスクライブ･コマンド

グラフィック機能がより強化されたページプリンタ制御言語プリスクライブ･コマンドを内蔵しています。マージン設定や文字間隔、行間隔の変更、アウトラインフォントや図形に対しての回転、塗りつぶしなどを簡単なコマンドで実現することができます。

PDF417 二次元スタックシンボル対応

二次元スタックシンボルPDF417(Portable Data File 417)に対応しています。

京セラミタ･プリントモニタ

京セラミタ･プリントモニタはネットワーク上のプリンタの状態を確認できるユーティリティです。京セラミタ･プリントモニタは、付属の**Kyocera Mita Digital Library** CD-ROMに収録しています。

リモートオペレーションパネル･ユーティリティ

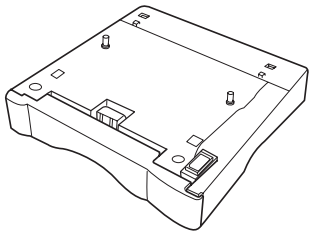
プリンタに接続したコンピュータのディスプレイ上に、プリンタの仮想操作パネルを表示させるユーティリティです。ローカル(パラレルインタフェース)接続でもネットワーク接続でも使用でき、Windows 95/98、Windows NT 4.0、Windows 2000上でプリンタの設定を行ったり、プリンタの状態をモニタすることができます。

リモート･オペレーションパネルは付属の**Kyocera Mita Digital Library** CD-ROMに添付されています。

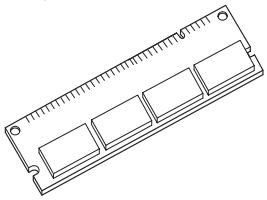
オプションについて

本プリンタには以下のオプションが用意されています。これらのオプション機器については、京セラミタ株式会社正規特約店、または弊社コールセンターへお問い合わせください。

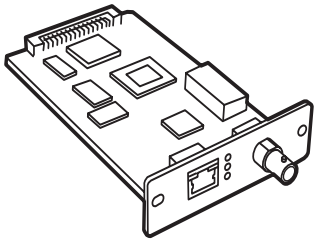
PF-17 ペーパーフィーダ



拡張メモリチップ(DIMM)



IB-20/IB-21ネットワーク・インタフェースカード



付属マニュアルの紹介

本プリンタには次のマニュアルが付属しています。

マニュアル	内容
取扱い説明書(本書)	機能、操作方法など、本プリンタを使用する上で必要となる情報を詳しく説明しています。また、各種のトラブルの対処方法も説明しています。目的や必要に応じて、必要な部分をお読みください。
設置マニュアル(印刷物)	プリンタの設置から、印字テストまでの手順を説明しています。
クイックガイド(印刷物)	トナーキットの交換手順、お手入れの手順を説明しています。また、エラー発生時のインジケータ表示を一覧にまとめてあります。

また、プリンタの制御言語であるプリスクライブ・コマンドを使用して印字プログラムを作成するためのプログラマ用マニュアルとして、***プリスクライブII プログラミング・マニュアル*** が用意されています。お求めについては、京セラミタ株式会社正規特約店、または弊社コールセンターへお申し付けください。

目次

安全に正しくお使いいただくために i

はじめに ix

本機の特長 x

オプションについて xii

付属マニュアルの紹介 xiii

第 1 章 Windowsから印字するには 1-1

プリンタドライバのインストール 1-2

アプリケーションからの印字 1-5

第 2 章 操作パネル 2-1

操作パネルの名称と機能 2-2

インジケータの表示とその意味 2-3

キーの機能 2-3

リモート・オペレーションパネルについて 2-6

動作環境 2-6

リモート・オペレーションパネルのインストール 2-7

リモート・オペレーションパネルの起動 2-9

リモート・オペレーションパネルの名称と機能 2-10

リモート・オペレーションパネルの基本設定 2-12

プリンタとの接続 2-15

メニュー項目 2-16

用紙に関連する設定 2-17

コピー枚数(印字枚数)の設定 2-17

印字方向の設定 2-18

給紙元の選択 2-19

用紙サイズの設定 2-20

用紙タイプ(用紙の厚さ)の設定 2-22

給紙元のプロパティ 2-24

プリンタの基本設定 2-25

印字濃度の設定 2-25

KIRモードの選択 2-27

エコプリントモードの選択 2-29

解像度の選択 2-30
自動改ページ待ち時間(タイムアウト)の設定 2-31
スリープモードの設定 2-32
エミュレーションの選択 2-34
ネットワーク・インタフェースカードの設定 2-36
RAMディスクの設定 2-37
リモート・オペレーションパネルの表示言語の選択 2-39

その他の設定 2-41
プリンタの設定 2-41
プリンタのパスワード設定 2-42
プリンタメモリの確認 2-44
ホストバッファの設定 2-45
固定資産番号の設定 2-47
リソースリストの表示 2-48
プリスクライブ・コマンドをプリンタに送る 2-50

第3章 日常のメンテナンス 3-1
トナーコンテナの交換 3-2
トナーの補給 3-3

清掃 3-7

第4章 困ったときは 4-1
一般的な問題について 4-2

印字品質の問題 4-3

インジケータ 4-5
メンテナンス要求表示 4-6
プリンタの修理を要するエラー表示 4-8
対処可能なエラー表示 4-11
通常時の表示 4-12

紙詰まりの処置 4-13
排紙トレイ部での紙詰まり 4-13
給紙カセット部での紙詰まり 4-14
プリンタ内部での紙詰まり 4-14

第5章 用紙について 5-1
用紙の基本仕様 5-2
使用できる用紙 5-2
用紙の基本仕様 5-2

適正紙の選択 5-3

特殊な用紙 5-7
OHPフィルム 5-8
ラベル用紙 5-8

第 6 章 ファームウェア･パラメータ 6-1
ファームウェア設定 6-2
インタフェース独立FRPOパラメータ 6-3
インタフェース共有FRPOパラメータ 6-5

付録 A フォント A-1
内蔵フォント A-2
フォントリスト A-3

付録 B メモリの増設 B-1

付録 C インタフェース C-1
パラレルインタフェースのコミュニケーションモード C-2
インタフェース信号 C-3

付録 D プリンタの仕様 D-1

付録 E 用語集 E-1

索引 索引-1

第 1 章 Windowsから印字するには

この章ではプリンタドライバのインストールと、用紙サイズの設定や給紙元の選択など、プリンタドライバの基本的な操作方法について解説します。

プリンタドライバについて
プリンタに付属のCD-ROM（Kyocera Mita Digital Library）にはWindows対応のプリンタドライバが収録されています。プリンタドライバを、お使いのコンピュータにインストールすると、Windowsのアプリケーションから印字を行うことができます。

プリンタドライバのインストール 1-2
アプリケーションからの印字 1-5

プリンタドライバのインストール

セットアップウィザードから、プリンタドライバをコンピュータにインストールする手順を説明します。画面の指示にしたがってインストールを進めてください。

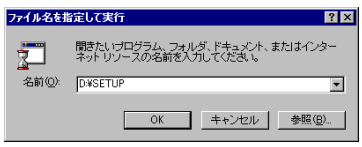
1 付属のCD-ROM (Kyocera Mita Digital Library) をコンピュータのCD-ROMドライブに入れてください。

お知らせ

付属のCD-ROMの¥DRIVERS¥JAPANESE以外のフォルダにあるファイルは海外向けのものです。それらを本プリンタに使用した場合はサポートの対象になりません。

2 CDの自動起動が設定されているコンピュータの場合、付属のCD-ROMを入れると自動的にメインメニューの画面が表示されます。

自動的にメインメニューの画面が表示されない場合は、Windowsのタスクバーにある**スタート**ボタンをクリックし、**ファイル名を指定して実行**をクリックします。次の画面が表示されますので**名前**に[CD-ROMのドライブ名]:¥SETUPと入力してください。



OKボタンをクリックすると、インストール画面のメインメニューが表示されます。

3 メインメニューの**ドライバのインストール**をクリックしてください。**京セラ　ドライバ　セットアップ　ウィザード**が起動します。

4 **次へ**をクリックしてください。

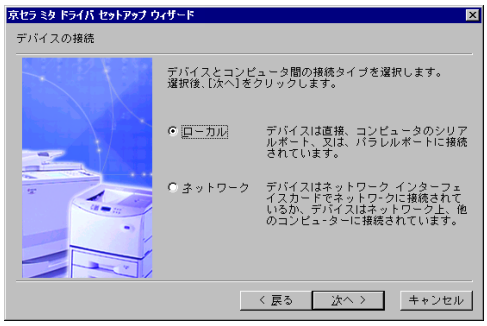
5 **デバイスモデルの選択**が表示されますので、**FS-1000+**を選択してください。

6 **次へ**をクリックしてください。

7 **ドライバタイプ**の選択が表示されますので、**京セラ　ミタ　FS-1000+**が選択されていることを確認して、**次へ**をクリックしてください。

8 エンドユーザライセンス契約書が表示されますので、内容をお読みになり、内容にご同意いただける場合は、**同意する**をクリックしてください。

9 **デバイスの接続**が表示されますので、プリンタの接続タイプを選択してください。パラレルインタフェースで接続する場合は**ローカル**を、ネットワークインタフェースで接続する場合は**ネットワーク**を選択してください。



10 **次へ**をクリックし、セットアップウィザードの指示にしたがって引き続きインストールを進めてください。

アプリケーションからの印字

ここではMicrosoft Wordを例に、アプリケーションからの印字方法を説明します。

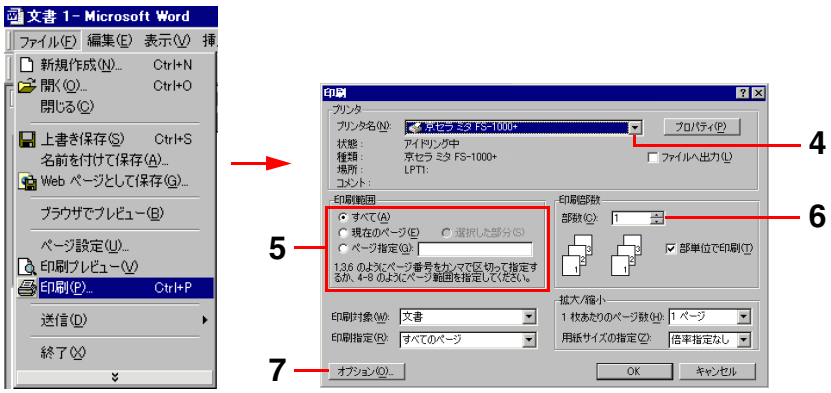
お知らせ

- **プリンタの給紙カセットから給紙するときは、MPトレイに用紙をセットしないでください。MPトレイは初期設定では優先モード(優先的にMPトレイから給紙するモード)に設定されています。優先モードの設定を変更するには、*リモート・オペレーションパネル* でプリスクライブ・コマンドのFRPO T0コマンドをプリンタに送ります。(2-50ページの *プリスクライブ・コマンドをプリンタに送る* を参照。)FRPOコマンドについては *第6章 ファームウェア・パラメータ* を参照してください。**
- **ローカル接続している場合には、アプリケーションからの印字は、*リモート・オペレーションパネル* を閉じてから行ってください。**

1 アプリケーションで作成した文書に合ったサイズの用紙を、プリンタの給紙カセットにセットします。(用紙のセット方法については ***設置マニュアル*** を参照してください。)

2 ***リモート・オペレーションパネル*** で給紙カセットにセットした用紙サイズを設定します。(2-20ページの ***用紙サイズの設定*** を参照。)アプリケーションで指定した用紙サイズと異なるサイズを設定すると正しく印字されない場合があります。

3 メニューバーの**ファイル**をクリックし、**印刷**をクリックしてください。**印刷**ダイアログボックスが表示されます。

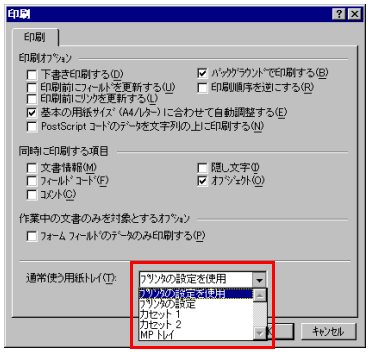


4 **プリンタ名**のドロップダウンリストから、**京セラ ミタ FS-1000+**を選択してください。

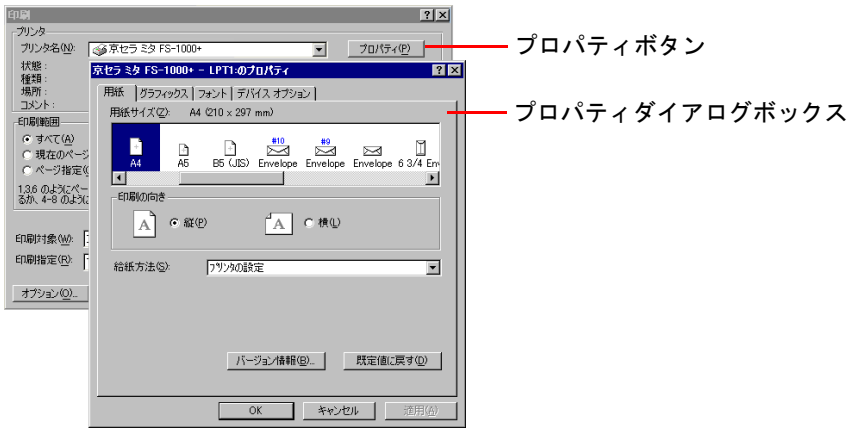
5 **印刷範囲**グループから、印字する範囲をクリックして選択してください。**ページ指定**を選択した場合は、**ページ指定**の下に示されている例にしたがって印字するページをテキストボックスに入力してください。

6 **部数**コンボボックス右の▲または▼ボタンをクリックするか、コンボボックス内に直接数値を入力して印字枚数を指定してください。

7 **オプション**ボタンをクリックしてください。**印刷**ダイアログボックスが表示されますので、**通常使う用紙トレイ**のドロップダウンリストから**プリンタの設定を使用**を選択し、**OK**ボタンをクリックしてください。

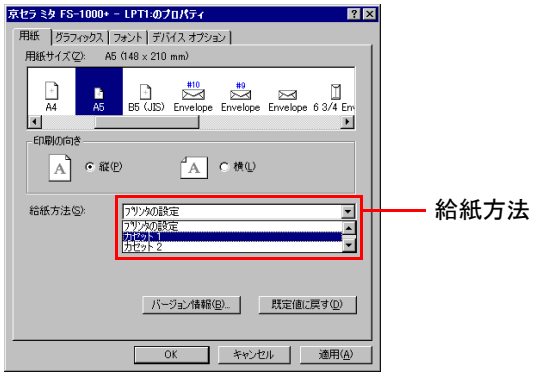


8 **印刷**ダイアログボックスの**プロパティ**ボタンをクリックしてください。**プロパティ**ダイアログボックスが表示されます。



9 **用紙**タブを選択し、**用紙サイズ**リストボックスから印字する用紙サイズのアイコンをクリックしてください。(下の例はA5サイズを選択しています。)

10 **給紙方法**のドロップダウンリストから給紙元を選択します。プリンタの給紙カセットは**カセット1**、オプションのペーパーフィーダは**カセット2**を選択してください。



11 **OK**ボタンをクリックすると、ふたたび**印刷**ダイアログボックスに戻ります。**OK**ボタンをクリックすると印刷が開始します。

お知らせ

アプリケーションから行った設定は、そのアプリケーションを終了するまで有効です。次回アプリケーションを起動したときには、また初期設定の状態に戻ります。初期設定を変更するには、Windowsからのプリンタ設定で行ってください。

第２章　操作パネル

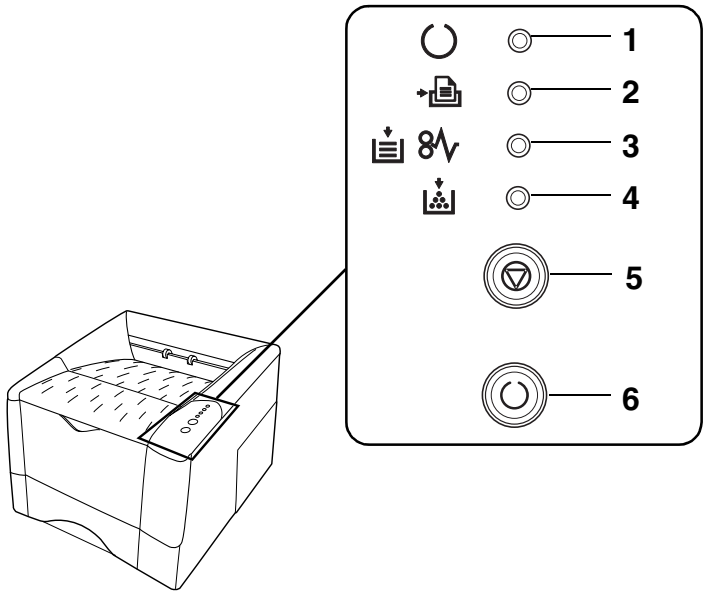
この章では操作パネル部のインジケータ、キーの説明、およびユーティリティのリモート・オペレーションパネルのインストールとその使いかたについて解説します。

操作パネルの名称と機能 **2-2**
リモート・オペレーションパネルについて **2-6**
リモート・オペレーションパネルの基本設定 **2-12**
用紙に関連する設定 **2-17**
プリンタの基本設定 **2-25**
その他の設定 **2-41**

操作パネルの名称と機能

プリンタ上部の操作パネルには4つのインジケータと2つのキーがあります。これらのインジケータは点灯、消灯、点滅の組み合わせによって、プリンタの現在の状態（通常/エラー）をあらわします。

インジケータやキーの名称と説明は、次ページからの表を参照してください。下図の番号は、表の参照番号欄の数字に対応しています。



インジケータの表示とその意味

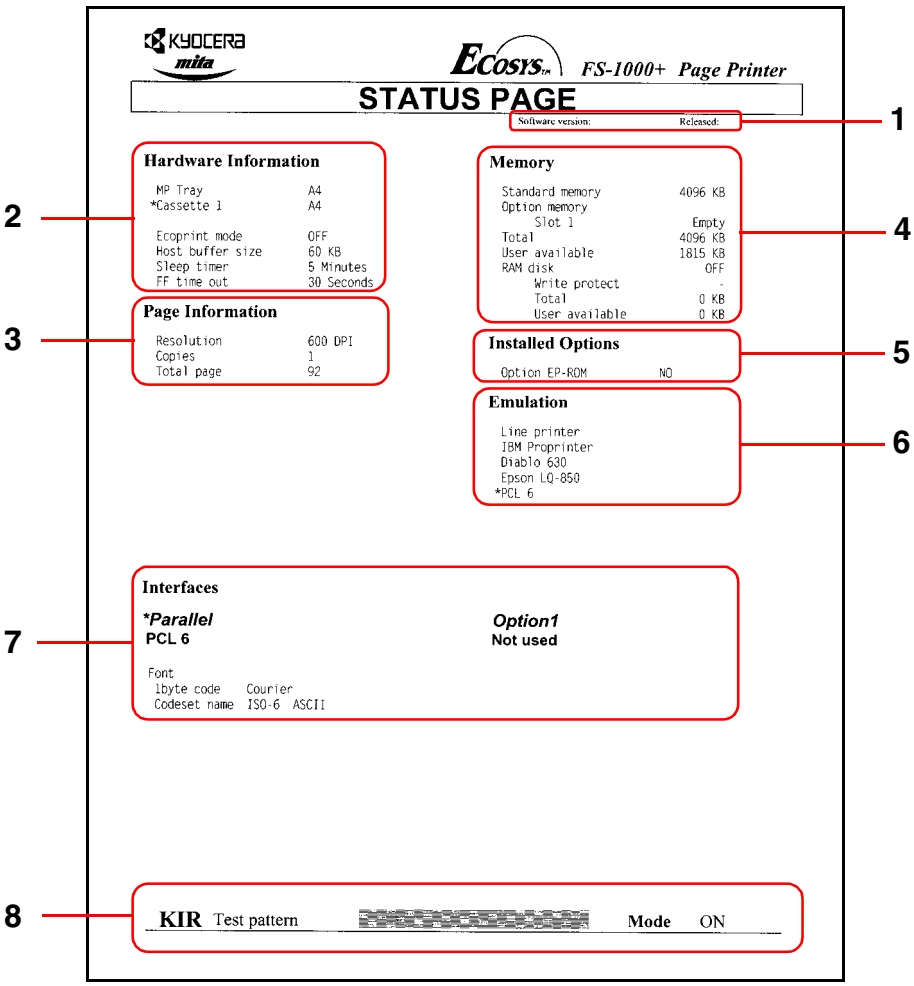
参照番号	名前	状態	意味
1	オンライン インジケータ （緑色）	点灯	プリンタはオンライン状態です。(印字可能です。)
		点滅	・エラーが起きていますが、 キーを押すと処理を続行します。 ・プリンタはオフラインの状態です。印字は行いませんが、データの受信は可能です。 ・プリンタがスリープモードになっています。操作パネルのキーを押したり、本体のカバーを開閉したり、またはデータを受信するとウォーミングアップ後にオンライン状態になります。
		消灯	エラーによりプリンタが停止しています。
2	データ インジケータ （緑色）	点灯	データ処理中です。
		点滅	データ受信中です。
3	注意 インジケータ （赤色）	点灯	本体のカバーが開いています。
		点滅	・紙詰まりが起きています。 ・給紙カセットが正しく装着されていないか、または用紙が入っていません。
		消灯	正常な状態です。
4	トナー インジケータ （赤色）	点灯	トナーが無くなりました。新しいトナーコンテナに交換してください。
		点滅	トナーが残り少なくなりました。新しいトナーコンテナの準備をしてください。

キーの機能

参照番号	名前	機能
5	キー （キャンセルキー）	1秒以上押しつづけると、実行中の処理を中止します。
6	キー （実行キー）	・このキーを押すと(3秒以内)、プリンタのオンラインとオフラインを切り替えます。 ・給紙トレイに用紙が無くなったとき、このキーを押すとMPトレイと給紙カセットを切り替えて給紙します。 ・このキーを押してから操作を続けるよう**リモート・オペレーションパネル**にエラーメッセージが表示されることがあります。その場合は、このキーを押してから操作を続行してください。 ・3秒以上10秒以内の間押しつづけると標準ステータスページ*が印字されます。 ・10秒以上押しつづけると、サービス・ステータスページが印字されます。

*** 標準ステータスページについては2-4ページを参照してください。サービス・ステータスページは修理などの際にサービス担当者が使用します。**

以下の画像は標準ステータスページの出力例です。各項目については次のページで解説しています。



お知らせ

プリンタのファームウェアのバージョンにより、標準ステータスページに印字される項目や値が異なる場合があります。

1 — Software Version

ファームウェアのバージョンと発行日付です。

2 — Hardware Information

現在選択されている給紙元(＊マークで表示)と用紙サイズと、プリンタの主な設定項目についての情報です。

3 — Page Information

現在の解像度、印字部数、プリンタの総印字枚数が表示されます。

4 — Memory

プリンタに装着されている総メモリと、現在使用可能なメモリ、および現在のRAMディスクの状態が表示されます。

5 — Installatied Options

プリンタのオプション機器の装着状態が表示されます。

6 — Emulation

設定できる全エミュレーションと、現在選択されているインタフェースが表示されます(＊マークで表示)。

7 — Interface

プリンタに装着されているすべてのインタフェースと、現在選択さてているインタフェースが表示されます(＊マークで表示)。

Font欄には、プリンタ起動時に自動的に選ばれるフォント(初期設定のフォント)が表示されます。

8 — KIR Test Pattern

プリンタのKIRモードを設定する際に利用します。詳しくは2-27ページの***KIRモードの選択***を参照してください。

リモート･オペレーションパネルについて

リモート･オペレーションパネルはプリンタ付属のCD-ROMに収録されています。**リモート･オペレーションパネル**をコンピュータにインストールすれば、コンピュータのディスプレイ上にプリンタの状態や紙詰まりなどのエラーメッセージを表示させたり、コンピュータからプリンタの基本的な設定を行うことができます。**リモート･オペレーションパネル**から設定した内容は、プリンタのデフォルト設定になります。ただし印字時はアプリケーションからの設定が優先します。

動作環境

リモート･オペレーションパネルはWindows 95/98、Windows NT 4.0、Windows 2000上で動作します。Windows 95/98上ではローカル接続（パラレル）またはネットワーク接続（TCP/IPまたはIPX/SPX）で、Windows NT 4.0、Windows 2000上ではネットワーク接続でのみ使用することができます。

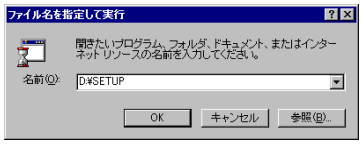
お知らせ

- **リモート･オペレーションパネルは上記以外のOS上では動作しません。**
- **ローカル接続している場合には、アプリケーションからの印字は、リモート･オペレーションパネルを閉じてから行ってください。**

リモート･オペレーションパネルのインストール

1 付属のCD-ROM(Kyocera Mita Digital Library)をコンピュータのCD-ROMドライブに入れてください。CDの自動起動が設定されているコンピュータの場合、付属のCD-ROMを入れると自動的に下図のメインメニューの画面が表示されます。

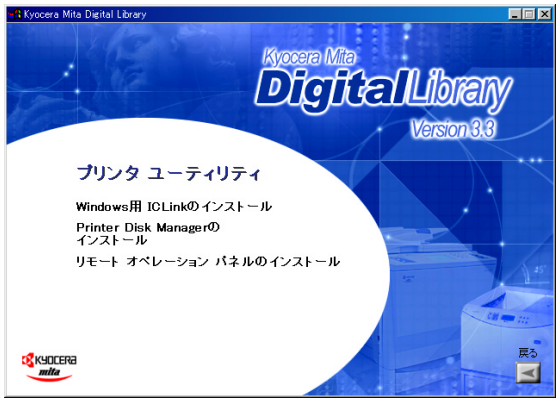
自動的にメインメニューの画面が表示されない場合は、Windowsのタスクバーにある**スタート**ボタンをクリックし、**ファイル名を指定して実行**をクリックします。次の画面が表示されますので**名前**に[CD-ROMのドライブ名]:¥SETUPと入力してください。



OKボタンをクリックすると、リモート･オペレーションパネルのインストール画面が表示されます。

2 **プリンタ ユーティリティ**をクリックしてください。ユーティリティのインストールメニューが表示されます。

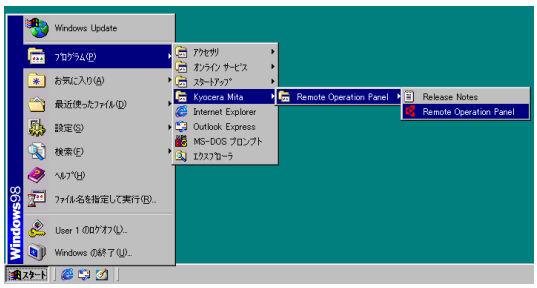
3 メニューの**リモート オペレーション パネルのインストール**をクリックしてください。**Remote Operation Panel Setup**が起動します。



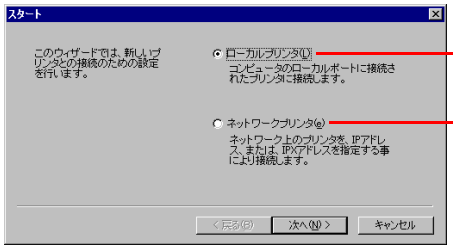
4 画面の指示にしたがってインストールを行ってください。

リモート･オペレーションパネルの起動

1 Windowsのタスクバーにある**スタート**ボタンをクリックして**プログラム**にカーソルを合わせ、**Kyocera Mita**、**Remote Operation Panel**の順にカーソルを合わせて、表示された項目の中から**Remote Operation Panel**をクリックしてください。



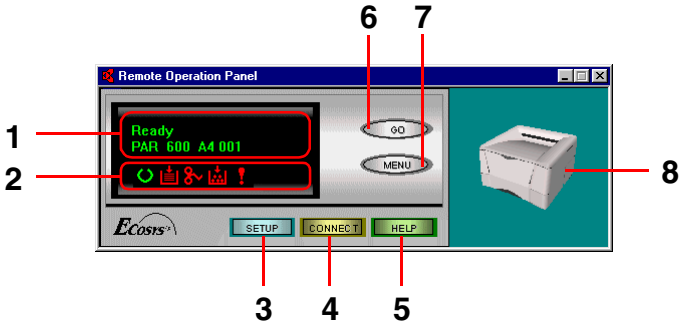
2 接続のためのウィザードが起動します。ローカル接続されたプリンタに接続するには、**ローカルプリンタ**を選択して**次へ**をクリックしてください。ネットワーク接続されたプリンタに接続するには、**ネットワークプリンタ**を選択して**次へ**をクリックしてください。



3 画面の指示にしたがって操作してください。ウィザードに表示される内容は選択した接続形態によって異なります。

リモート･オペレーションパネルの名称と機能

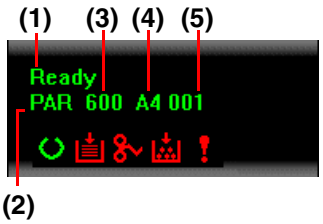
リモート･オペレーションパネルの起動画面



次の表で**リモート･オペレーションパネル**各部の名称と機能を説明します。

お知らせ

上図の番号は、下表の参照番号の数字に対応します。

参照番号	名前	機能
1	メッセージディスプレイ  	(1) ReadyやPaper jamなどの、プリンタの状態やエラーメッセージを表示します。プリンタのステータスが表示されます。 (2) 現在選択されているインタフェースを表示します。 **PAR:** 標準パラレルインタフェース **OPT:** オプションのネットワークインタフェース (3) 解像度を表示します。 **300:** 300 dpi **600:** 600 dpi (4) 現在選択されている給紙カセットの用紙サイズを表示します。 (5) 設定されている印字部数を表示します。 **お知らせ** • **(2)から(5)は、プリンタがネットワーク接続されている場合に表示されます。** • **エラーが発生すると、(2)から(5)の表示は消え、エラーメッセージを表示します。**

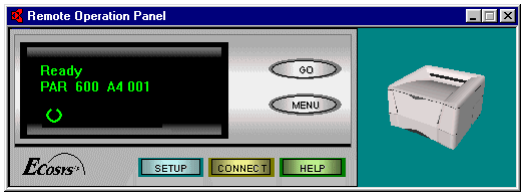
次ページへ続く

参照番号	名前	機能
2		プリンタの状態をアイコンで表示します。 ：印字できます。 ：給紙カセットが正しく装着されていないか、または用紙が入っていません。 ：紙詰まりが起きています。4-13ページの***紙詰まりの処置***を参照して、詰まった用紙を取り除いてください。 ：トナーが残り少なくなっているか、または無くなっています。新しいトナーコンテナに交換してください。詳しくは、3-2ページの***トナーコンテナの交換***を参照してください。 ：エラーが起きています。4-5ページの***インジケータ***を参照して、表示されたメッセージについての説明をご覧ください。
3	**SET UP** ボタン 	**リモート･オペレーションパネル**の以下の項目の基本設定を行えます。 ・ポーリング間隔 ・エラー通知 ・プリンタ画像表示 詳しくは、2-12ページの***リモート･オペレーションパネルの基本設定***の基本設定を参照してください。
4	**CONNECT** ボタン 	プリンタとコンピュータの接続方法を選択する画面が表示されます。ローカル接続(パラレルインタフェース)またはネットワーク接続のいずれかを選択します。詳しくは、2-15ページの***プリンタとの接続***を参照してください。
5	**HELP** ボタン 	ヘルプが表示されます。
6	**GO** ボタン 	このボタンはプリンタの ◎ キーと同様に、以下の機能をもっています。 ・プリンタのオンラインとオフラインの切り替え ・**リモート･オペレーションパネル**にPress GOのエラーメッセージが表示された場合の処理の続行 **お知らせ** **プリンタがローカル接続されている場合は、ボタンに「GO」の文字は表示されません。また、ボタン自体も機能しません。**
7	**MENU** ボタン 	**リモート･オペレーションパネル**から設定できる、プリンタの設定メニューを表示します。詳しくは、2-16ページの***メニュー項目***を参照してください。
8	プリンタイメージ 	プリンタの状態をアニメーションで視覚的に表示します。たとえばプリンタの上部カバーが開いている場合、プリンタイメージの上部カバーも開いて表示されます。 **お知らせ** **プリンタの状態が、プリンタイメージに反映されるまでに数分かかる場合があります。**

リモート･オペレーションパネルの基本設定

リモート･オペレーションパネルでプリンタの設定を行う前に、ポーリング間隔、エラー通知、プリンタの状態をモニタするための3D表示のプリンタイメージを表示させるかどうかなど、**リモート･オペレーションパネル**の動作設定を以下の手順で変更することができます。

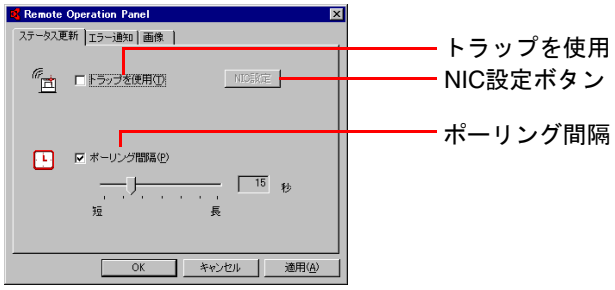
1 **リモート･オペレーションパネル**の初期画面の**SETUP**ボタンをクリックします。



2 次のダイアログボックスが表示されますので、説明を読んで設定を行ってください。

ステータス更新

ステータス更新タブをクリックしてください。



トラップを使用(自動通知)

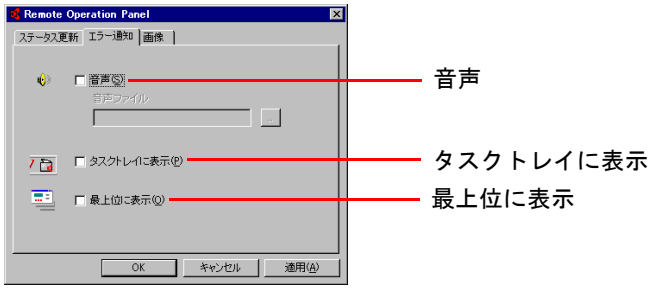
このチェックボックスをチェックすると､たとえば上部カバーが開いているか閉まっているかなど､ネットワーク･インタフェースカードから自動的に出力されるプリンタの状態に関する情報を**リモート･オペレーションパネル**が取得して､画面に表示します｡この機能を有効にするにはネットワーク･インタフェースカードからのステータス通知機能が有効になっている必要があります｡**NIC設定**ボタンをクリックしてネットワーク･インタフェースカードのホームページを開き､SNMPのトラップ通知を有効にしてください｡

ポーリング間隔

このチェックボックスをチェックして**ポーリング**を有効にすると､**リモート･オペレーションパネル**が一定の間隔でプリンタの状態の変化を確認します｡この間隔は､マウスでスライダを移動させることで変更できます｡初期設定値は15秒です｡通常は**ポーリング**を有効にしておいてください｡

エラー通知

エラー通知タブをクリックしてください｡該当するチェックボックスをチェックすると､それぞれの項目が有効になります｡



ここではエラー通知の方法を設定します｡

音声

エラーが起こると音声ファイルが再生されます｡チェックボックスをチェックしてから**音声ファイル**ボックス右のボタンをクリックすると､再生するファイルを選択するダイアログボックスが表示されますので､拡張子｢.wav｣のファイルを指定してください｡

タスクトレイに表示

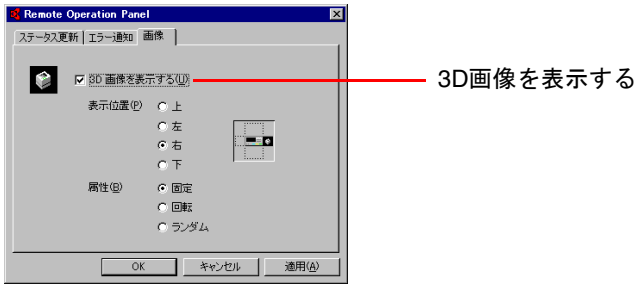
エラーが起こるとタスクトレイにアイコンを表示して通知します｡

最上位に表示

エラーが起こると､そのとき開いている全ウィンドウの最上位にメッセージを表示します｡

画像

画像タブをクリックしてください。



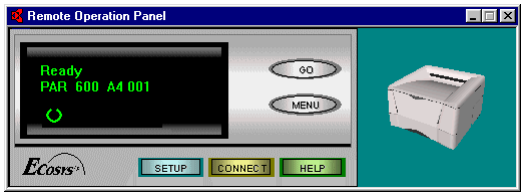
3D画像を表示する

プリンタの状態をモニタするための、3D表示のプリンタイメージを表示します。また、この画面でプリンタイメージの**表示位置**とアニメーション動作(**固定**、**回転**、**ランダム**)を選択することもできます。

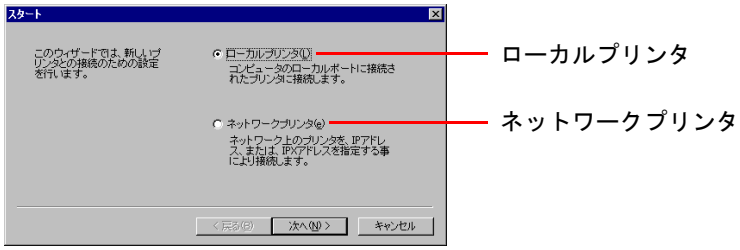
プリンタとの接続

リモート･オペレーションパネルは､プリンタとコンピュータがパラレルインタフェースでローカル接続されている場合にも､ネットワーク(TCP/IPまたはIPX/SPX)接続されている場合にも使用することができます｡プリンタとの接続は､次の手順で行ってください｡

1 **リモート･オペレーションパネル**の初期画面の**CONNECT**ボタンをクリックします｡

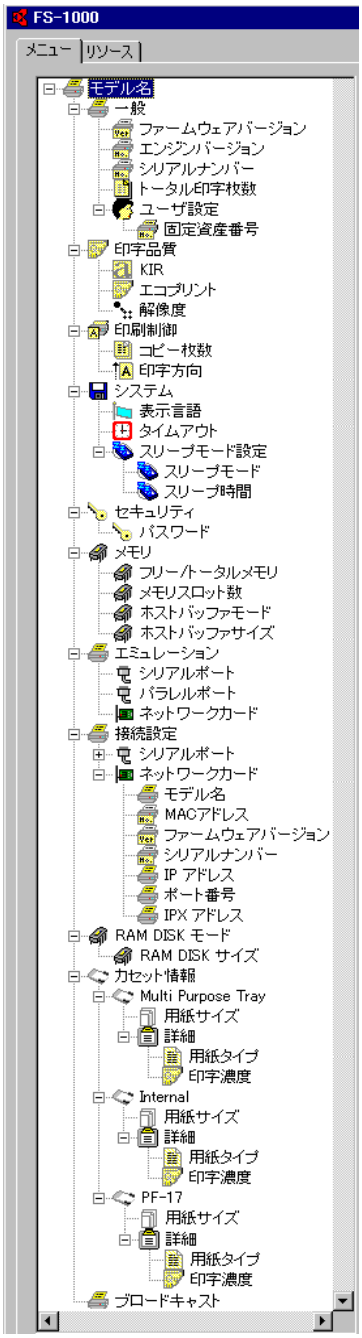


2 接続のためのウィザードが起動します｡ローカル接続されたプリンタに接続するには､**ローカルプリンタ**を選択して**次へ**をクリックしてください｡ネットワーク接続されたプリンタに接続するには､**ネットワークプリンタ**を選択して**次へ**をクリックしてください｡



3 画面の指示にしたがって操作してください｡ウィザードに表示される内容は選択した接続形態によって異なります｡

メニュー項目



リモート･オペレーションパネルの**MENU**ボタンをクリックすると､左のようなメニューが表示されます｡(わかりやすくするため､左の画像ではすべてのメニューの項目を表示させていますが､実際には全項目が表示されるわけではありません｡)メニューの項目をクリックすると､現在の設定状態が表示されます｡メニューに表示される項目は､プリンタにインストールされたオプションとネットワーク接続かローカル接続(パラレルインタフェース)かによって異なります｡

お知らせ

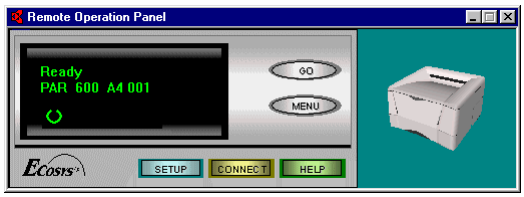
リモート･オペレーションパネルでパスワードを設定している場合､はじめにパスワードの入力画面が表示されますので､パスワードを入力してOKボタンをクリックしてください｡詳しくは､2-42ページの *プリンタのパスワード設定* を参照してください｡

用紙に関連する設定

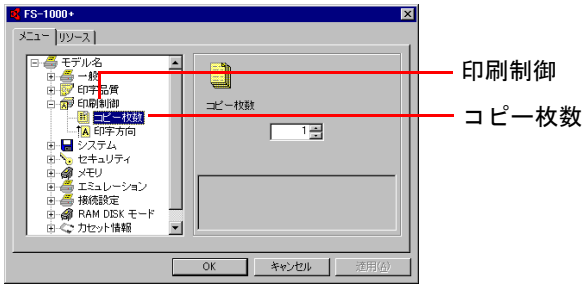
コピー枚数(印字枚数)の設定

ここではプリント時のコピー枚数(印字枚数)を設定します。ここで設定した値が、現在のインタフェースのデフォルト設定値になります。初期値として1が設定されています。

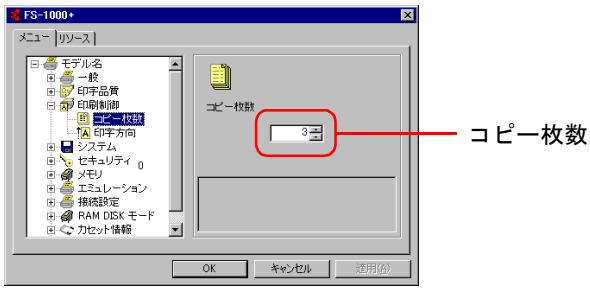
1 **リモート・オペレーションパネル**の初期画面の**MENU**ボタンをクリックします。



2 メニューが表示されます。**印刷制御**をダブルクリックし、**コピー枚数**をクリックします。



3 コンボボックス右の▲または▼ボタンをクリックするか、コンボボックス内に印字したい数値を直接入力します。最大999枚まで設定できます。

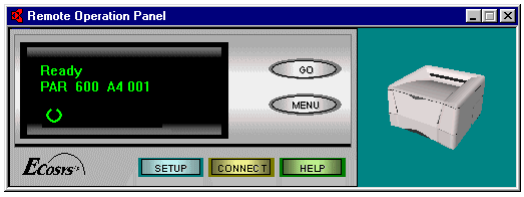


4 数値を入力し、**OK**ボタンをクリックすると**リモート・オペレーションパネル**の初期画面に戻ります。これで設定は変更されます。

印字方向の設定

ここでは、印字する向きを選択します。初期設定は**縦印字**です。

1 **リモート・オペレーションパネル**の初期画面の**MENU**ボタンをクリックします。



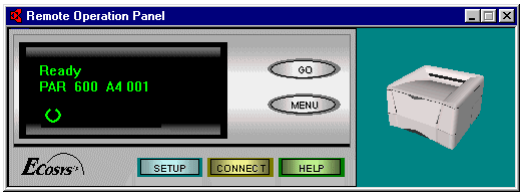
2 メニューが表示されます。**印刷制御**をダブルクリックし、**印字方向**をクリックします。右側のラジオボタンをクリックして**縦印字**、**横印字**のいずれかを選択します。

3 **OK**ボタンをクリックすると**リモート・オペレーションパネル**の初期画面に戻ります。これで設定は変更されます。

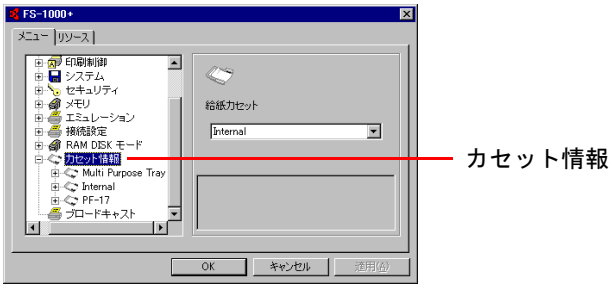
給紙元の選択

用紙の給紙元を選択します。初期設定はプリンタの給紙カセット(Internal)が選択されています。

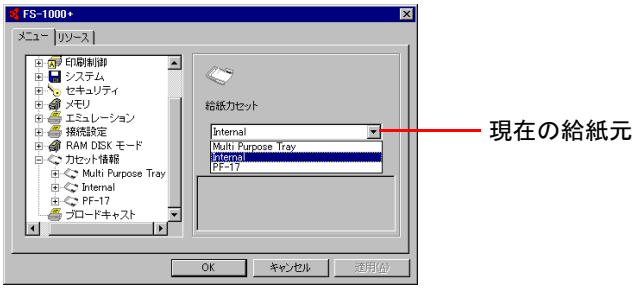
1 **リモート・オペレーションパネル**の初期画面の**MENU**ボタンをクリックします。



2 メニューが表示されます。**カセット情報**をダブルクリックします。



3 画面右側のプルダウンメニューの▼ボタンをクリックすると、給紙元の一覧が表示されますので、選択したい給紙元をクリックします。**Multi Purpose Tray**はMPトレイ、**Internal**はプリンタの給紙カセット、オプションのペーパーフィーダを装着している場合は、**PF-17**が表示されます。

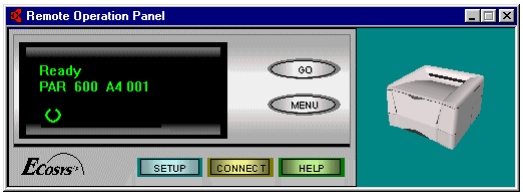


4 **OK**ボタンをクリックすると**リモート・オペレーションパネル**の初期画面に戻ります。これで設定は変更されます。

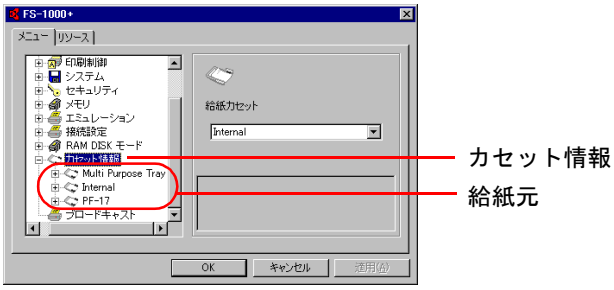
用紙サイズの設定

各給紙元の用紙サイズを設定します。初期設定はA4サイズが設定されています。

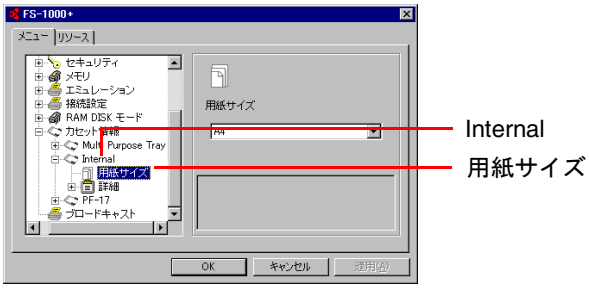
1 **リモート・オペレーションパネル**の初期画面の**MENU**ボタンをクリックします。



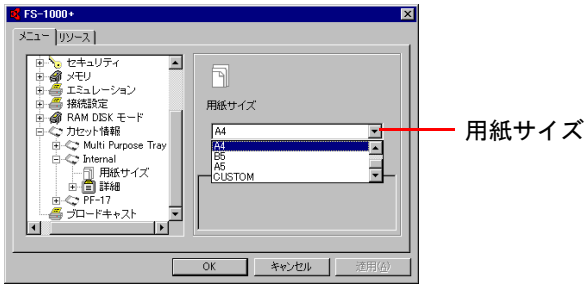
2 メニューが表示されます。**カセット情報**をダブルクリックすると、給紙元が表示されます。オプションのペーパーフィーダを装着している場合は、**PF-17**も表示されます。



3 プリンタの給紙カセットを設定するには**Internal**をダブルクリックし、**用紙サイズ**をクリックします。



4 用紙サイズを表示するプルダウンメニューの▼ボタンをクリックし、設定したい用紙サイズを選択します。



お知らせ

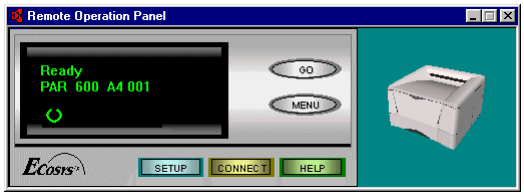
MPトレイやオプションのPF-17の用紙サイズを設定する場合も、同様に設定を行ってください。

5 **OK**ボタンをクリックすると**リモート・オペレーションパネル**の初期画面に戻ります。これで設定は変更されます。

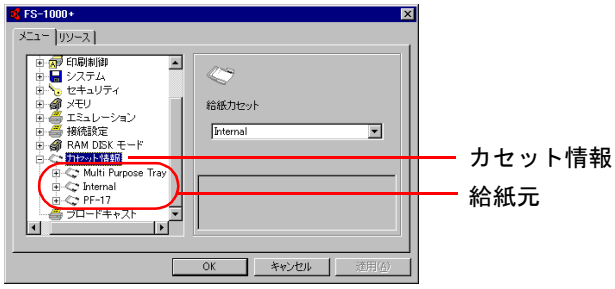
用紙タイプ(用紙の厚さ)の設定

ネットワーク接続している場合には、それぞれの給紙元ごとに使用する用紙タイプ(用紙の厚さ)を設定することができます。**普通**、**厚**、**薄**から選択します。初期設定では**薄**に設定されています。

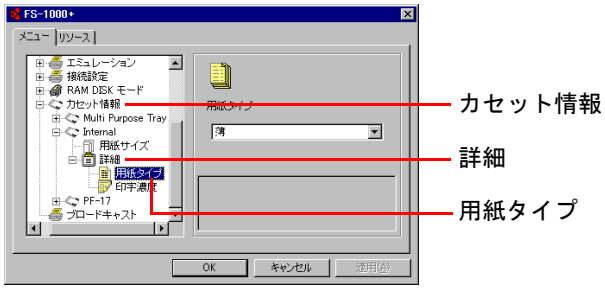
1 **リモート・オペレーションパネル**の初期画面の**MENU**ボタンをクリックします。



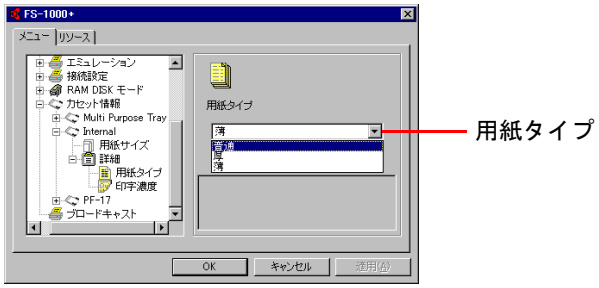
2 メニューが表示されます。**カセット情報**をダブルクリックすると、給紙元が表示されます。オプションのペーパーフィーダを装着している場合は、**PF-17**も表示されます。



3 プリンタの標準給紙カセットを設定するには**Internal**をダブルクリックし、**詳細**をダブルクリックして**用紙タイプ**をクリックします。



4 画面右側のプルダウンメニューの▼ボタンをクリックし、用紙の厚さを**普通**、**厚**、**薄**から選択します。



用紙の厚さと設定の関係は、次の表を参照してください。

用紙タイプの設定	用紙の厚さ
薄（初期設定）	75 g/m^{2}未満
普通	75～90 g/m^2 OHPフィルム（MPトレイのみ）
厚	90 g/m^{2}以上

お知らせ

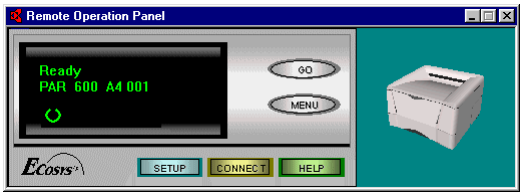
MPトレイやオプションのPF-17の用紙の厚さを設定する場合も、同様に設定を行ってください。

5 **OK**ボタンをクリックすると**リモート・オペレーションパネル**の初期画面に戻ります。これで設定は変更されます。

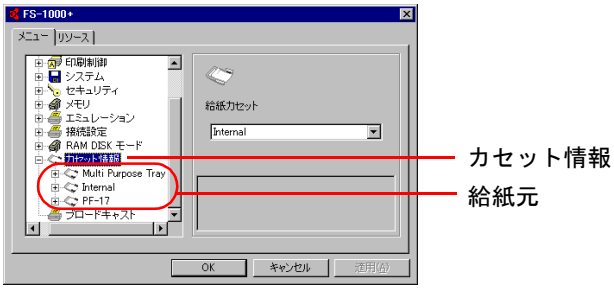
給紙元のプロパティ

給紙元の用紙の有無や、セットできる用紙枚数など、給紙元の情報を確認できます。

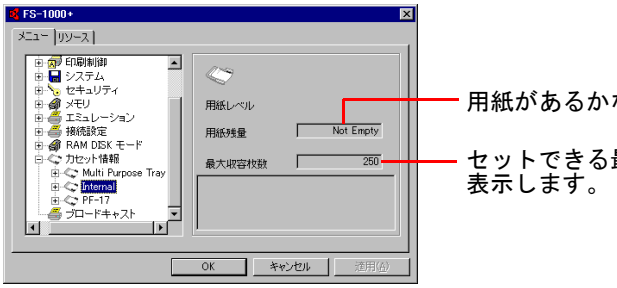
1 **リモート・オペレーションパネル**の初期画面の**MENU**ボタンをクリックします。



2 メニューが表示されます。**カセット情報**をダブルクリックすると、給紙元が表示されます。オプションのペーパーフィーダを装着している場合は、**PF-17**も表示されます。



3 プロパティを確認したい給紙元をクリックすると、プロパティが表示されます。

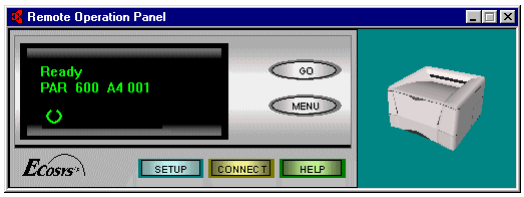


プリンタの基本設定

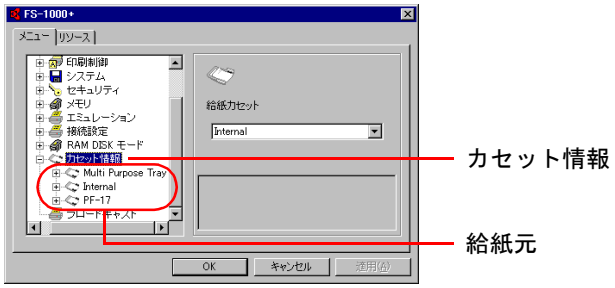
印字濃度の設定

ネットワーク接続している場合には、給紙元ごとに印字濃度を設定することができます。最も薄い1から、最も濃い5まで5段階のレベルが選択できます。初期値として3が設定されています。

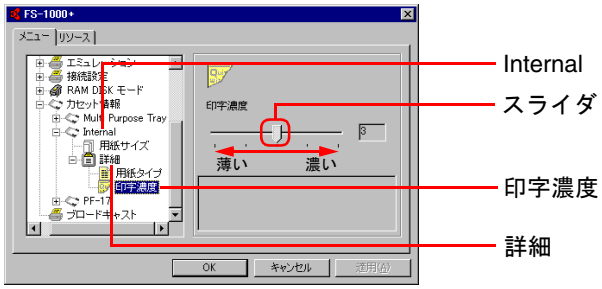
1 **リモート・オペレーションパネル**の初期画面の**MENU**ボタンをクリックします。



2 メニューが表示されます。**カセット情報**をダブルクリックすると、プリンタの給紙元が表示されます。オプションのペーパーフィーダを装着している場合は、**PF-17**も表示されます。



3 プリンタの給紙カセットからの印字に対して濃度を設定するには**Internal**をダブルクリックし、**詳細**をダブルクリックして**印字濃度**をクリックします。マウスで画面右側のスライダを左に動かすと薄く、右に動かすと濃くなります。



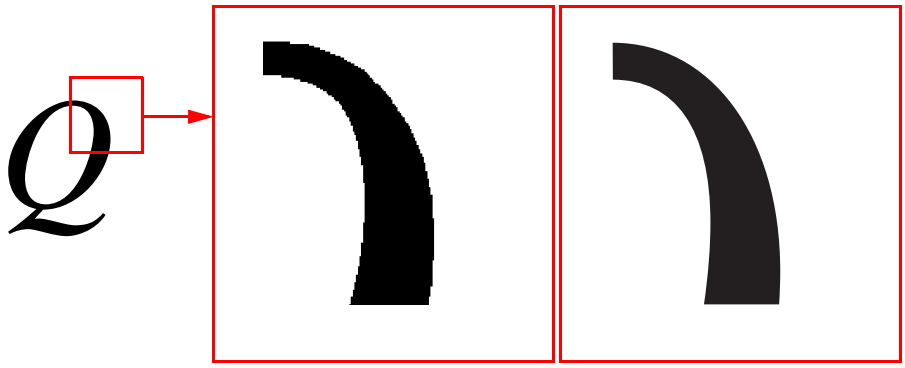
お知らせ

MPトレイやオプションのPF-17の用紙サイズを設定する場合も、同様に設定を行ってください。

4 印字濃度を選択したら、**OK**ボタンをクリックすると**リモート・オペレーションパネル**の初期画面に戻ります。これで設定は変更されます。

KIRモードの選択

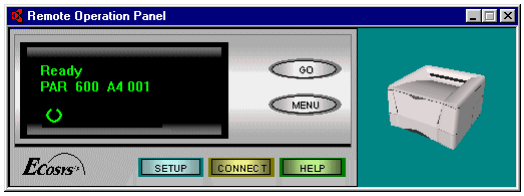
本プリンタは京セラ独自のスムージング機能、**KIR（Kyocera Image Refinement）**を搭載しています。KIRはプリンタの解像度をソフト的に向上させることによって、高品質の印字を実現します。KIRは初期設定では**オン**に設定されています。



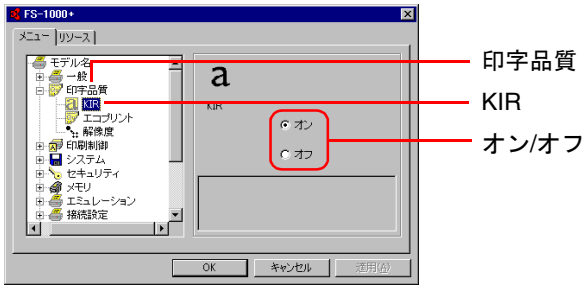
KIRモード: **オフ**　　KIRモード: **オン**

KIRモードの設定は次の手順で変更できます。

1 **リモート・オペレーションパネル**の初期画面の**MENU**ボタンをクリックします。



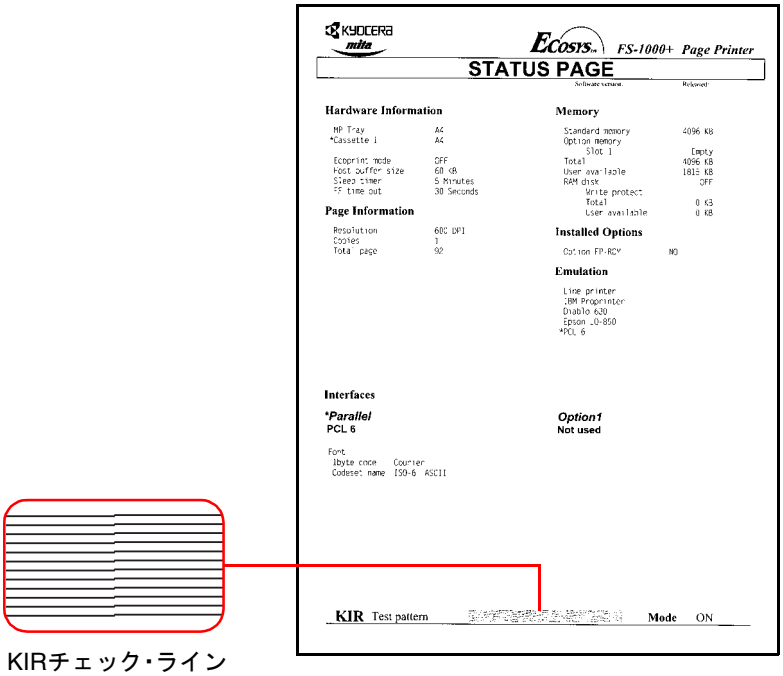
2 メニューが表示されます。**印字品質**をダブルクリックして、**KIR**をクリックします。画面右側のラジオボタンをクリックしてKIRモードの**オン**と**オフ**を切り替えることができます。



3 **OK**ボタンをクリックすると**リモート・オペレーションパネル**の初期画面に戻ります。これで設定は変更されます。

KIRは標準ステータスページの最下段にあるKIRチェックラインを確認しながら、最適な設定を行うことができます。標準ステータスページの印字方法については、2-3ページの ***キーの機能*** を参照してください。

ステータスページ



KIRチェック・ライン

□最適な状態

最適なKIR状態です。

□濃すぎる状態

KIRモードを**オフ**に設定してみてください。設定をした後、再度ステータスページを印字してください。それでも濃いと思われる場合は、**印字濃度**を調整してください。(2-25ページの ***印字濃度の設定*** を参照)

□薄すぎる状態

KIRモードを**オン**に設定してみてください。設定をした後、再度ステータスページを印字してください。それでも濃いと思われる場合は、**印字濃度**を調整してください。(2-25ページの ***印字濃度の設定*** を参照)

エコプリントモードの選択

本プリンタはトナーの消費量を抑えて印字を行う、エコプリント(Ecoprint)機能を搭載しています。エコプリントは、初期設定では**オフ**に設定されています。

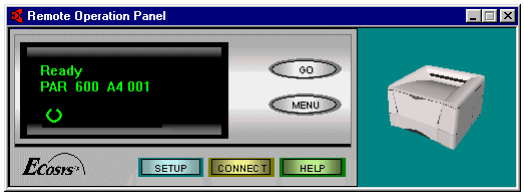
エコプリントをオンに設定すると、トナーの消費量は抑えられ印字は薄く感じられます。

エコプリント: **オフ**　　エコプリント: **オン**

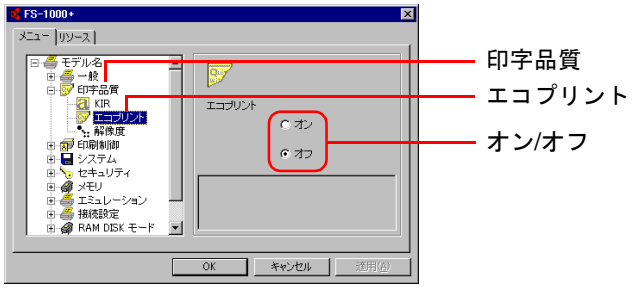
お知らせ

エコプリントは、プリンタの印字スピードには影響しません。

1 **リモート・オペレーションパネル**の初期画面の**MENU**ボタンをクリックします。



2 メニューが表示されます。**印字品質**をダブルクリックして、**エコプリント**をクリックします。画面右側のラジオボタンをクリックしてエコプリントの**オン**と**オフ**を切り替えます。

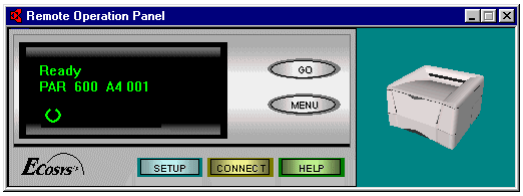


3 **OK**ボタンをクリックすると**リモート・オペレーションパネル**の初期画面に戻ります。これで設定は変更されます。

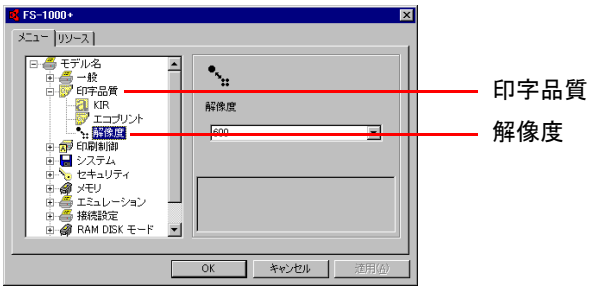
解像度の選択

プリンタの解像度を設定することができます。初期設定では600 dpiに設定されています。

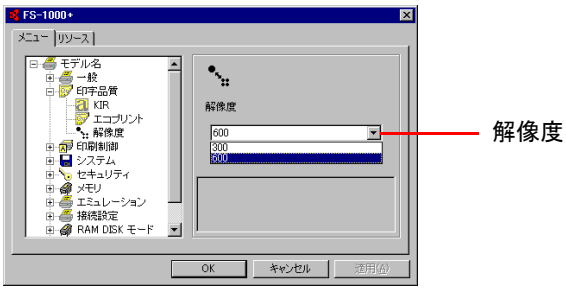
1 **リモート・オペレーションパネル**の初期画面の**MENU**ボタンをクリックします。



2 メニューが表示されます。**印字品質**をダブルクリックして、**解像度**をクリックします。



3 画面右側のプルダウンメニューの▼ボタンをクリックし、**600**または**300** dpiを選択します。

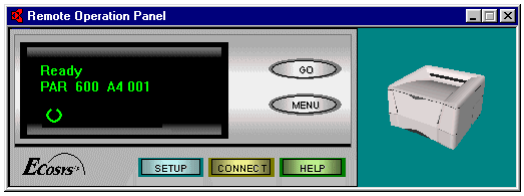


4 **OK**ボタンをクリックすると**リモート・オペレーションパネル**の初期画面に戻ります。これで設定は変更されます。

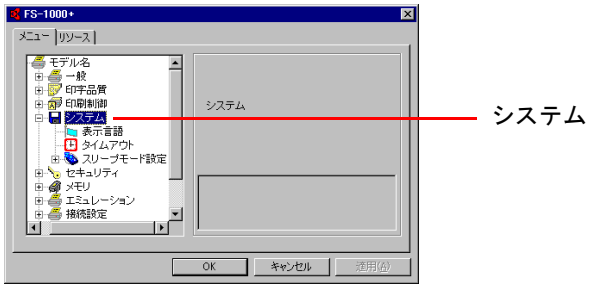
自動改ページ待ち時間(タイムアウト)の設定

プリンタはコンピュータから最後のデータを受け取ったあと、コンピュータからデータが終了したことを示す情報がないと、最後のページを印字せずに一定時間待機します。あらかじめ設定された待ち時間が経過すると、自動的に改ページを行います。待ち時間は5秒単位で最大495秒までの設定が可能です。初期設定は30秒に設定されています。

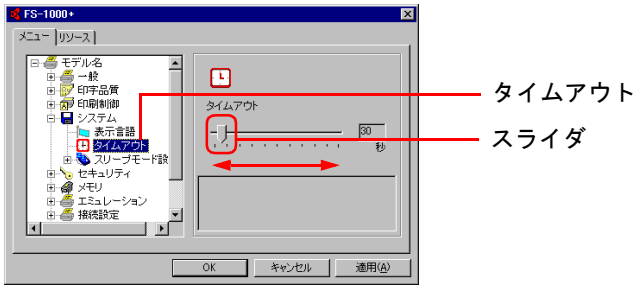
1 **リモート・オペレーションパネル**の初期画面の**MENU**ボタンをクリックします。



2 メニューが表示されます。**システム**をダブルクリックします。



3 **タイムアウト**をクリックし、マウスで画面右側のスライダを左右に動かしてタイムアウト時間を設定します。0秒に設定すると、自動改ページは行いません。

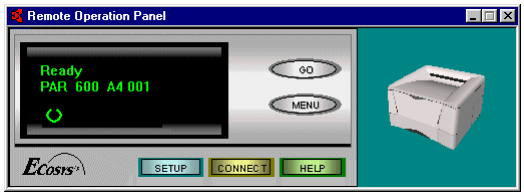


4 **OK**ボタンをクリックすると**リモート・オペレーションパネル**の初期画面に戻ります。これで設定は変更されます。

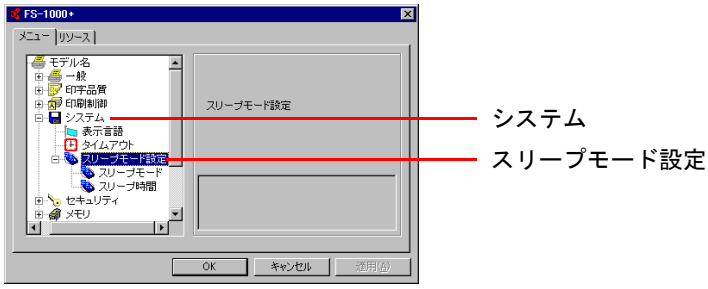
スリープモードの設定

本プリンタは、データの受信や印字などの処理を行っていないときに消費電力を抑えるスリープモードを搭載しています。データの受信や処理を行わない状態がどれだけ続くとスリープモードに切り替わるかを設定することができます。初期設定では5分に設定されています。

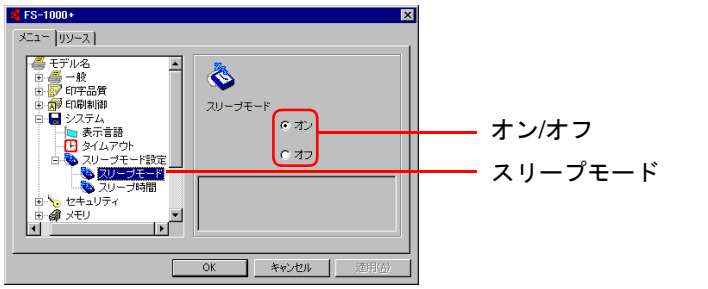
1 **リモート・オペレーションパネル**の初期画面の**MENU**ボタンをクリックします。



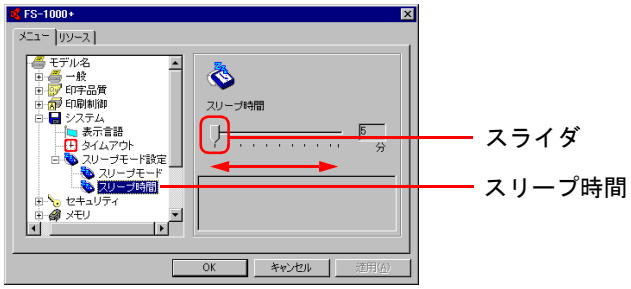
2 メニューが表示されます。**システム**をダブルクリックし、**スリープモード設定**をダブルクリックします。



3 **スリープモード**をクリックし、画面右側のラジオボタンをクリックしてスリープモードの**オン**と**オフ**を切り替えます。



4 **スリープモード設定**を**オン**にした場合は、次に**スリープ時間**をクリックし、マウスで画面右側のスライダを左右に動かしてスリープモードに切り替わるまでの時間を設定します。時間は5分から120分まで5分単位で設定することができます。



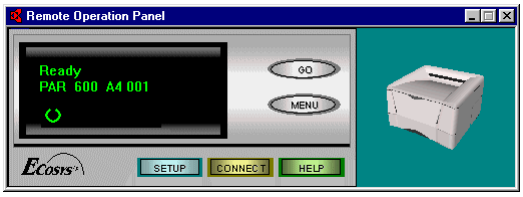
5 **OK**ボタンをクリックすると**リモート・オペレーションパネル**の初期画面に戻ります。これで設定は変更されます。

エミュレーションの選択

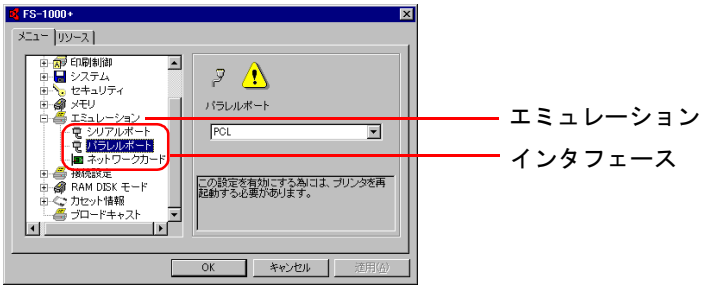
エミュレーションは、プリンタのインタフェースごとに設定することができます。本プリンタで選択できるエミュレーションは以下のとおりです。設定したエミュレーションは、プリンタの電源が切れた後も記憶されます。初期設定ではPCLが選択されています。

- Line Printer
- IBM Proprinter
- DIABLO 630
- EPSON LQ-830
- PCL

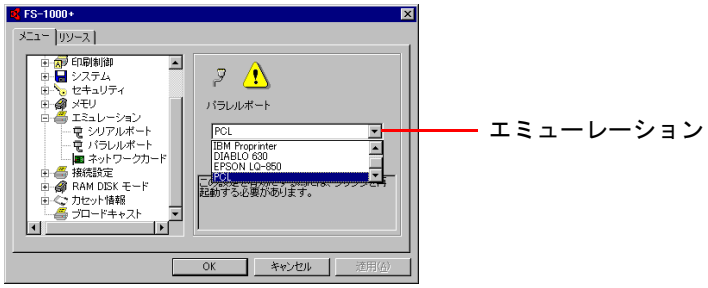
1 **リモート・オペレーションパネル**の初期画面の**MENU**ボタンをクリックします。



2 メニューが表示されます。**エミュレーション**をダブルクリックし、エミュレーションの設定を行うインタフェースをクリックします。
（下の画像は**パラレルポート**を選択した例です。）



3 画面右側のプルダウンメニューの▼ボタンをクリックし、エミュレーションを選択します。



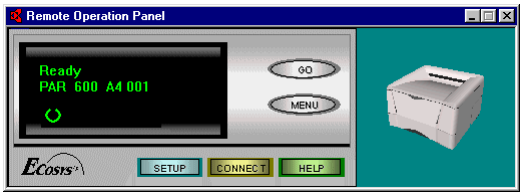
4 **OK**ボタンをクリックすると**リモート・オペレーションパネル**の初期画面に戻ります。

5 プリンタの電源を入れ直してプリンタを再起動します。プリンタが再起動すると設定が有効になります。

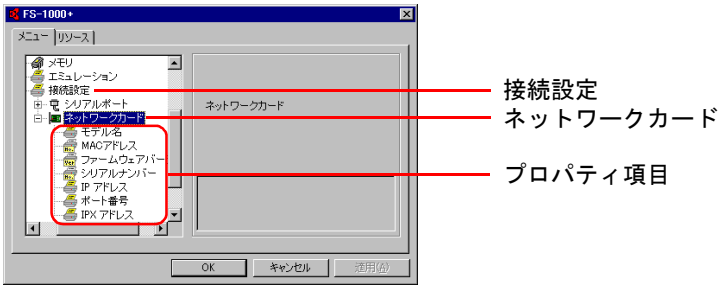
ネットワーク･インタフェースカードの設定

オプションのネットワーク･インタフェースカードのバージョン､シリアルナンバー､型名､ネットワークアドレスなどの情報を確認することができます。

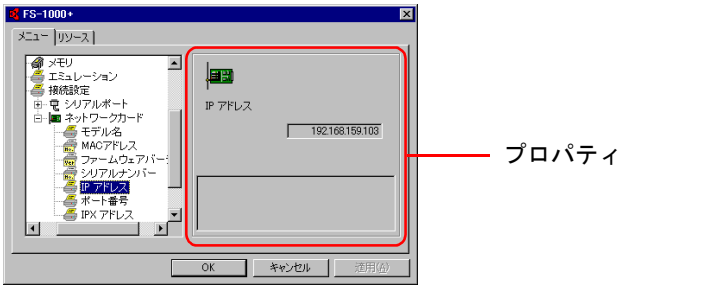
1 **リモート･オペレーションパネル**の初期画面の**MENU**ボタンをクリックします。



2 メニューが表示されます。**接続設定**をダブルクリックし､**ネットワークカード**をクリックすると､ネットワーク･インタフェースカードのプロパティ項目が表示されます。



3 内容確認したい項目をクリックすると､画面の右側に選択した項目のプロパティが表示されます。(下の画像は**IPアドレス**を選択した例です。)



4 **OK**ボタンをクリックすると**リモート･オペレーションパネル**の初期画面に戻ります。

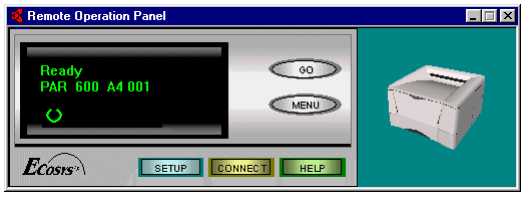
RAMディスクの設定

プリンタに12 MB以上のメモリが搭載されている場合、RAMディスク機能を使用することができます。RAMディスクとはメモリの一部を利用した仮想ディスク領域で、プリンタの総メモリの中から任意のメモリサイズをRAMディスクとして設定することによって電子ソートが可能になり、トータルの印字時間を短縮できます。RAMディスクは、初期設定では**オフ**に設定されています。

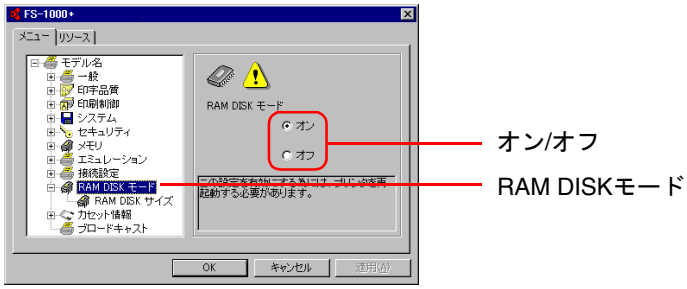
お知らせ

- **RAMディスクに書きこまれたデータは、プリンタをリセットしたり電源を切った場合には消去されますのでご注意ください。**
- **RAMディスクはプリンタの「User available memory」(*標準ステータスページ*の中で確認できます。)の中から設定されます。したがってRAMディスクの設定値によっては、プリンタの印字速度が落ちたり、メモリ不足が発生したりする場合がありますのでご注意ください。**

1 **リモート・オペレーションパネル**の初期画面の**MENU**ボタンをクリックします。



2 メニューが表示されます。**RAM DISK モード**をダブルクリックし、画面右側のラジオボタンをクリックして**オン**と**オフ**を切り替えます。



3 RAMディスクのサイズを設定するには**RAM DISK サイズ**をクリックし、画面右側にあるコンボボックスの▲または▼ボタンをクリックするか、ボックスに直接数値を入力します。

お知らせ

RAMディスクを有効にした場合の初期値は、現在のプリンタの総メモリから9 MBを差し引いた値になります。ただし、総メモリを21 MB以上に増設している場合、初期値はすべて12 MBになります。

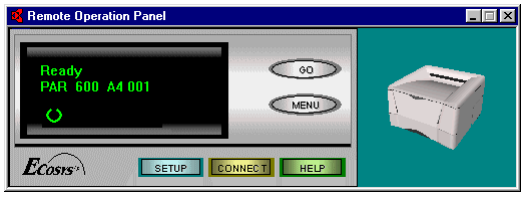
4 **OK**ボタンをクリックすると**リモート・オペレーションパネル**の初期画面に戻ります。

5 電源を入れ直してプリンタを再起動します。プリンタが再起動すると設定が有効になります。

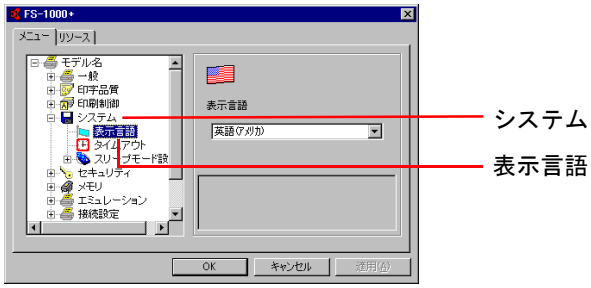
リモート･オペレーションパネルの表示言語の選択

リモート･オペレーションパネルの表示言語を､変更することができます。

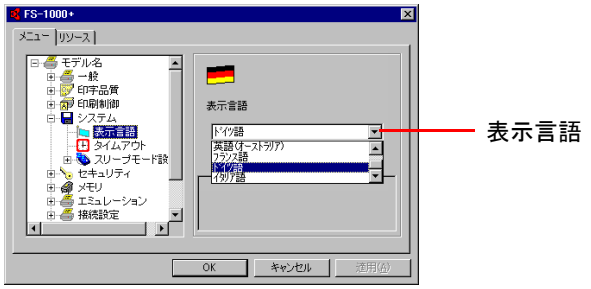
1 **リモート･オペレーションパネル**の初期画面の**MENU**ボタンをクリックします。



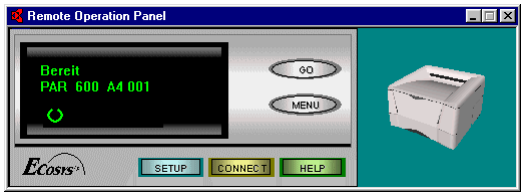
2 メニューが表示されます。**システム**をダブルクリックし､**表示言語**をクリックします。



3 画面右側のプルダウンメニューの▼ボタンをクリックし､表示言語を選択します。(下の画像は**ドイツ語**を選択した例です。



4 **OK**ボタンをクリックすると**リモート･オペレーションパネル**の初期画面に戻ります。これで設定は変更されます。

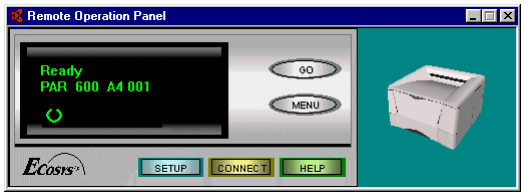


その他の設定

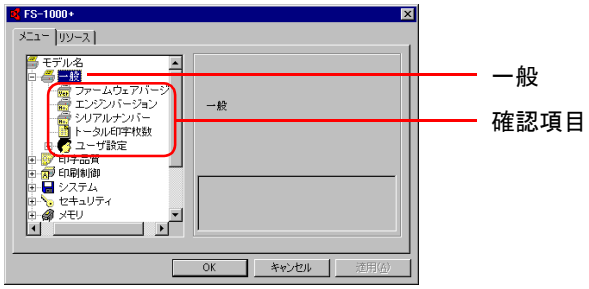
プリンタの設定

プリンタのシリアルナンバー、これまでの総印字枚数などを確認することができます。

1 **リモート・オペレーションパネル**の初期画面の**MENU**ボタンをクリックします。



2 メニューが表示されます。**一般**をダブルクリックすると、各**確認項目**が表示されます。



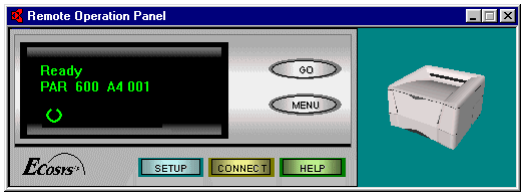
3 内容を確認したい項目をクリックすると、画面右側にその内容が表示されます。(下の画像は**トータル印字枚数**を選択した例です。)

4 **OK**ボタンをクリックすると**リモート・オペレーションパネル**の初期画面に戻ります。

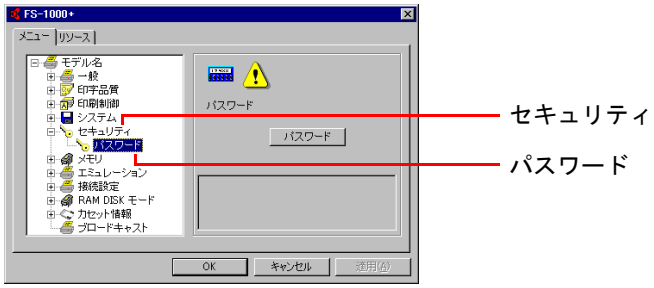
プリンタのパスワード設定

ネットワーク接続している場合には、プリンタにパスワードを設定することができます。パスワードを設定すると、**リモート・オペレーションパネル**で設定を変更するときにパスワードの入力が必要になります。ただし、印字はパスワードを入力しなくても行うことができます。

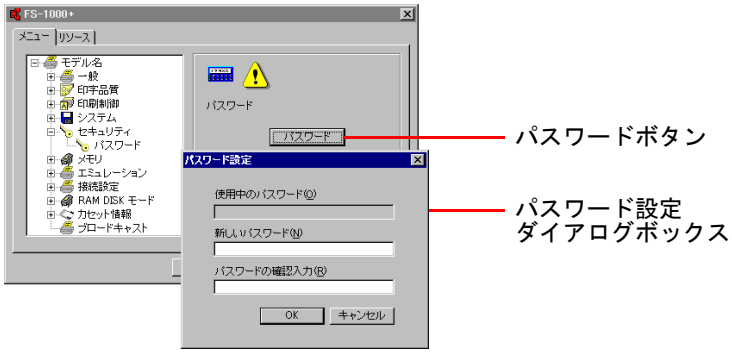
1 **リモート・オペレーションパネル**の初期画面の**MENU**ボタンをクリックします。



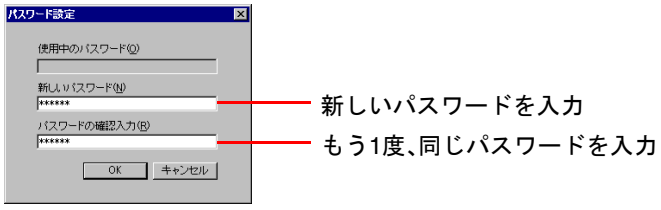
2 メニューが表示されます。**セキュリティ**をダブルクリックし、**パスワード**をクリックします。



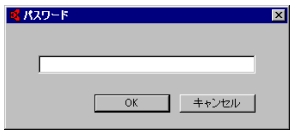
3 **パスワード**ボタンをクリックすると、**パスワード設定**ダイアログボックスが表示されます。



4 **新しいパスワード**に設定したいパスワードを入力し、確認のため**パスワードの確認入力**にもう1度同じパスワードを入力します。



OKボタンをクリックすると**リモート・オペレーションパネル**にパスワードが設定されます。パスワードは忘れないよう必ず控えを取ってください。パスワードを設定すると、次回から、**リモート・オペレーションパネル**の**MENU**ボタンをクリックしたときに次のようなパスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力し、**OK**ボタンをクリックすると**リモート・オペレーションパネル**のメニューが表示されます。



パスワードを変更するには

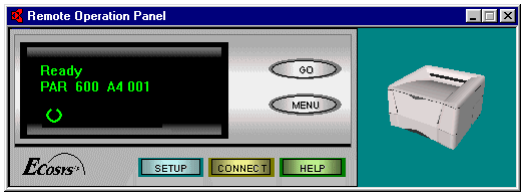
設定したパスワードを変更や解除するには、**リモート・オペレーションパネル**で次の手順を行ってください。

パスワード設定ダイアログボックス（手順1～3を参照）を表示させ、**使用中のパスワード**に現在設定されているパスワードを入力します。パスワードを変更するには、**新しいパスワード**に新しく設定するパスワードを入力し、**パスワードの確認入力**に確認のためもう1度同じパスワードを入力して**OK**ボタンをクリックします。設定したパスワードを解除するには**新しいパスワード**と**パスワードの確認入力**を空欄にしたまま**OK**ボタンをクリックします。

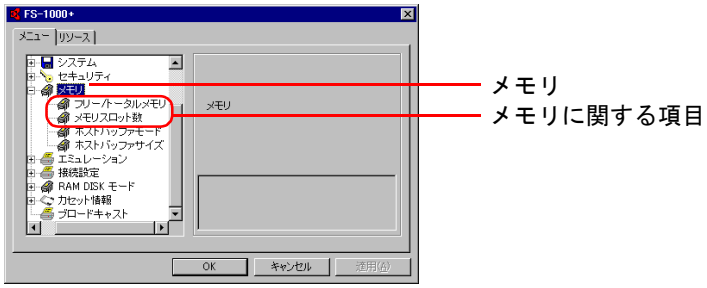
プリンタメモリの確認

プリンタに搭載された総メモリ量と空きメモリ量を確認することができます。また、ネットワーク接続している場合には、プリンタに搭載されたメモリスロットの数も確認できます。(FS-1000+のメモリスロットは1つです。)

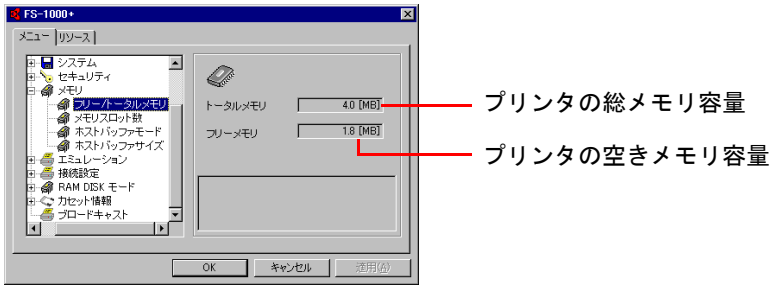
1 **リモート・オペレーションパネル**の初期画面の**MENU**ボタンをクリックします。



2 メニューが表示されます。**メモリ**をダブルクリックするとメモリに関する項目が表示されます。



3 **フリー/トータルメモリ**をクリックするとプリンタの空きメモリと、搭載されている総メモリ容量を確認することができます。**メモリスロット数**をクリックするとプリンタのメモリスロットの数が表示されます(FS-1000+のメモリスロットは1つです)。



お知らせ

ホストバッファに関する項目については、2-45ページの*ホストバッファの設定*を参照してください。

4 **OK**ボタンをクリックすると**リモート･オペレーションパネル**の初期画面に戻ります。

ホストバッファの設定

ホストバッファはプリンタのメインメモリ内に設けられる共有メモリエリアで、異なるインタフェース経由で送られてくるデータを同時に処理するために使われます。本プリンタは、2つのインタフェースから送られてくるデータを処理するためにバッファ1とバッファ2の2つのホストバッファを搭載しています。ホストバッファのサイズは**リモート･オペレーションパネル**の**ホストバッファサイズ**で変更することができます。

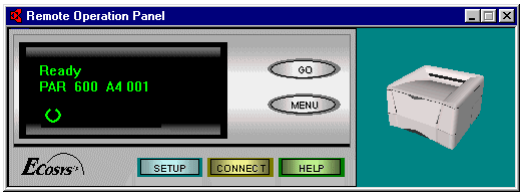
ホストバッファモードが**自動**に設定されていると、コンピュータから送られてくるプリントデータは、どちらか空いているほうのホストバッファに蓄積されます。このとき、異なるインタフェースからデータが送られてくると、そのデータは使用していないもう一方のホストバッファに蓄積されます。**ホストバッファモード**が**固定**に設定されていると、バッファ1はパラレルインタフェース経由で送られてくるデータだけに、バッファ2はネットワークインタフェース経由で送られてくるデータだけに使用されます。初期設定では**自動**に設定されています。

ホストバッファのサイズは**リモート･オペレーションパネル**の**ホストバッファサイズ**で変更することができます。工場出荷時には両方のバッファの合計が60 KBに設定されていますが、この設定はプリスクライブ FRPO H8コマンドを使って変更することができます(詳しくは、***第6章　ファームウェア･パラメータ*** を参照してください)。総バッファサイズは5 KBからプリンタの空きメモリの容量の範囲で設定することができます。

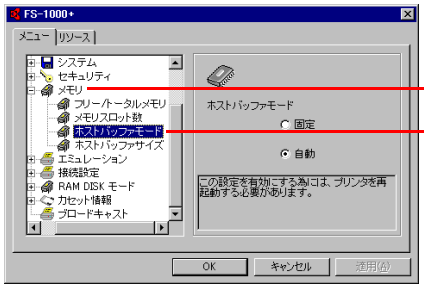
お知らせ

ホストバッファモードとホストバッファサイズは、初期設定のままお使いになることをおすすめします。

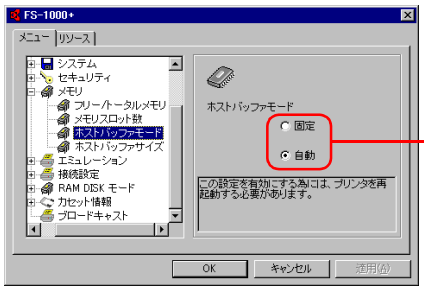
1 **リモート･オペレーションパネル**の初期画面の**MENU**ボタンをクリックします。



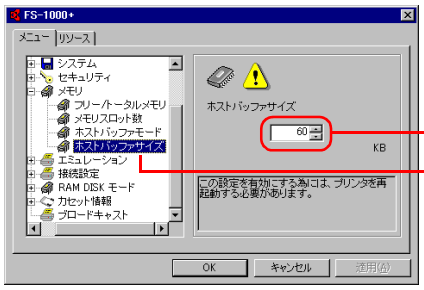
2 メニューが表示されます。**メモリ**をダブルクリックし、**ホストバッファモード**をクリックします。



3 画面右側のラジオボタンをクリックして**固定**または**自動**のいずれかを選択します。



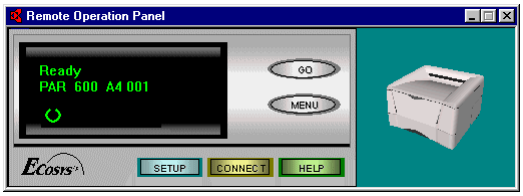
4 **ホストバッファサイズ**をクリックします。画面右側のコンボボックスの▲または▼ボタンをクリックするか、ホストバッファに設定するサイズをKB単位で直接ボックス内に入力します。



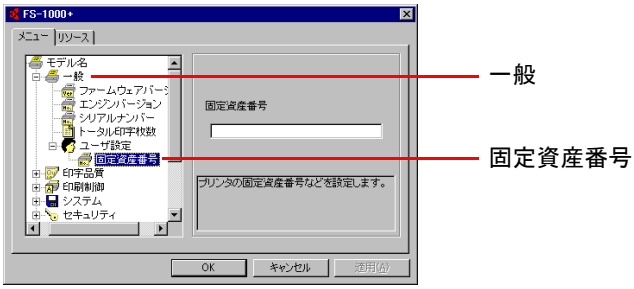
固定資産番号の設定

ネットワーク接続している場合には、プリンタに固定資産番号を設定することができます。設定された固定資産番号はプリンタ内部に記録されます。

1 **リモート・オペレーションパネル**の初期画面の**MENU**ボタンをクリックします。



2 メニューが表示されます。**一般**をダブルクリックし、**固定資産番号**をクリックします。



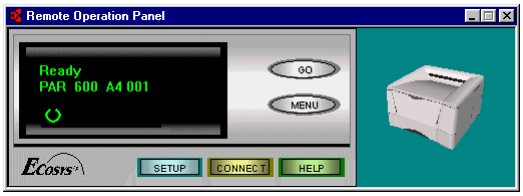
3 画面右側のテキストボックスに固定資産番号を入力します。

4 **OK**ボタンをクリックすると**リモート・オペレーションパネル**の初期画面に戻ります。これで設定は変更されます。

リソースリストの表示

ネットワーク接続している場合には、フォント、プログラム、マクロ、ホストデータなどのリソースを表示することができます。

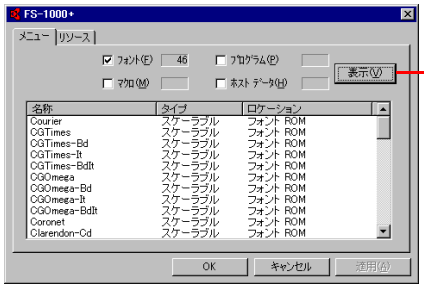
1 **リモート・オペレーションパネル**の初期画面の**MENU**ボタンをクリックします。



2 **リソース**タブをクリックします。

3 リソースを表示したい項目のチェックボックスをクリックします。(下の画像は**フォント**をクリックした例です。)

4 **表示**ボタンをクリックすると、チェック(☑)をつけた項目のリソースが表示されます。



5 **OK**ボタンをクリックすると**リモート・オペレーションパネル**の初期画面に戻ります。

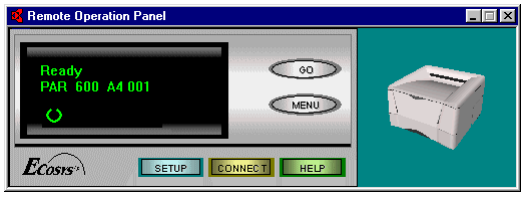
プリスクライブ･コマンドをプリンタに送る

リモート･オペレーションパネルのメニューから**ブロードキャスト**を選択すると､京セラミタ･ページプリンタのプリンタ制御言語であるプリスクライブ･コマンドを使って､プリンタにコマンドを送ることができます｡また､プリンタ内部の設定を確認することもできます｡

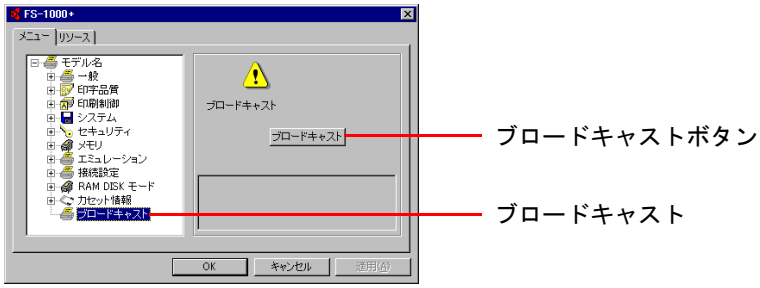
お知らせ

プリスクライブ･コマンドとFRPOの設定については､*プリスクライブII プログラミング･マニュアル*が用意されています(別売)｡

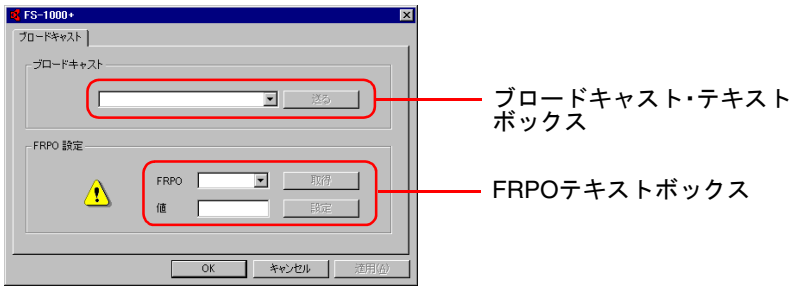
1 **リモート･オペレーションパネル**の初期画面の**MENU**ボタンをクリックします｡



2 メニューが表示されます｡メニューから**ブロードキャスト**をクリックし､画面右側の**ブロードキャスト**ボタンをクリックします｡



3 ブロードキャスト・ダイアログボックスが表示されます。



ブロードキャスト

プリンタにプリスクライブ・コマンドを送信できます。**ブロードキャスト**・テキストボックスにプリスクライブ・コマンドを入力し（最大26文字）、**送る**ボタンをクリックするとプリンタに送信されます。（ステータスページを印字する例: `!R! STAT; EXIT, E;`）

FRPO設定

プリンタの現在の設定状況を確認したり、設定を変更できます。FRPOはプリンタの内部パラメータを変更するプリスクライブ・コマンドで、FRPOで設定された内容は電源を切ってもプリンタに記憶されます。FRPOのパラメータはすべて2文字です。たとえばデフォルトの給紙元である、プリンタの給紙カセットはR4で表されます。FRPOは、次の書式で表されます。

FRPO　パラメータ,　設定値;

たとえば、「デフォルトの給紙元はプリンタの給紙カセットである。」は、下記のようになります。

```
FRPO R4, 1;
```

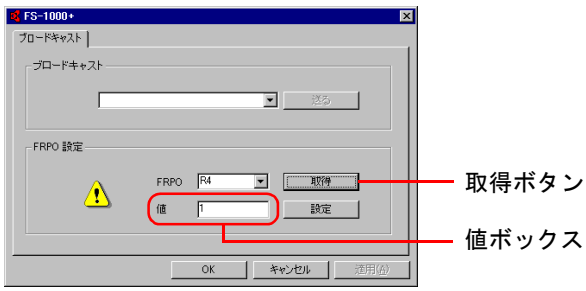
お知らせ

該当するオプション装置などを装着した場合のみ、有効になるコマンドもあります。

現在プリンタに設定されているFRPOパラメータの設定値を確認する。

1 **FRPO**テキストボックスにパラメータ(例: R4)を入力します。

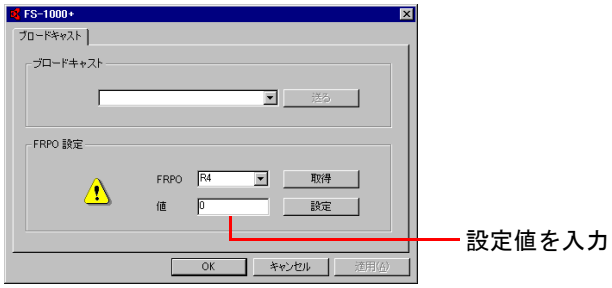
2 **取得**ボタンをクリックすると、**値**ボックスに設定値が表示されます。



FRPOパラメータの設定値を変更する。

1 前ページと同様の手順で**値**ボックスに設定値を表示させます。

2 **値**ボックスに表示されている現在の設定値を消去し、新しい設定値を入力します。たとえば、デフォルトの給紙元をMPトレイに変更する場合は**値**ボックスに表示されている1を消去して0を入力します。



3 **設定**ボタンをクリックすると、設定値が変更されます。

第３章　日常のメンテナンス

この章ではトナーコンテナの交換と、レジストローラやチャージャワイヤなどの部品の清掃について解説します。

トナーコンテナの交換 3-2
清掃 3-7

トナーコンテナの交換

トナーが残り少なくなると、プリンタ操作パネル上の (トナー)インジケータが点滅します。またトナーが無くなると インジケータは点灯し、プリンタは停止します。 インジケータが点滅したら早めに新しいトナーコンテナと交換して、プリンタ内を清掃してください。

トナーコンテナの交換時期

トナーコンテナ(TK-17)は約 6,000 ページ印字するごとに交換する必要があります(A4、印字率約 5%、エコプリントモード : オフ時)。

新しいプリンタに最初に装着する付属のトナーコンテナでは、現像ユニット内にトナーをいきわたらせるため、これより少ない印字枚数になります(上記と同じ条件で約 3,000 ページ)。

トナーキット(TK-17)の内容

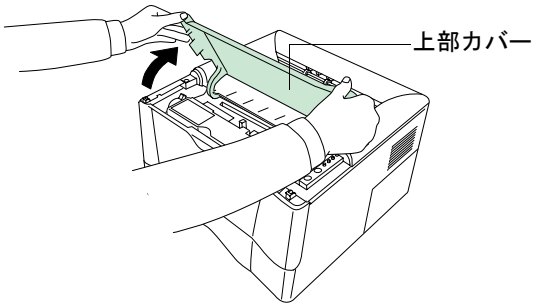
- トナーコンテナ
- 清掃用布
- トナーコンテナ引き取り回収依頼書
- 廃棄用ポリ袋(プリンタ付属のトナーキットには含まれていません。)
- 取扱い説明書(プリンタ付属のトナーキットには含まれていません。)

お知らせ

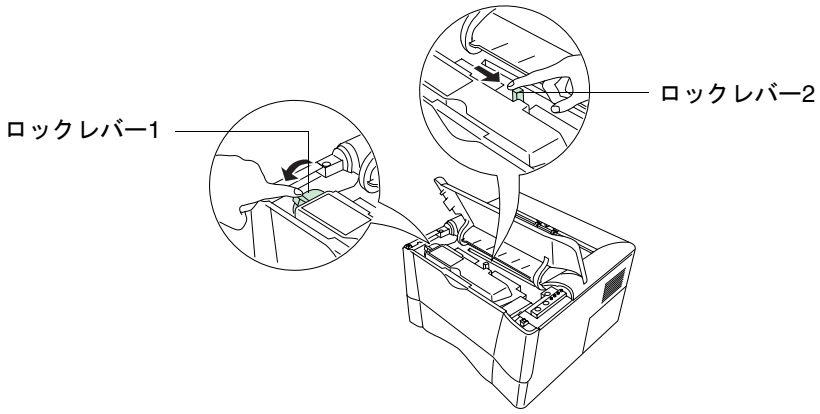
- **トナーコンテナの交換の際には、フロッピーディスクなどを近くに置かないでください。**
- **トナーコンテナの交換後は、プリンタ内部の清掃を行ってください。詳しくは3-7ページの*清掃*を参照してください。**
- **プリンタのトラブル防止や、末永くプリンタをご使用いただくため、純正トナーキットのご使用をおすすめします。**

トナーの補給

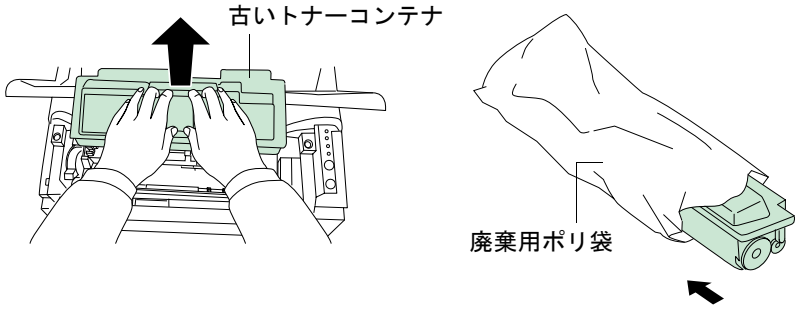
1 **上部カバー**を開きます。図のように**上部カバー**の左右の角を持ち、止まるまで開いてください。



2 **ロックレバー1**（緑色）を矢印の方向（**解除①**位置）にし、次に**ロックレバー2**を矢印の方向（**解除②**側）に引いてください。



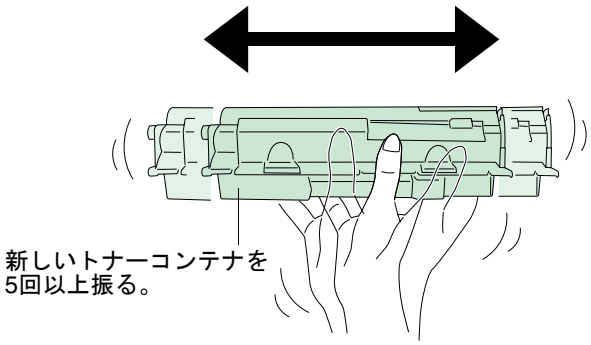
3 プリンタから**古いトナーコンテナ**を静かに取り出し、取り出したトナーコンテナは、トナーが飛散しないよう、新しいトナーキットに付属している**廃棄用ポリ袋**に密封して処理してください。



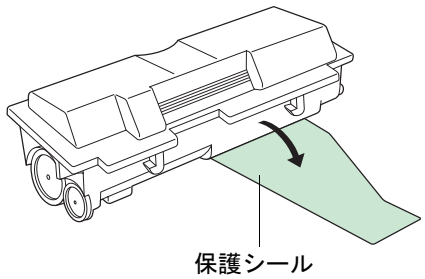
お知らせ

- **京セラグループでは環境問題を考慮し、使用済みトナーコンテナの無償回収を実施しております。詳しくは、トナーコンテナに同梱されている「トナーコンテナ引き取り回収依頼書」または京セラミタ株式会社のホームページ（http://www.kyoceramita.co.jp/ecosys/recycle/）をご覧ください。**
- **トナーコンテナには無害の可燃性素材を使用していますが、廃棄する場合は法令、規則にしたがって処理してください。**

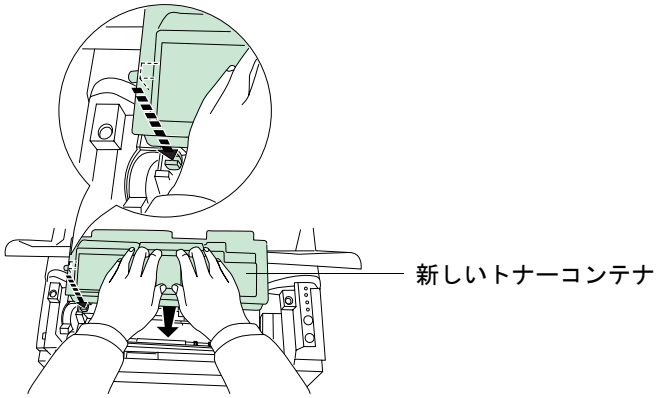
4 **新しいトナーコンテナ**をトナーキットから取り出し、内部のトナーが均一になるように、オレンジ色の保護シールが貼られた面を上にして、水平方向に5回以上振ってください。



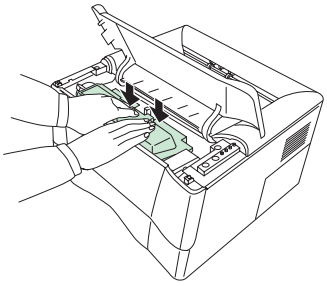
5 オレンジ色の**保護シール**を取り除いてください。



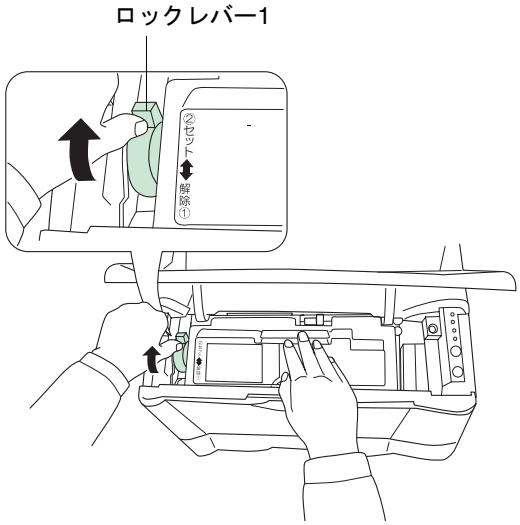
6 図のように**新しいトナーコンテナ**をプリンタに装着します。



7 図のようにトナーコンテナ上部の**セット①強く押す**の部分を、カチッと音がするまで押し込んで確実に装着してください。



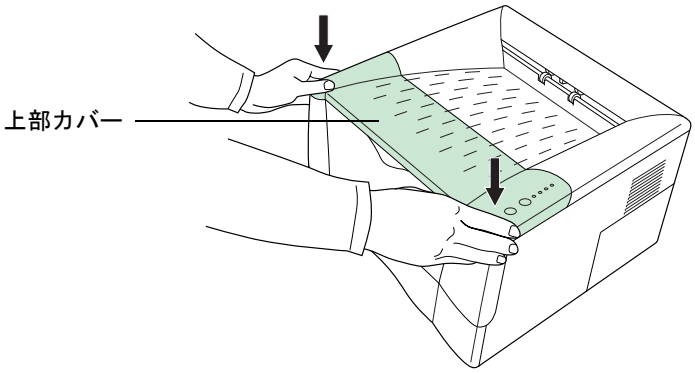
8 **ロックレバー1**を押して**②セット**位置にしてください。



お知らせ

トナーコンテナを交換しても、プリンタの操作パネルのトナーインジケータが点滅しているときはトナーコンテナを取り出し、もう一度トナーコンテナを振ってから再度装着してください。

9 **上部カバー**を閉じます。**上部カバー**の左右の角を押し、しっかりと閉じてください。以上でトナーコンテナの交換は終了です。

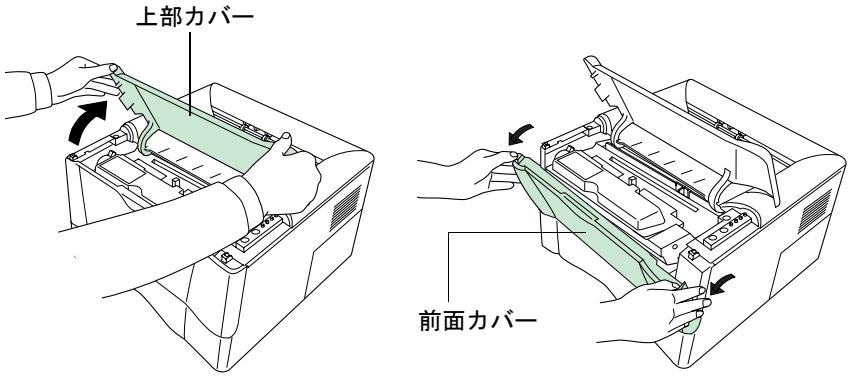


次にプリンタの清掃を行います。次ページからの***清掃***をお読みください。

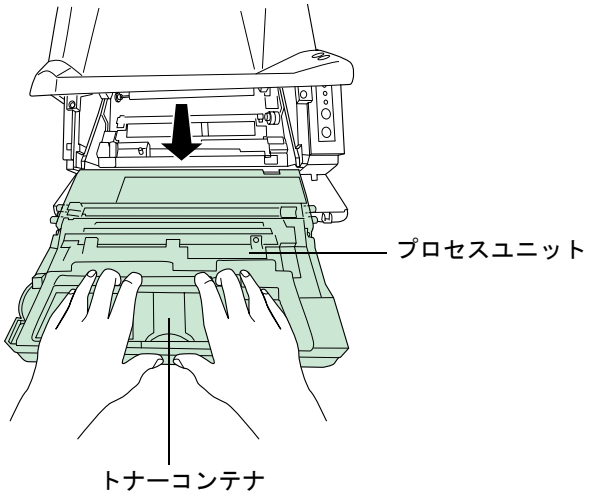
清掃

トナーコンテナの交換時には、以下に説明する手順でプリンタ内部の清掃をしてください。また、最良の印字品質を保つためにトナーコンテナ交換時以外も、定期的(月に1度程度)にプリンタ内部の清掃を行ってください。

1 プリンタの**上部カバー**と**前面カバー**を開きます。図のようにカバーの左右の角を持ち、止まるまで開いてください。

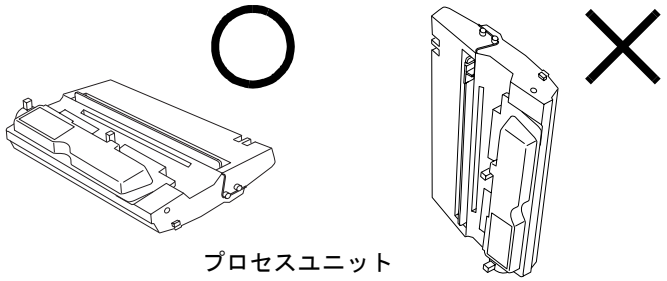


2 トナーコンテナと一緒に、**プロセスユニット**をプリンタから取り出します。

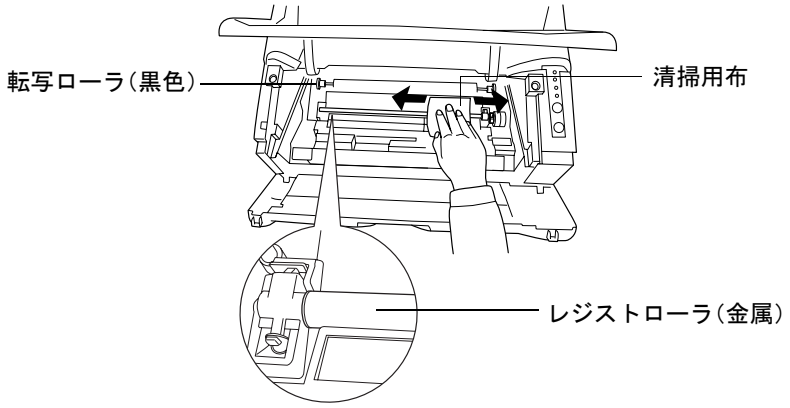


お知らせ

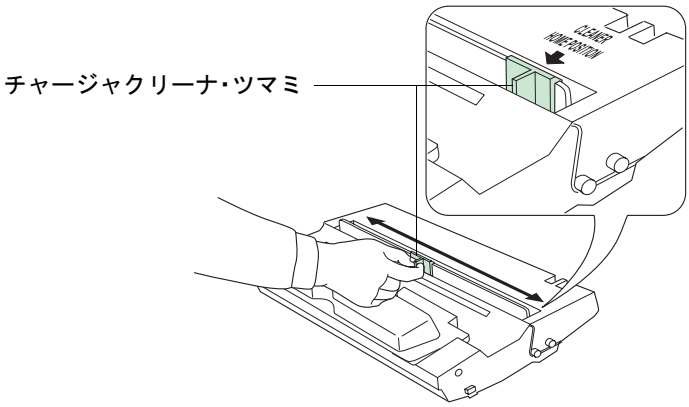
- **プロセスユニットには感光ドラム等の精密部品が含まれています。衝撃を与えたり、緑色のドラム部分に手を触れたりしないでください。また、直射日光や強い光にさらすと印字品質が劣化します。プロセスユニットは清掃が終わったら速やかにプリンタに戻してください。**
- **取り出したプロセスユニットを一時的に別の場所に置く場合は、水平な場所に横にして置いてください。立てて置かないでください。そのままプリンタに再装着すると、印字品質が劣化します。**



3 トナーキットに付属の**清掃用布**で、**レジストローラ(金属)**部に付着している紙粉や汚れを拭き取ってください。清掃中は**転写ローラ(黒)**に触れないようご注意ください。印字品質が低下する原因になります。



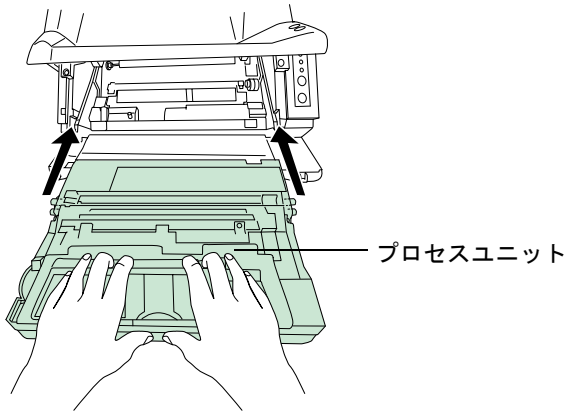
4 プロセスユニットの上側の**チャージャクリーナ・ツマミ**(緑色)を、図のように2、3回左右にスライドさせてください。これによって内部のチャージャが清掃されます。清掃後は必ず**CLEANER HOME POSITION ⬇** 表示がある位置に**ツマミ**を戻してください。



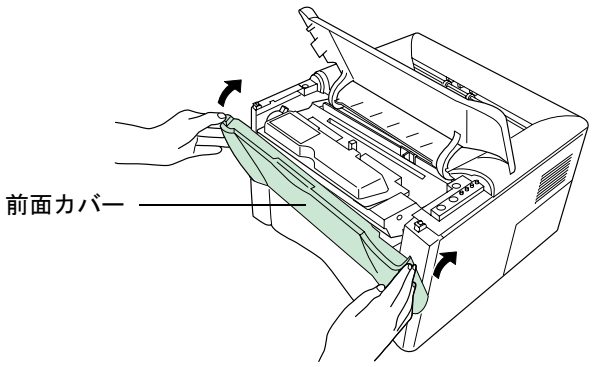
お知らせ

チャージャクリーナ・ツマミが、CLEANER HOME POSITION ⬇ 表示からずれた位置のままプリンタに再装着して印字すると黒い帯が印字されます。

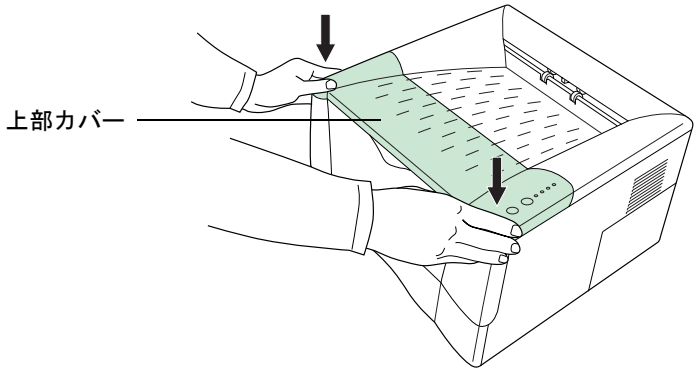
5 清掃が完了したら、取り外した**プロセスユニット**をプリンタに戻します。**プロセスユニット**の両端を左右のガイドに合わせて、プリンタに装着してください。



6 **前面カバー**を閉じます。



7 **上部カバー**を閉じます。**上部カバー**の左右の角を押し、しっかりと閉じてください。以上で清掃は終了です。



第 4 章　困ったときは

この章では、プリンタに問題が発生した際の対処のしかたを解説しています。問題が解決できない場合は、お買い求めの京セラミタ株式会社正規特約店、または弊社コールセンターにご連絡ください。

一般的な問題について 4-2
印字品質の問題 4-3
インジケータ 4-5
紙詰まりの処置 4-13

一般的な問題について

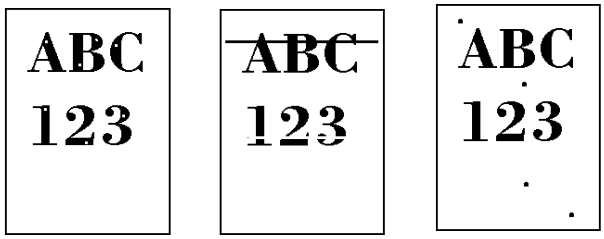
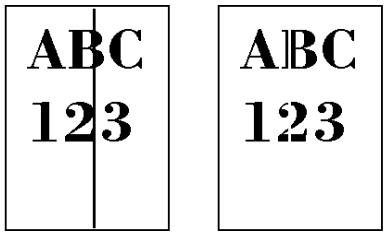
問題と見られる症状の中には、お客様ご自身で解決できるものが少なくありません。プリンタに何らかの問題が発生した場合は、故障とお考えになる前に以下のチェックを行ってみてください。

現象	確認事項		処置
印字できない。	↻インジケータを確認してください。	消灯	下記の項目を見て、該当するチェックを行ってみてください。
		点滅	速い点滅: エラーが起きています。詳しくは4-5ページの***インジケータ***を参照してください。 遅い点滅: プリンタがオフラインになっています。◎キーを押してオンラインに切り替えてください。
		点灯	以下の項目を見て、該当するチェックを行ってみてください。
	ステータスページが印字できるか確認してください。	ステータスページは印字できる。	コンピュータとの接続に問題がある可能性があります。また、以下の項目を見て、該当する項目があればチェックを行ってみてください。
印字の品質が悪い。			4-3ページの***印字品質の問題***を参照してください。
用紙が詰まった。			4-13ページの***紙詰まりの処置***を参照してください。
電源を入れても、コントロールパネルに何も点灯しない。ファンの回る音もしない。	電源コードがプリンタとコンセントに差し込まれているか確認してください。		電源を一度切ってから、電源コードを確実に差し込み、もう一度電源を入れなおしてください。
	電源スイッチがON (|)の位置になっているか確認してください。		
ステータスページは正常に印字するが、コンピュータからのデータは正常に印字されない。	接続しているケーブルを確認してください。		接続しているケーブルは両端とも確実に接続してください。ケーブルを別のものと交換してみてください。本プリンタのインタフェース仕様については、**付録C**を参照してください。
	プログラムファイルやアプリケーションソフトを調べてみてください。		別のファイルを印字してみるか、別の印字コマンドを使ってみてください。ある一定のファイルやアプリケーションのみに問題が発生するようであれば、そのアプリケーションのプリンタ設定等を確認してください。

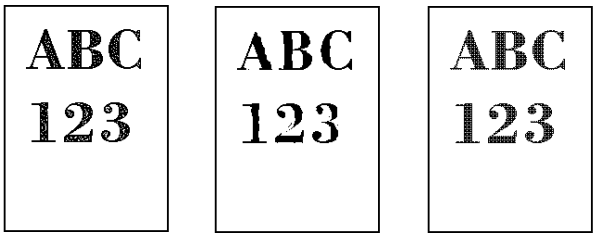
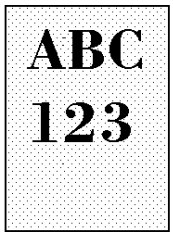
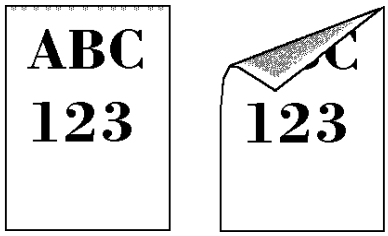
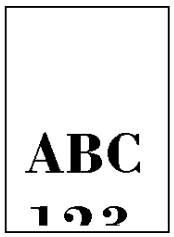
以上のチェックを行ってみても、問題が解決されない場合は、お買い求めの京セラミタ株式会社正規特約店、または弊社コールセンターにご連絡ください。

印字品質の問題

印字品質の問題には、印字ムラから白紙出力などさまざまな症状があります。ここではそれぞれの症状に応じ、処置の方法を説明します。ここで説明する処置を行っても問題が解決されない場合は、お買い求めの京セラミタ株式会社正規特約店、または弊社コールセンターにご連絡ください。

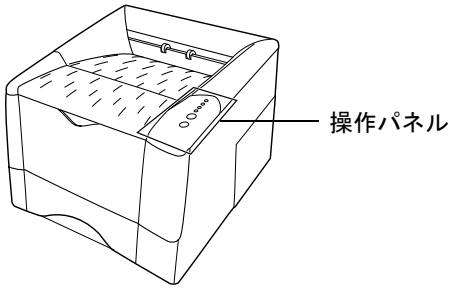
印字例	処置
全体が真っ黒になる。 	お買い求めの京セラミタ株式会社正規特約店、または弊社コールセンターにご連絡ください。
白抜けや黒点や横線が印字される。 	**チャージャワイヤを清掃してください。** プリンタの上部カバーと前面カバーを開けてプロセスユニットを取り出し、緑色のチャージャクリーナ・ツマミを左右に数回往復させて、チャージャワイヤを清掃してください。詳しくは3-7ページの***清掃***を参照してください。
白や黒の縦線が入る。 	**操作パネルを確認してください。** (トナー)インジケータが点滅しているときは、トナーコンテナを交換してください。交換後はプリンタ内部を清掃してください。詳しくは***第3章 日常のメンテナンス***を参照してください。
	チャージャワイヤを清掃してください。 プリンタの上部カバーと前面カバーを開けてプロセスユニットを取り出し、緑色のチャージャクリーナ・ツマミを左右に数回往復させて、チャージャワイヤを清掃してください。詳しくは3-7ページの***清掃***を参照してください。
	チャージャクリーナ・ツマミの位置を確認してください。 プリンタの上部カバーを開けてプロセスユニットを取り出し、緑色のチャージャクリーナ・ツマミが正しい位置にあるか確認してください。詳しくは3-7ページの***清掃***を参照してください。

次ページへ続く

印字例	処置
画像が薄い、またはぼやける。 	**エコプリントがオンになっていないか確認してください。** エコプリントがオンになっている場合は、リモート・オペレーションパネルでエコプリントをオフに設定してください。詳しくは2-29ページの***エコプリントモードの選択***を参照してください。
	(トナー)インジケータを確認してください。 インジケータが点滅している場合は、新しいトナーコンテナに交換してください。詳しくは3-2ページの***トナーコンテナの交換***を参照してください。
	チャージャワイヤを清掃してください。 プリンタの上部カバーと前面カバーを開けてプロセスユニットを取り出し、緑色のチャージャクリーナ・ツマミを左右に数回往復させて、チャージャワイヤを清掃してください。詳しくは3-7ページの***清掃***を参照してください。
	用紙タイプの設定を変更してみてください。 リモート・オペレーションパネルで用紙タイプを**薄**に設定してください。詳しくは2-22ページの***用紙タイプ(用紙の厚さ)の設定***を参照してください。
背景が灰色になる。 	**(トナー)インジケータを確認してください。** インジケータが点滅している場合は、新しいトナーコンテナに交換してください。詳しくは3-2ページの***トナーコンテナの交換***を参照してください。
	プロセスユニットを確認してください。 プリンタの上部カバーと前面カバーを開けてプロセスユニットが正しく装着されているか確認してください。
用紙の先端や裏側が汚れる。 	**転写ローラを確認してください。** プリンタの上部カバーと前面カバーを開けてプロセスユニットを取り出し、転写ローラが汚れていないか確認してください。汚れている場合は、印字を数枚繰り返すと汚れが取り除かれます。
	レジストローラを確認してください。 プリンタの上部カバーと前面カバーを開けてプロセスユニットを取り出し、レジストローラがトナーなどで汚れていないか確認してください。汚れている場合は、トナーキットに付属の清掃用布で拭き取ってください。
印字位置がずれる。 	**ファイルやプログラムを調べてみてください。** プリスクライブコマンドに誤りがないか確認してください。ある特定のファイルやプログラムだけで問題が起こる場合は、コマンドのパラメータや使い方が間違っている可能性があります。
	用紙サイズの設定を確認してください。 給紙元にセットされている用紙サイズと、リモート・オペレーションパネルの用紙サイズの設定を確認してください。詳しくは2-20ページの***用紙サイズの設定***を参照してください。

インジケータ

プリンタの操作パネル上には4個のインジケータがあります。これらのインジケータは点灯、消灯、点滅の組み合わせによって、プリンタの状態（メンテナンス必要/エラー発生/通常）をあらわしています。本項ではプリンタの通常時に表示されるものと、エラーに対するインジケータの表示と、その対処のしかたについて説明します。

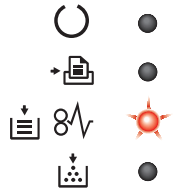
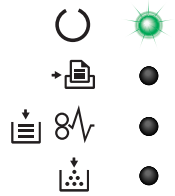
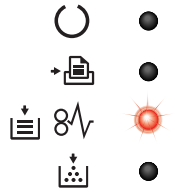
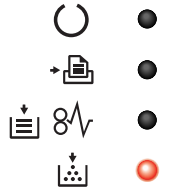
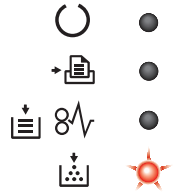


インジケータの表示は基本的にメンテナンス、エラー、通常、の3つのタイプに分類されますが、次ページからの表では点滅を、速い点滅と遅い点滅に分けて説明しています。

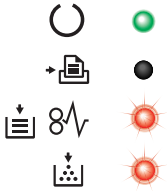
インジケータ	状態
● / ●	点灯
✸ / ✸	速い点滅
✸ / ✸	遅い点滅
●	消灯

リモート・オペレーションパネルを使うとプリンタの状態をコンピュータ上で確認することができます。プリンタにエラーが発生すると、そのエラーについてのメッセージがコンピュータのディスプレイに表示されます。次ページからの表では**リモート・オペレーションパネル**の表示についても説明しています。

メンテナンス要求表示

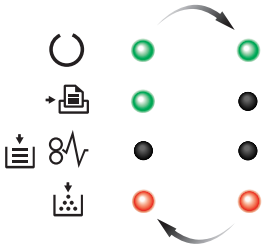
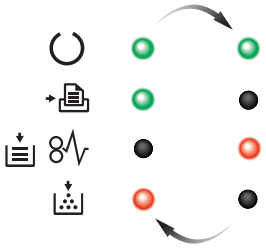
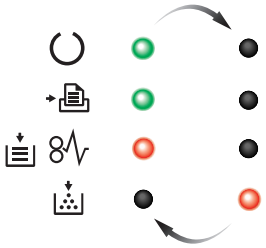
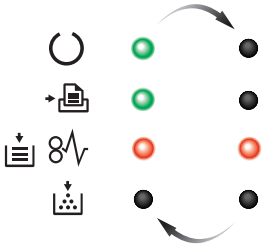
インジケータの表示	リモート･オペレーションパネルの表示	処置
	Add paper <paper source> <size>	**用紙がカセットまたはMPトレイにありません。** 用紙がない給紙元と、用紙サイズがリモート･オペレーションパネルに表示されます。 キーを押すごとに、給紙カセット、MPトレイ、オプションのフィーダと給紙元が切り替わります。 **給紙カセットの装着が不完全です。** 給紙カセットを確実にプリンタに装着してください。 (レディ)および (データ)インジケータは、プリンタの状態によって点灯または点滅表示する場合もあります。
	Load MP tray <paper size>	**用紙サイズが一致しません。** 給紙元の用紙サイズと印字データに設定された用紙サイズが異なる場合、MPトレイから給紙して印刷することができます。MPトレイに適切なサイズの用紙をセットしてキーを押すと印字を行います。 MPトレイ以外から給紙したい場合は、キーを繰り返し押すと給紙元を切り替えることができます。
	Paper jam	**プリンタに用紙が詰まりました。** プリンタのカバーを開けて、詰まった用紙を取り除いてください。詳しくは4-13ページの***紙詰まりの処置***を参照してください。 (データ)インジケータは、プリンタの状態によって、点灯または点滅表示する場合もあります。
	Replace Toner TK-17	**トナーが無くなりました。** トナーが無くなったためプリンタは停止しました。新しいトナーコンテナに交換してください。交換後はプリンタ内部を清掃してください。詳しくは3-2ページの***トナーコンテナの交換***を参照してください。
	Toner low TK-17	**トナーが残り少なくなりました。** 早めに新しいトナーコンテナに交換してください。交換後はプリンタ内部を清掃してください。詳しくは3-2ページの***トナーコンテナの交換***を参照してください。 (レディ)、(データ)、および (紙詰まり)インジケータは、プリンタの状態によって点灯または点滅表示する場合もあります。

次ページへ続く

インジケータの表示	リモート･オペレーションパネルの表示	処置
	Top cover Open	**上部カバーが開いています。** カバーを閉じてください。 (データ)インジケータは、プリンタの状態によって点灯または点滅表示する場合もあります。
	Warning Waste toner bottle	**プロセスユニット内の廃棄トナーボトルが、満杯になったので、プリンタは停止しました。** 京セラミタ株式会社正規特約店、または弊社コールセンターにご連絡ください。

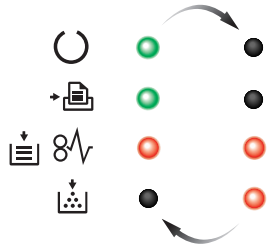
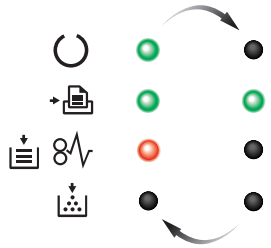
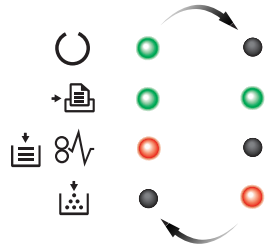
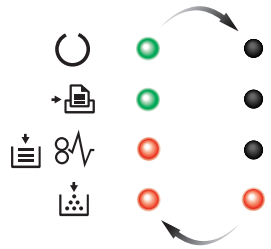
プリンタの修理を要するエラー表示

次の表にあるエラーが発生した場合はプリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタ株式会社正規特約店、または弊社コールセンターにご連絡ください。プリンタの修理を要するエラーが発生した場合、インジケータは2つの異なる表示を交互に繰り返します。ただし、処置が書いてあるものについては、はじめにその処置を試してみてください。

インジケータの表示	リモート・オペレーションパネルの表示	処置
	Call service personD9:0123456	**廃棄トナーボトルが満杯です。(D9エラー)** プリンタの電源を切ってプロセスユニットをプリンタから取り出してください。取り出したプロセスユニットを水平に静かに数回振り、再度プリンタに装着してから電源を入れてください。再度同じエラーが表示される場合は、お買い求めの京セラミタ株式会社正規特約店、または弊社コールセンターにご連絡ください。(印字ページ数が10万ページ未満の場合。)
	Call service personDA:0123456	**廃棄トナーボトルが満杯です。(DAエラー)** 上記と同じ手順を行ってください。(印字ページ数が10万ページ以上の場合。)
	Call service personE1:0123456	**メインモータのエラーです。(E1エラー)** お買い求めの京セラミタ株式会社正規特約店、または弊社コールセンターにご連絡ください。
	Call service personE2:0123456	**スキャナモータのエラーです。(E2エラー)** お買い求めの京セラミタ株式会社正規特約店、または弊社コールセンターにご連絡ください。

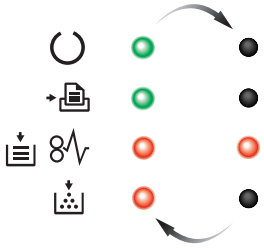
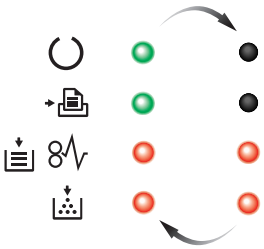
*リモート・オペレーションパネルに表示される0123456の数字は、プリンタの総印字枚数です。

次ページへ続く

インジケータの表示	リモート･オペレーションパネルの表示	処置
	Call service personE3:0123456	**スキャナ･ピンフォトのエラーです。(E3エラー)** お買い求めの京セラミタ株式会社正規特約店、または弊社コールセンターにご連絡ください。
	Call service personE4:0123456	**定着器のエラーです。(E4エラー)** お買い求めの京セラミタ株式会社正規特約店、または弊社コールセンターにご連絡ください。
	Call service personE5:0123456	**イレーサのエラーです。(E5エラー)** お買い求めの京セラミタ株式会社正規特約店、または弊社コールセンターにご連絡ください。
	Call service personF1:0123456	**コントローラのチェックサムエラーです。(F1エラー)** お買い求めの京セラミタ株式会社正規特約店、または弊社コールセンターにご連絡ください。

*リモート･オペレーションパネルに表示される0123456の数字は、プリンタの総印字枚数です。

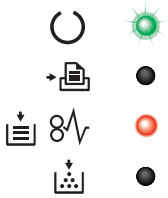
次ページへ続く

インジケータの表示	リモート･オペレーションパネルの表示	処置
	Call service personF2:0123456	**コントローラのRAMエラーです。(F2エラー)** お買い求めの京セラミタ株式会社正規特約店、または弊社コールセンターにご連絡ください。
	Call service personF3:0123456	**コントローラのシステムエラーです。(F3エラー)** お買い求めの京セラミタ株式会社正規特約店、または弊社コールセンターにご連絡ください。

*リモート･オペレーションパネルに表示される0123456の数字は、プリンタの総印字枚数です。

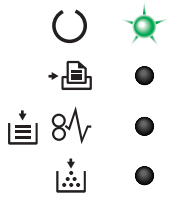
対処可能なエラー表示

次の表にあるエラーが発生した場合はプリンタの ◎ キーを押すと処理を続行します。標準ステータスページを印字すると、これらのエラーを確認することができます。標準ステータスページについては、2-3ページの ***キーの機能*** を参照してください。

インジケータの表示	リモート・オペレーションパネルの表示	処置
	Memory overflow Press GO	**メモリ不足で印字できません。** プリンタにオプションの拡張メモリを増設してください。◎ キーを押すと処理を続行します。◎ キーを押すと処理を中止します。
	Print overrun Press GO	**データが複雑過ぎるため印字できません。** データの内容が複雑過ぎるため印字できません。◎ キーを押すと処理を続行します。◎ キーを押すと処理を中止します。 **お知らせ** **このエラーが発生したら、リモート・オペレーションパネルから次のコマンドをプリンタに送ってください。** `!R! FRPO R5, 1; EXIT;` **コマンドについて、詳しくは2-50ページの *プリスクライブ・コマンドをプリンタに送る* を参照してください。**
	RAM DISK err ## Press GO	**##に表示されるエラーコード(数字)を確認して、以下を参照してください。** 01: フォーマットエラーです。プリンタの電源を入れ直してみてください。 02: RAMディスクモードがオフになっています。RAMディスクモードをオンにしてください。 04: RAMディスクの容量が不足しています。RAMディスク内のデータを整理してから、再度作業を行ってください。または、RAMディスクの領域を拡大してください。 05: 指定のファイルが存在しません。ファイル名とRAMディスク内のファイルの有無を確認してください。 06: ファイルシステムで使用できるメモリが足りません。プリンタにオプションの拡張メモリを増設してください。

通常時の表示

プリンタは正常な状態です。

インジケータの表示	リモート･オペレーションパネルの表示	処置
	Cancelling data	**プリンタはデータをキャンセル中です。** インジケータが上から下へ、次に下から上へと順に点灯を繰り返します。
	Please wait	**プリンタはウォーミングアップ中です。** インジケータが上から下へ点灯を繰り返します。
	Processing	**プリンタはデータを受信中です。**
		プリンタはデータの処理中か、ジョブ終了コードまたはコマンドの受信待ちの状態です。
	Ready	**プリンタは印字可能な状態です。**
		プリンタはオフラインの状態です。 印字は行いませんが、データの受け取りは可能です。
	Sleeping	**プリンタがスリープモードになっています。** インジケータが5秒ごとに点灯し、その他のインジケータは消灯します。コントロールパネルのキーを押したり、本体のカバーを開閉したり、またはデータを受信するとウォーミングアップ後にオンライン状態になります。(プリンタがスリープモードに入るまでの時間は、**リモート･オペレーションパネル**で変更することができます。詳しくは2-32ページの***スリープモードの設定***を参照してください。)

紙詰まりの処置

ここでは、用紙がプリンタ内に詰まった場合の、用紙の取り除きかたを説明します。用紙がプリンタ内で詰まったときや、用紙がカセットから送られなかったときなどにはプリンタが停止します。このとき、プリンタはオフラインになり、操作パネルの (紙詰まり)インジケータが点灯します。紙詰まりが起きた場合には、本項を参考にして詰まった用紙を取り除いてください。

紙詰まりがしばしば起こる場合は、用紙の仕様が本プリンタに合っていない可能性が考えられますので、用紙の種類を変えてみてください。用紙の仕様については5-2ページの***用紙の基本仕様***で詳しく解説しています。

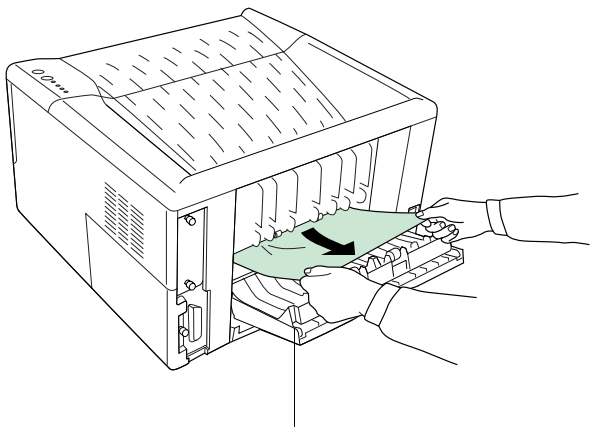
用紙を変えて試してみても、紙詰まりがしばしば起こる場合は、プリンタに何らかの問題がある場合が考えられますので、お買い求めの京セラミタ株式会社正規特約店、または弊社コールセンターにご連絡ください。

お知らせ

- **紙詰まりの際は給紙ユニットを取り外し、紙片が残らないように詰まった用紙を取り除いてください。**
- **紙詰まりを起こしたページは、紙詰まりが発生した場所によって再印字されない場合があります。**

排紙トレイ部での紙詰まり

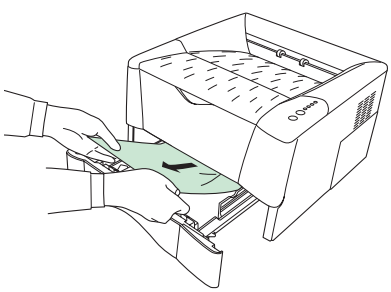
用紙が完全に排紙されずに途中で止まってしまったときは、フェイスアップトレイを開き、詰まった用紙を図のように引き出して取り除いてください。用紙を取り除いたら、プリンタの上部カバーを開閉するとエラーがクリアされ、ウォーミングアップ後に印字を再開します。



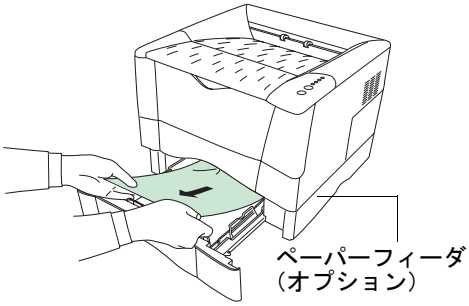
フェイスアップトレイ

給紙カセット部での紙詰まり

給紙カセット内で紙詰まりが起きた場合は、プリンタの給紙カセットまたはペーパーフィーダの給紙カセットを引き出し、図のように詰まった用紙を引き抜いてください。



プリンタの給紙カセット

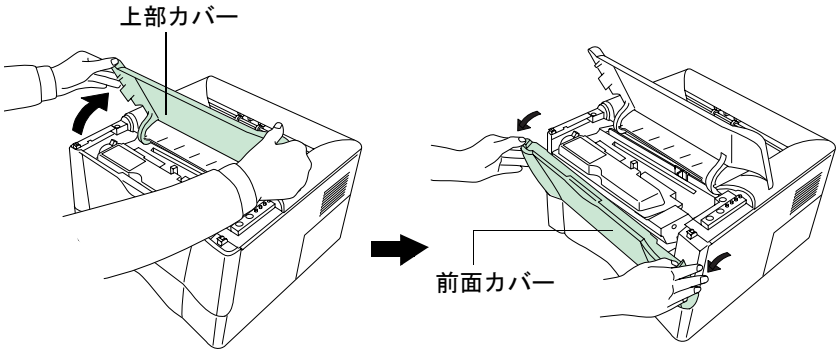


ペーパーフィーダの給紙カセット

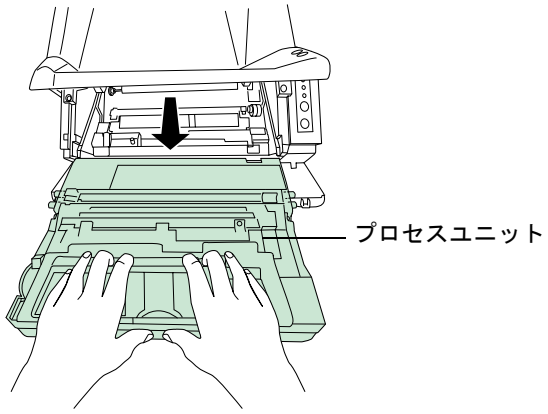
プリンタ内部での紙詰まり

排紙トレイ部や給紙カセット内に詰まった用紙が無い場合は、プリンタ内部で紙詰まりが起きています。以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1 **上部カバー**と**前面カバー**を開きます。図のようにカバーの左右の角を持ち、止まるまで開いてください。



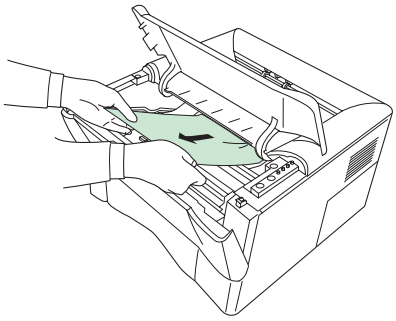
2 下の図のように、プリンタから**プロセスユニット**を取り外します。



お知らせ

プロセスユニットには感光ドラム等の精密部品が含まれています。衝撃を与えたり、ドラムの緑色の部分に手を触れたりしないでください。また、直射日光や強い光にさらすと印字品質が劣化します。プロセスユニットは清掃が終わったら速やかにプリンタに戻してください。

3 下の図のように、プリンタから詰まった用紙を取り除きます。



お知らせ

詰まった用紙がローラに絡んでいるときは、正常時に用紙が送られるときと同じ方向に用紙を引き出してください。

4 詰まった用紙を取り除いたら、取り外したプロセスユニットをプリンタに装着します。

5 プリンタの上部カバーと前面カバーを閉じると、ウォーミングアップ後に自動的に印字を再開します。

第 5 章 用紙について

この章では以下の内容について解説します。

用紙の基本仕様 5-2
適正紙の選択 5-3
特殊な用紙 5-7

用紙の基本仕様

本プリンタは、通常の乾式PPC複写機用コピー用紙（普通紙）に印字できるように設計してありますが、本章の制限の範囲内で様々な用紙に印字することができます。

ページプリンタに適さない用紙を使用すると、紙詰まりになったり紙にしわがよったりするため、用紙の選択は慎重に行ってください。低品質の用紙は印字品質を低下させ用紙が無駄になるばかりでなく、極端な場合にはプリンタの故障の原因になることもあります。次の注意事項を守っていただくことで、効率的でトラブルの少ない印字ができ、プリンタ自体の磨耗や損傷も最小限にすることができます。

使用できる用紙

通常の乾式PPC複写機で使用するコピー用紙（普通紙）を使用してください。

お知らせ

再生紙は下表に示した基本仕様のうち、保水度やパルプ含有率などの基本条件で本プリンタに使用するために必要な仕様を満たさないものがあります。このため、再生紙は少量をご購入になってサンプル印字を行ってください。印字結果が良好で、紙粉が極端に多くないものを選んでご使用ください。

製紙メーカーごとにグレードの違いはありますが、これらの違いはプリンタの処理にも影響を与えます。質の悪い用紙を使うと仕上がりに満足できる結果を得られません。したがって廉価な用紙であっても、その紙質がページプリンタに適していない場合は、結果的に見て不経済ということになります。

用紙の基本仕様

次の表は、本プリンタに使用できる用紙の基本的な仕様を示すものです。
仕様についての詳細は後述します。

項目	仕様
重さ	給紙カセット: 60～105 g/m^2 MPトレイ: 60～163 g/m^2
厚さ	0.086～0.110 mm
寸法	±0.7 mm
四隅の角度	90° ±0.2°
保水度	4 %～6 %
繊維の方向	縦目（給紙方向）
パルプ含有率	80 %以上

適正紙の選択

レーザプリンタの印字には、レーザ照射、静電気放電、静電複写、加熱のプロセスがあります。さらに、用紙がプリンタ内部を通過するときには、スライドしたり、曲げられたり、ねじられたりと、その用紙にはかなりの力が加えられることになります。質の良い印刷用紙はこれらの条件に耐え、常にクリーンで鮮明な印字を行います。

用紙によって品質は異なります。ここでは、用紙を選ぶ際の基準項目について説明します。

紙の状態

角の折れているもの、全体が丸まっているもの、汚れているもの、破れているもの、または繊維が毛羽立っていたり、表面が粗かったり、ちぎれやすい用紙は避けてください。

このような用紙を使用すると仕上がりが悪くなるだけでなく、用紙送りがうまくいかないために紙詰まりを起こし、プリンタの寿命を縮めることになりかねません。用紙表面は滑らかで均一なものを選んでください。ただし、コーティング加工や、その他の表面処理をしてある用紙は、ドラムや定着ユニットを傷めますので使用を避けてください。

用紙成分

アート紙のようなコーティング加工された用紙や、表面処理された用紙、プラスチックやカーボンを含む用紙は使用しないでください。そのような用紙は、熱により有害なガスを発生することがあり、またドラムを傷めます。

普通紙は、少なくとも80 %以上のパルプを含むものにしてください。コットンやその他の繊維が用紙成分の20 %を超えないものをご使用ください。

用紙サイズ

次の表に記載したサイズの用紙が給紙カセットまたはMPトレイで使用できます。寸法誤差の許容範囲は縦横ともに±0.7 mmです。用紙四隅の角度は90°±0.2°のものを使用してください。

MPトレイ	サイズ	給紙カセットまたはMPトレイ	サイズ
Monarch	3-7/8 × 7-1/2インチ	リーガル（MPトレイでは使用不可）	8-1/2 × 14 インチ
Business	4-1/8 × 9-1/2 インチ	Letter	8-1/2 × 11 インチ
International DL	110 × 220 mm	ISO A4	210 × 297 mm
International C5	162 × 229 mm	ISO A5	148 × 210 mm
International B5	176 × 250 mm	JIS B5	182 × 257 mm
Executive	7-1/4 × 10-1/2 インチ	カスタム	148～216 mm × 210～297 mm
Commercial 9	3-7/8 × 8-7/8 インチ	これ以外のサイズの用紙は手差しで給紙することができます。手差しで使用できる用紙の最小サイズは80×148 mm、最大サイズは216 × 356 mmです。	
Commercial 6-3/4	3-5/8 × 6-1/2 インチ		
ISO A6	105 × 148 mm		
JIS B6	128 × 182 mm		
ハガキ	100 × 148 mm		
往復ハガキ	148 × 200 mm		

滑らかさ

用紙表面は滑らかで均一であることが重要ですが、コーティングされているものは使用しないでください。滑らかすぎる用紙を使うと、同時に複数枚の用紙が送られて、紙詰まりの原因となります。

基本重量

基本重量とは、用紙1枚を1 m^2の大きさに換算したときの重量です。重すぎたり軽すぎたりする用紙は、用紙送りの失敗や紙詰まりの原因となるばかりでなく、プリンタの消耗の原因にもなります。用紙の重さ、つまり紙の厚さが一定していないと、同時に複数枚の用紙を給紙してしまったり、トナーの定着不良によって印字がボケるなどの印字品質の問題を引き起こすことがあります。用紙の適正な重さは給紙カセットで60～105 g/m^2、MPトレイで60～163 g/m^2の範囲です。

厚さ

ページプリンタで使用する用紙は極端に厚いものや、また薄いものは避けてください。同時に複数枚の用紙が給紙されたり、紙詰まりが頻繁に起きたりする場合は紙が薄すぎることが考えられます。反対に紙が厚すぎる場合も、紙詰まりが起こることがあります。適正な用紙の厚さは0.086～0.110 mmの範囲です。

保水度

用紙の保水度は、乾燥度に対する湿り気のパーセントで表されます。湿り気は紙送りや静電気の発生状況、トナーの定着性などに影響を与えます。

用紙の保水度は室内の湿度によって変わります。室内の湿度が高すぎて紙が湿り気を帯びると、紙の端が伸びて波打つことがあります。逆に湿度が低すぎて紙に極端に湿り気がなくなると、用紙の端が縮んでカサカサになり、コントラストの弱い印字になります。

波打ったり乾燥しいると、紙送りにずれが起きることがあります。用紙の保水度は4 %～6 %の範囲に収まるようにしてください。

望ましい保水度を保つためには、用紙を保管する環境に注意することが必要です。保管には次の点に注意してください。

- 風通しのよい低湿の場所に保管してください。
- 未開封のまま水平な状態で保管してください。開封後すぐ使用しない紙は、もう一度密封してください。
- 用紙は購入時の箱や梱包しに風をして保管してください。箱の下には台などを置いて、床から離してください。特に梅雨時の板張りやコンクリート張りの床からは充分離してください。
- 熱、日光、湿気にさらされる場所に紙を放置しないでください。

繊維の方向

用紙が製造されるとき、用紙の長さに対して紙の繊維が垂直（縦目）になるようカットされるものと、用紙の幅に対して紙の繊維が垂直（横目）になるようカットされるものとがあります。横目の用紙はプリンタの給紙時に問題を起こす原因になる場合がありますので、用紙は縦目のものをお使いください。

その他の仕様

多孔性: 紙の繊維の密度を表します。

硬さ: 柔らかすぎる紙は、プリンタ内部で折れ曲がりやすく紙詰まりの原因になります。

カール: ほとんどの用紙は、開封した状態で放置しておくとどちらかの方向へ自然にカールして丸まる性質を持っています。用紙は定着ユニットを通過する際に、若干上向きに丸くなります。これを利用して、給紙カセットにセットする面を考えてカールを打ち消し合うようにすると、仕上がりがより平らになります。

静電気について: トナーを付着させるために、印字の過程で用紙は静電気を帯びます。この静電気がすみやかに放電される用紙を選んでください。

用紙の白さ: 印字されたページのコントラストは使用した用紙の白さによって変わります。より白い用紙を使用したほうがシャープで鮮明な印字が得られます。

品質について: サイズの不揃い、角がきちんととれていない、粗雑な裁断面、切りそこなってつながっている用紙、角や端のつぶれなどが原因でプリンタが正しく機能しないことがあります。特にご自分で裁断された用紙を使用する場合はご注意ください。

梱包について: ひと〆単位できちんと梱包され、さらに箱に詰められている紙をお選びください。梱包紙は内面が防湿用にコーティングされているものが最良です。

特殊処理: 次のような処理をほどこした用紙については、基本仕様を満たす用紙であっても使用しないようおすすめします。使用される場合は、多くの量を購入される前にサンプル印字を行ってください。

- つやのある用紙
- 透かしの入った用紙
- 表面に凹凸のある用紙
- ミシン目の入った用紙
- パンチ穴の開いている用紙

特殊な用紙

ここでは、特殊な用紙に印字する場合について説明します。

本プリンタには、次のような特殊な用紙を使用することができます。

- OHPフィルム
- ラベル用紙
- 封筒
- 着色紙
- プレ印刷紙（あらかじめ印刷がされている用紙）
- 再生紙

以上の用紙を使用するときはコピー用またはページプリンタ用として指定されているものをお使いください。また、着色紙とプレ印刷紙以外はMPトレイから給紙してください。

特殊用紙は次のページ以降で示す条件を満たすものであれば本プリンタで使用することが可能ですが、これらの用紙は構造および品質に大きなばらつきがあるために、規定紙よりも印刷中の問題発生の可能性が高くなります。印刷中に、湿気などが特殊紙に与える影響が原因で、機械または操作員に被害を与えても当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

お知らせ

特殊な用紙はサンプル用紙をプリンタで印字してみて、満足のいく仕上がりとなるかを確認してからご購入ください。

特殊紙のそれぞれの仕様は次のとおりです。

OHPフィルム

OHPフィルムは、印字中の定着の熱に耐えるものである必要があります。仕様は下表のとおりです。この条件を満たさないOHPフィルムを使用するとプリンタの故障の原因になりますのでご注意ください。

項目	仕様
耐熱性	最低190 °Cまでの熱に耐えること。
厚さ	0.100～0.110 mm
材質	ポリエステル
サイズ誤差許容範囲	±0.7 mm
四隅の角度	90° ± 0.2°

トラブルを避けるため、OHPフィルムは上向き排紙トレイから排紙してください。

OHPフィルムが頻繁に紙詰まりを起こす場合は、排紙される際にOHPフィルムの先を慎重に少しだけ手で引いてみてください。

ラベル用紙

ラベル用紙を選択する際は、糊がプリンタのどこにも触れないことや、ラベルが台紙から容易にはがれないことなどに注意してください。ドラムやローラ類に糊が付着したり、はがれたラベルがプリンタ内に残ると大きな故障の原因になります。

ラベル用紙は必ず手差しで給紙してください。

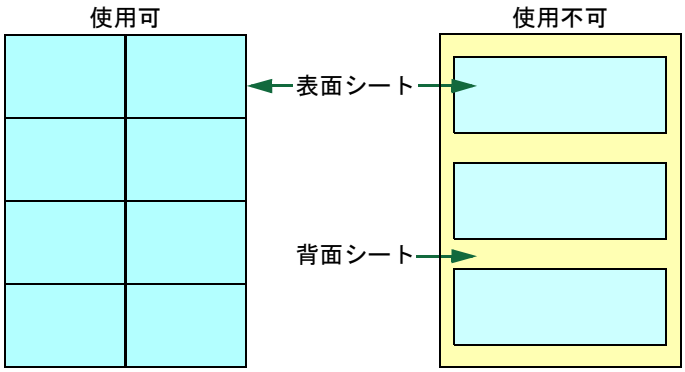
お知らせ

ラベル紙での印字は、その印字品質やトラブル発生の可能性などについては、お客様ご自身の責任で行ってください。

ラベル紙は、図のように3層からなる構造をしています。粘着層はプリンタ内部で加わる力による影響を受けやすい素材でできています。背面シートはラベルが使用されるまで表面シートを保持しています。このように構造が複雑なためラベル用紙はトラブルが発生しがちです。

ラベル用紙の表面は、表面シートで隙間なく完全に覆われていなくてはなりません。ラベルの間に隙間のあるものはラベルがはがれやすく、大きな故障の原因となります。

ラベル用紙に、用紙の端を完全に覆うため、表面シートに広いマージンを設けているものがあります。このような用紙をお使いの場合、印字が終了するまで、このマージン部分を背面シートからはがさないでください。



項目	仕様
表面シートの重さ	44～74 g/m^2
基本重量(用紙全体の重さ)	104～151 g/m^2
表面シートの厚さ	0.086～0.107 mm
用紙全体の厚さ	0.115～0.145 mm
保水度	4～6 %

封筒

印字できる封筒は、基本重量が60～79 g/m^{2}の用紙で作られているものです。

封筒は構造上、表面全体に均一な印字ができない場合があります。特に薄手の封筒の場合は、プリンタを通り抜ける間にシワになることがあります。封筒を購入する前に、その封筒での印字が満足のいくものであるかをサンプル印字で確認してください。

糊が露出している封筒はどのような封筒でも使用できません。たとえ露出していなくても、紙をはがすと糊が現れるワンタッチ式のタイプもご使用になれません。糊をカバーしている小さな台紙が、プリンタ内部ではがれ落ちると大きな故障の原因となります。

封筒に特殊加工のあるタイプも使用できません。紐を巻き付ける丸い鳩目の打ってあるものや、窓の開いているもの、窓部にフィルム加工がされているものなどは使用できません。

お知らせ

紙詰まりを避けるため、複数の封筒の印刷中には排紙トレイに封筒が10枚以上残らないようにしてください。

着色紙

着色紙は5-2ページの表を満たすものでなければなりません。さらに、用紙に含まれている色素は印字中の熱に耐えるものでなければなりません。

プレ印刷紙

プレ印刷紙（あらかじめ印刷がされている用紙）は5-2ページの表を満たすものでなければなりません。着色に使われているインクはプリンタでの印字中の熱に耐えられるもので、シリコンオイルの影響を受けないものであることが必要です。カレンダーなどに使われる表面加工をほどこしてある紙は使用しないでください。

再生紙

再生紙は、「用紙の白さ」以外の項目が5-2ページの表を満たすものでなければなりません。

お知らせ

再生紙を購入する前に、印字が満足のいくものであるかをサンプル印字で確認してください。

第６章　ファームウェア・パラメータ

本プリンタは、印字設定に関する各種の情報を内部メモリに記憶しています。これらの情報は京セラのプリンタ制御言語である、プリスクライブFRPOコマンドによって登録・変更でき、電源投入時のプリンタの初期状態として設定されます。本章ではFRPOコマンドと、そのパラメータの使用例を説明します。

ファームウェア設定 6-2
インタフェース独立FRPOパラメータ 6-3
インタフェース共有FRPOパラメータ 6-5

ファームウェア設定

現在のFRPOパラメータの設定値は、ステータスページで確認することができます。

お知らせ

FRPOパラメータを変更する前に、サービス・ステータスページを印字しておくことをおすすめします。なお、FRPO INITコマンドですべてのFRPOパラメータを、プリンタの初期状態にもどすこともできます。(!R! FRPO INIT; EXIT;)ただし、一部のFRPOパラメータは、出荷時に初期値とは異なる設定を行っているため、FRPO INITコマンドを実行すると、工場設定値とは異なった値に設定されます。

FRPOコマンドは以下の書式で実行します。

```
!R! FRPO パラメータ , 設定値 ; EXIT;
```

例ーエミュレーションをPCLに設定

```
!R! FRPO P1, 6; EXIT;
```

インタフェース独立FRPOパラメータ

*1: エミュレーションによっては無視されます。
*2: オプション品装着時に有効です。
*3: 設定後はプリンタの電源を一度切るか、リセット後に有効です。

項目	FRPO	設定値	工場設定
上マージン	A1 A2	インチ単位の整数部分 1/100インチ単位の小数部分	0 0
左マージン	A3 A4	インチ単位の整数部分 1/100インチ単位の小数部分	0 0
ページの長さ	A5 A6	インチ単位の整数部分 1/100インチ単位の小数部分	13 61
ページの幅	A7 A8	インチ単位の整数部分 1/100インチ単位の小数部分	13 61
ページ方向	C1	0: 縦置き(ポートレート) 1: 横置き(ランドスケープ)	0
起動フォント *1	C2 C3 C5	起動フォント番号の中2桁 起動フォント番号の最後2桁 起動フォント番号の最初の2桁	00 00 00
PCLフォント選択範囲	C8	0: 全内部フォントを選択対象とする 1:ビットマップフォントを対象外とする	0
インタフェース・タイムアウト	J2	5秒単位	6(30秒)
パラレルインタフェース・モード *3	O0	0: 標準モード 1: 高速モード 5: ニブル(高速)モード 70: 自動(ネゴシエーション)モード	70
パラレルライン制御 *3	O2	0: ライン制御オフ 2: HP LaserJet互換	0
エミュレーションモード	P1	0: Line printer 1: IBM Proprinter X24E 2: Diablo 630 5: Epson LQ-850 6: PCL	6
キャリッジリターンの処理 *1	P2	0: 無視 1: CR 2: CR+LF	1
改行の処理 *1	P3	0: 無視 1: LF 2: CR+LF	1
行間隔 *1	U0	インチあたりの行数/整数部分	6
行間隔 *1	U1	インチあたりの行数/小数部分	0
文字間隔 *1	U2	インチあたりの文字数/整数部分	10
文字間隔 *1	U3	インチあたりの文字数/小数部分	0

次ページへ続く

項目	FRPO	設定値	工場設定
内蔵フォントの国別コード	U6	0:US ASCII 1:フランス 2:ドイツ 3:イギリス 4:デンマーク 5:スウェーデン 6:イタリア 7:スペイン 8:日本 9:USリーガル 10:IBM PC-850(マルチ言語) 11:IBM PC-860(ポルトガル語) 12:IBM PC-863(カナダフランス語) 13:IBM PC-865(ノルウェー語) 14:ノルウェー語 15:デンマーク語2 16:スペイン語2 17:ラテンアメリカ	0
シンボルセット	U7	0: エミュレーションと同じ 1: IBM 2: Diablo 630 5: Epson LQ-850 6: HP Roman-8	0
固定フォントピッチ	U8	整数部分(cpi.): 0～99	10
	U9	1/100単位の小数部分(cpl.): 0～99	0
初期ANKアウトラインフォント・サイズ *1	V0	起動時のANKアウトラインフォント・サイズの整数 上位2桁/設定有効範囲値:00～09	00
	V1	起動時のANKアウトラインフォント・サイズの整数 下位2桁/設定有効範囲値:00～99	12
	V2	起動時のANKアウトラインフォント・サイズの小数2桁 設定有効値:00, 25, 50, 75	00
初期ANKアウトラインフォント名 *1	V3	起動時のANKアウトラインフォント名	Courier

インタフェース共有FRPOパラメータ

*1: エミュレーションによっては無視されます。
*2: オプション品装着時に有効です。
*3: 設定後はプリンタの電源を一度切るか、リセット後に有効です。

項目	FRPO	設定値	工場設定
パターンの解像度	B8	0: 300 dpi 1: 600 dpi	0
印字枚数の設定	C0	1～999	1
シリアルライン制御	D0	0: プリンタがレディまたは待機中5秒ごとにXONコードを送信。エラーは反映しない。 1: プリンタがレディまたは待機中5秒ごとにXONコードを送信。エラーを反映する。 10: XONコードを送信しない。エラーを反映しない。 11: XONコードを送信しない。エラーを反映する。	0
バッファしきい値 *2,*3	H6	0～99 受信データバッファ・サイズのパーセント	90
バッファ限界値 *2,*3	H7	0～99 受信データバッファ・サイズのパーセント	70
受信データバッファ容量 *2,*3	H8	0～99 単位は10 Kバイト(0: 5 Kバイト)	6
タイム・アウトの時間	H9	0～99　5秒単位(0:オフ)	6
ジョブ終了変換(オプションインタフェース装着時のみ有効。) *2,*3	I8	0: なし 1: ^Lを追加 2: ^Dを追加 3: ^Lと^Dを追加 7: ^Dと^Lを追加	0
ステータス送信制御	M1	0: なし 1: ステータスを送信	0
起動時のインタフェース *2,*3	M2	2: パラレルインタフェース 3: オプションインタフェース	2
バッファサイズ・オプション *2,*3	M3	0: 自動 1: バッファサイズを指定(M5/M6)	0
バッファサイズ比率(1) *2,*3	M5	オプションインタフェースを装着した場合の第1バッファの比率	3
バッファサイズ比率(2) *2,*3	M6	オプションインタフェースを装着した場合の第2バッファの比率	1
KIRの設定	N0	0: オフ 2: オン	2
スリープタイマ時間	N5	0～24　5分単位(0～120分 [0:オフ])	1(5分)
エコプリントの設定	N6	0: オフ 2: オン	0

次ページへ続く

項目	FRPO	設定値	工場設定
システム解像度	N8	0: 300 dpi 1: 600 dpi	1
PCLリソース保護 *3	N9	0: オフ 1: パーマネントリソースを保護して環境をリセット 2: パーマネント/テンポラリ・リソースを保護	0
コマンド認識文字	P9	33～126のASCIIコード	82(R)
自動カセット切替え	R1	0: オフ 1: カセット1←→2 99: 同サイズのカセットを選択	0
用紙サイズ	R2	0: カセットのサイズ(R4参照) 1: モナーク 2: ビジネス/コマーシャル#10 3: インターナショナルDL 4: インターナショナルC5 5: エグゼクティブ 6: レターサイズ 7: リーガルサイズ 8: ISO A4 9: JIS B5 13: ISO A5 14: ISO A6 15: JIS B6 16: コマーシャル#9 17: コマーシャル#6-3/4 18: ISO B5 31: はがき 32: 往復はがき	0
初期給紙元	R4	0: 手差しトレイ 1: プリンタのカセット 2: オプション・ペーパーフィーダ(PF-17)のカセット	1
ページ保護モード	R5	1: 自動 4: オン	1
MPトレイの用紙サイズ	R7	0: 最大用紙サイズ/その他はR2と同じ	8
ディジーホイール・データビット(Diabloエミュレーション時)	R8	7: 7ビット 8: 8ビット	7
ホストバッファサイズ積算値	S5	0: 10 KB 1: 100 KB 2: 1 MB	0
RAMディスクサイズ	S6	1～99 MB単位	12
RAMディスクモード	S7	0: オフ 1: オン	0
MPトレイモード	T0	0: カセットモード 1: 優先モード	1

次ページへ続く

項目	FRPO	設定値	工場設定
給紙カセットの用紙サイズ	T1	6: レターサイズ 7:リーガルサイズ 8: ISO A4 9: JIS B5 13: ISO A5 19: カスタム(規格サイズ外)	8
オプション・ペーパーフィーダ(PF-17)のカセット用紙サイズ *2	T2	(T1と同じ)	8
ワイドA4モード(10 ptピッチ、78字/行)	T6	0: オフ 1: オン	0
起動時のステータスページの印字	U5	0: 印字しない 1: 印字する	0
クーリエおよびレターゴシックのフォントタイプ選択 *3	V9	0: クーリエ＝ダーク レターゴシック＝ダーク 1: クーリエ＝レギュラー レターゴシック＝ダーク 4: クーリエ＝ダーク レターゴシック＝レギュラー 5: クーリエ＝レギュラー レターゴシック＝レギュラー	5

付録 A フォント

この章では、本プリンタに搭載されているフォントについて解説します。

内蔵フォント **A-2**
フォントリスト **A-3**

内蔵フォント

フォントとは、特定のデザインの文字のセットで、スケーラブルあるいはビットマップの別、シンボルセット、間隔、ピッチ、高さ、スタイル、ストローク、および書体などの属性を持っています。

本プリンタはPCL互換の欧文スケーラブルフォント45書体と、欧文ビットマップフォント1書体を内蔵しています。

フォントリスト

以下は、本プリンタの内蔵フォントのリストです。

フォント番号	フォントサンプル
0	This is a sample of Courier font.
1	This is a sample of CGTimes font.
2	**This is a sample of CGTimes-Bd font.**
3	*This is a sample of CGTimes-It font.*
4	***This is a sample of CGTimes-BdIt font.***
5	This is a sample of CGOmega font.
6	**This is a sample of CGOmega-Bd font.**
7	*This is a sample of CGOmega-It font.*
8	***This is a sample of CGOmega-BdIt font.***
9	*This is a sample of Coronet font.*
10	**This is a sample of Clarendon-Cd font.**
11	This is a sample of Univers-Md font.
12	**This is a sample of Univers-Bd font.**
13	*This is a sample of Univers-MdIt font.*
14	***This is a sample of Univers-BdIt font.***
15	This is a sample of Univers-MdCd font.
16	**This is a sample of Univers-BdCd font.**
17	*This is a sample of Univers-MdCdIt font.*
18	***This is a sample of Univers-BdCdIt font.***
19	This is a sample of AntiqueOlive font.
20	**This is a sample of AntiqueOlive-Bd font.**
21	*This is a sample of AntiqueOlive-It font.*
22	This is a sample of GaramondAntiqua font.
23	**This is a sample of Garamond-Hlb font.**
24	*This is a sample of Garamond-Krsv font.*
25	***This is a sample of Garamond-HlbKrsv font.***
26	*This is a sample of Marigold font.*
27	This is a sample of Albertus-Md font.
28	**This is a sample of Albertus-ExBd font.**
29	This is a sample of Arial font.
30	**This is a sample of Arial-Bd font.**

次ページへ続く

フォント番号	フォントサンプル
31	*This is a sample of Arial-It font.*
32	***This is a sample of Arial-BdIt font.***
33	This is a sample of TimesNewRoman font.
34	**This is a sample of TimesNewRoman-Bd font.**
35	*This is a sample of TimesNewRoman-It font.*
36	***This is a sample of TimesNewRoman-BdIt font.***
66	Τηισ ισ α σαμπλε οφ Σψμβολ φοντ. (Symbol)
68	❄♒♓♦ ♓♦ ♋ ♦♋❍🞓●♏ 🞓➚ ⛢♓■♑♎♓■♑♦ ➚🞓■⧫ (Wingdings)
70	**This is a sample of Courier-Bd font.**
71	*This is a sample of Courier-It font.*
72	***This is a sample of Courier-BdIt font.***
73	This is a sample of LetterGothic font.
74	This is a sample of LetterGothic-Bd font.
75	*This is a sample of LetterGothic-It font.*
80	This is a sample of LinePrinterBM8.5-Roman font.

付録 B メモリの増設

ここでは、プリンタのメモリを増設する方法を解説します。メモリを増設するとより複雑なデータの印字、より多くのフォントのダウンロード、より多くのマクロの設定などができるようになります。

本プリンタは標準で4 MBのメモリを搭載していますが、メモリを増設することでより複雑な印字が可能になり、印字処理も高速化します。本プリンタには、メモリ増設のために空きスロットが1つ用意されています。そのスロットにオプションの拡張メモリを増設することで、最大132 MBまでプリンタのメモリを拡張することができます。

お知らせ

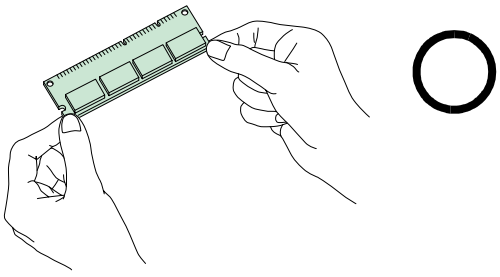
拡張メモリチップの装着は京セラミタ株式会社正規特約店、または弊社コールセンターへお申し付けください。お客様自身が装着を行った結果起きた破損、障害につきましては弊社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

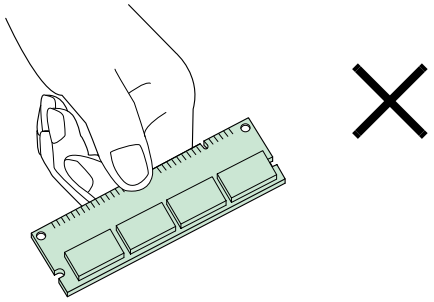
以下からの説明は、作業をするサービスマンに対するものです。

メイン基板および拡張メモリ取り扱い上の注意

衣類やカーペットなどを通して人体に蓄積される静電気は、半導体チップを数多く搭載したメモリチップには大敵です。静電気による破壊からメモリチップを保護するために、装着前に次の事柄についてご注意ください。

- メモリチップは、プリンタに装着する直前まで静電気防止袋より取り出さないでください。
- メモリチップに触れる前に、アースなどによって人体の静電気を除去してください。作業中は静電気防止のリストストラップを使用することをおすすめします。
- メイン基板や拡張メモリに触れるときは、プリント配線部には触れずに必ず基板の端を持ってください。





対応拡張メモリ

オプションの***拡張メモリチップ***については、京セラミタ株式会社正規特約店、または弊社コールセンターへお申し付けください。

メモリチップの装着

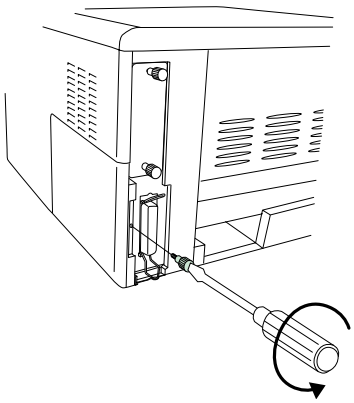
拡張メモリチップをプリンタのメイン基板上の専用スロットに装着します。

⚠警告

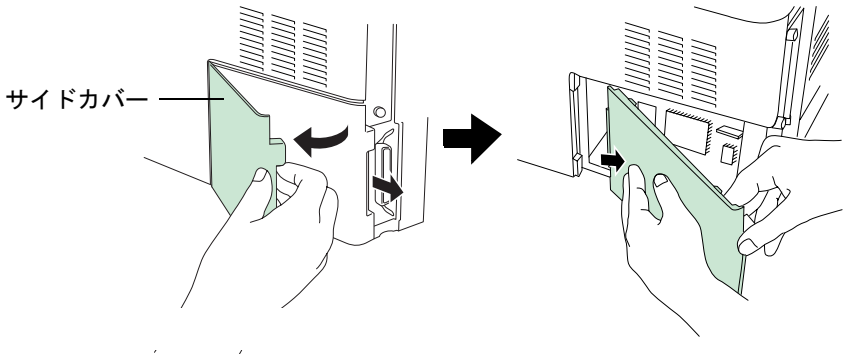
- **プリンタに拡張メモリチップを装着する際は、プリンタの電源は必ず切り、ケーブル類はすべて取り外してください。感電の原因になることがあります。**
- **作業はきれいなテーブルの上などで行ってください。万一、作業中に金属片や液体などの異物が機器の内部に入り、そのまま使用した場合は火災、感電の恐れがあります。**

1 プリンタの電源を切り、電源コードとプリンタに接続しているケーブルをすべて取り外してください。

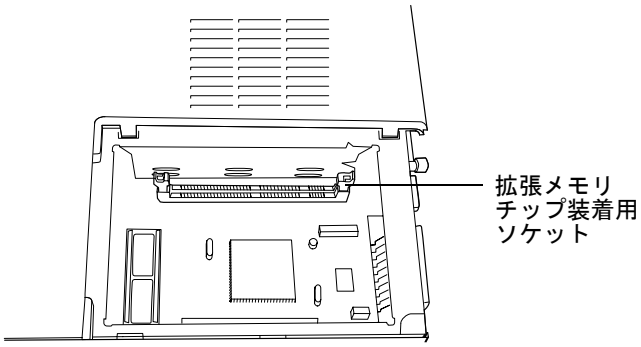
2 プリンタ後面のネジを外してください。



3 下図のように、サイドカバーを取り外してください。

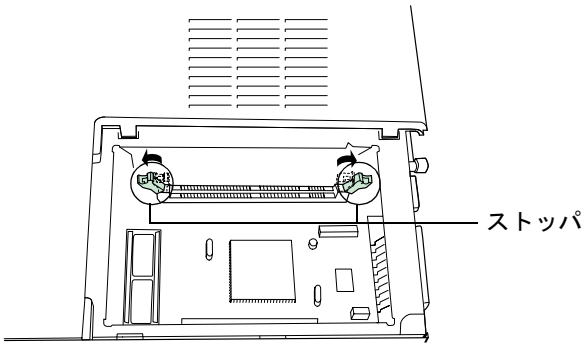


サイドカバーを取り外すと、メイン基板上の拡張メモリチップ装着用ソケットがあります。

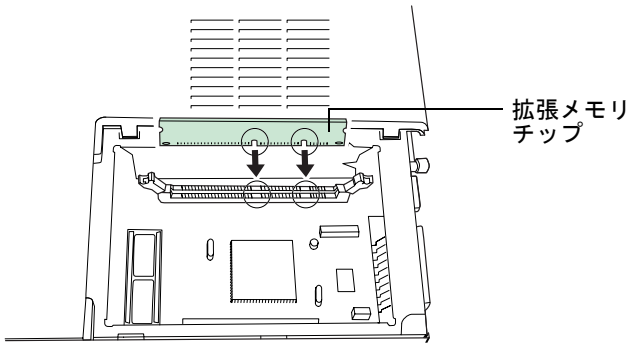


4 オプションの拡張メモリチップをパッケージから取り出します。

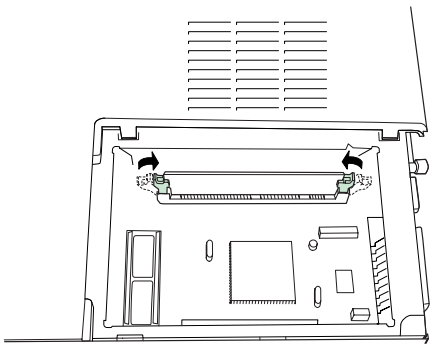
5 拡張メモリソケット両端のストッパを矢印の方向に開いてください。



6 メモリチップの端子部を下側にし、メモリチップの切り欠き部分とソケットの突起部分を合わせてまっすぐ差し込んでください。



7 ストッパを閉じて装着した拡張メモリチップを固定してくだい。



8 拡張メモリチップの装着後、サイドカバーを、取り外したときと逆の手順でプリンタに装着し、ネジで固定してください。

メモリ拡張の確認

拡張メモリチップを装着したら、正しく装着されたか次の方法で確認してください。

1 プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認してから電源コードをプリンタにつなぎ、プリンタの電源を入れてください。

2 プリンタの ↻（オンライン）インジケータが点灯したら、◎ キーを約3秒間押してください。インジケータが上から下へ流れるように点滅したら、指をキーから離してください。

3 しばらくするとステータスページが印字されますので、表示されているメモリの量を確認してください。メモリの増設が正しく行われていれば、装着したメモリチップの情報が表示され、Total memoryの表示が増加しています。（工場出荷時のメモリサイズは4096 KB［＝4 MB］です。）

取り付けたメモリチップを外すには

B-3～B-4ページ1～3の手順でプリンタのサイドカバーを取り外し、メモリチップを固定している両端のツメを外側に開いて、メモリチップを静かに引き抜きます。

付録 C インタフェース

ここでは、プリンタのパラレルインタフェースのピン割り当てや信号の意味などについて解説します。

パラレルインタフェースのコミュニケーションモード C-2
インタフェース信号 C-3

パラレルインタフェースのコミュニケーションモード

本プリンタのパラレルインタフェースは、高速セントロニクス方式による高速データ転送に対応しており、**リモート・オペレーションパネル**でAuto、Nibble（high）、Normal、High-speedモードに切り替えることができます。

お知らせ

コンピュータとの接続には、IEEE1284規格に準拠したプリンタケーブルをお使いください。

Autoモード（初期設定）

接続したコンピュータによって自動的にモードを切り替えます。通常、この設定を変更する必要はありません。

Nibble (high)モード

IEEE1284ニブルモードに準拠した高速転送スピードで、データの送受信を行います。

Normalモード

従来の標準セントロニクス仕様の転送スピードで、データを受信します。

High-speedモード

IEEE1284に準拠した高速転送スピードで、データを受信します。
（ワークステーションに接続した環境で正しく印字できない場合は、このモードに設定してみてください。）

インタフェース信号

パラレルインタフェースコネクタの各ピンの信号は次の表のとおりです。アスタリスク(*)の付いた信号は、負論理の信号であることを示しています。表にはそれぞれの信号がプリンタ側から見て入力か出力かを示しています。

[ ]内はAutoモードとNibble (high)モードでの名前です。AutoモードとNibble (high)モードでは、これらの信号は双方向通信されます。

ピン	入/出力	コンピュータの信号
1	入	Strobe* [nStrobe]
2	入	Data 0 [Data 1]
3	入	Data 1 [Data 2]
4	入	Data 2 [Data 3]
5	入	Data 3 [Data 4]
6	入	Data 4 [Data 5]
7	入	Data 5 [Data 6]
8	入	Data 6 [Data 7]
9	入	Data 7 [Data 8]
10	出	Acknowledge* [nAck]
11	出	Busy [Busy]
12	出	Paper Empty [PError]
13	出	Online (Select) [Select]
14	入	Ignored [nAutoFd]
15	-	使用せず
16	-	0 V DC
17	-	筐体グラウンド
18	-	+5 V DC
19	-	グラウンド
20	-	グラウンド
21	-	グラウンド
22	-	グラウンド
23	-	グラウンド
24	-	グラウンド
25	-	グラウンド
26	-	グラウンド
27	-	グラウンド
28	-	グラウンド
29	-	グラウンド
30	-	グラウンド
31	入	Reset [nInit]
32	出	Error*, returns error status if FRPO O2=2 [nFault]

次ページへ続く

ピン	入/出力	コンピュータの信号
33	-	使用せず
34	-	-
35	出	Power Ready
36	入	使用せず[nSelectIn]

Strobe* [nStrobe] ストローブ(ピン1)

この信号がLからHに変わったときに、プリンタがData 0 [1] からData 7 [8] の信号をラッチ。

Data 0 [1] からData 7 [8](ピン2～9)

コンピュータからプリンタへ送られるデータの1バイトを形成する8本の信号線。Data 7 [8] が最高位ビット。

Acknowledge* [nAck](ピン10)

データ受信の終了をLパルスで表示。

Busy [Busy](ピン11)

データ受信のできない状態をH、受信可能状態をLで表示。

Paper Empty [PError](ピン12)

紙の無い状態をHで表示。

Online [Select](ピン13)

プリンタのオンライン状態をH、オフライン状態をLで表示。

+5 V DC(ピン18)

プリンタの+5 V DCラインに接続。(+5 V±0.5 V、最大400 mA、fused)

Reset [nInit](ピン31)

コンピュータからプリンタをリセットする標準セントロニクス信号。

Error* [nFault](ピン32)

エラー制御時(FRPO O2=2)に、エラー状況を送信。

お知らせ

Paper Empty、On-LineおよびError信号は、FRPO O2パラメータで設定します。

付録 D プリンタの仕様

プリンタの仕様

項目	仕様
印字方式	半導体レーザ＋ポリゴンミラー走査
プリント速度(コピーモード)	A4: 12枚/分(A4)
解像度	600 dpi(水平および垂直)、KIRによるスムージング機能付き 300 dpi(水平および垂直)、KIRによるスムージング機能付き
ファーストプリント(A4横送り)	約13秒(印字するデータによって異なります)
ウォームアップ時間(23 °C)	25秒以下
CPU	PowerPC 75 MHz RISCプロセッサ
メインメモリ	標準4 MB(最大132 MBまで増設可能)
対応OS	Windows 95/98、Windows NT 4.0、Windows 2000
セルフテスト	起動時に実行
最大許容印字枚数	8,000枚/月
標準印字枚数*	1,500枚/月
ドラム	OPC
現像方式	1成分乾式現像
主帯電方式	スコロトロン帯電(＋)
転写方式	ローラ転写(－)
ドラムクリーニング方式	カウンタブレード
定着方式	ヒートローラ熱定着
トナー節約方式	エコプリント(Ecoprint)モード
使用用紙	普通紙(***第5章*** 参照)
廃棄トナー容量	100,000枚以上(A4、印字率約5 %)
用紙サイズ	給紙カセット: リーガル、レター、A4～A5ユニバーサルカセット MPトレイ: 80×148 mm～216×297 mm
給紙枚数	給紙カセット: 約250枚(64 g/m^2 [厚さ0.09 mm]) MPトレイ: 約50枚(64 g/m^2 [厚さ0.09 mm])
排紙トレイ容量	上向き排紙トレイ: 約150枚(64 g/m^2 [厚さ0.09 mm]) 下向き排紙トレイ: 約30枚(64 g/m^2 [厚さ0.09 mm])
設置環境	温度: 10～32.5 °C　　湿度: 20～80 % RH 海抜: 2,000 m以下　　照度: 1,500 lux以下 推奨環境: 23 °C、60 % RH
電源	AC100 V、50/60 Hz
消費電力	最大消費電力: 569 W 通常使用時: 241 W　　待機時: 53 W　　エコパワー時: 5 W
稼動音 (ISO7779に準拠[バイスタンド位置、正面音圧レベル])	プリント時: 48 dB(A) スタンバイ時: 28 dB(A) スリープ時: 測定限界以下
外形寸法	幅 378×高さ 222×奥行き 375 mm(給紙カセットを除く)
本体重量	9.5 kg

*** 標準印字ページとは、本プリンタで日常的に印字する際の目安です。平均の月間印字ページ数を標準印字枚数以内でご使用いただくことにより、本プリンタをより快適にご利用いただくことができます。また、標準印字ページ数は最大で5年間使用するための目安にもなります。**

付録 E 用語集

dpi(dots per inch)

解像度を表す単位です。1インチにプリントするドット数を表します。本プリンタは、600 dpiまたは300 dpiが選択できます。

IEEE1284

プリンタとコンピュータを接続する標準的な規格です。この規格はIEEE(Institute of Electrical and Electronic Engineers)で1994年に制定されました。

KIR(Kyocera Image Refinement)

京セラ独自のスムージング機能です。この機能を使うとソフト的に印字の解像度を向上させ、高品質な印字を行います。初期設定ではオンに設定されています。KIRは**リモート・オペレーションパネル**からオフに切り替えることができます。

Kyocera Mita Digital Library

本プリンタに付属のCD-ROMです。このCD-ROMには、取扱い説明書、プリンタドライバ、ユーティリティソフトなどが添付されています。

京セラミタ・プリントモニタ

ネットワーク上のプリンタの状態を確認できます。付属のCD-ROM(Kyocera Mita Digital Library)に収録されている、ネットワークマネジメントツールです。

MB(mega bytes)

データの量を表す単位です。1 MBは1,024 kB (=1,048,576 bytes)に相当します。

MPトレイ

プリンタの給紙トレイです。封筒、ハガキ、OHPシート、ラベル用紙などを印刷するときは、給紙カセットではなくMPトレイから給紙してください。

RAMディスク

プリンタのメモリ領域を利用した仮想ディスクスペースです。RAMディスクを使うと、電子ソートが利用可能になり、印字時間を短縮できます。

リモート・オペレーションパネル

コンピュータのディスプレイ上に、仮想のプリンタ操作パネルを表示させるユーティリティです。**リモート・オペレーションパネル**を使うと、コンピュータのディスプレイ上でプリンタの基本的な設定を行ったり、コンピュータのディスプレイ上にプリンタの状態や紙詰まりなどのエラーメッセージを表示させたりすることができるようになります。**リモート・オペレーションパネル**は、プリンタに付属のCD-ROM(Kyocera Mita Digital Library)に収録されています。

アウトラインフォント

アウトラインフォントではフォントの輪郭を数式によって記録しており、この数式の値を変更することで文字の拡大、縮小などを行います。フォントの輪郭が数式で記録されているため、拡大しても輪郭のなめらかな美しい印字が行えます。フォントサイズは0.25ポイント単位で最大999.75ポイントまで設定することができます。

エコプリント(Ecoprint)

トナーを節約するための印字モードです。エコプリントモードでの印字は通常モードでの印字よりも薄くなります。初期設定ではエコプリントモードはオフに設定されています。

エミュレーション

他のプリンタと同じように機能することです。本プリンタはPCL(初期設定)、ラインプリンタ、IBM Proprinter、DIABLO 630、EPSON LQ-850のエミュレーションを備えています。エミュレーションは**リモート・オペレーションパネル**から設定することができます。

オフライン

受信したデータを処理しない状態です。印字するには ◎ キーを押してオンラインに切り替えてください。

オンライン

受信したデータを処理して印字できる状態です。

拡張メモリ

プリンタのメモリ容量を増やすための増設用のメモリ(オプション)です。本プリンタは拡張メモリ用のメモリスロットを1つ装備しています。

カセットモード

MPトレイの動作モードです。このモードは、給紙カセットと同じように用紙を連続して給紙することができます(最大約50枚)。このモードは**リモート・オペレーションパネル**から優先モードに切り替えることができます。

ステータスページ

ステータスページを印字すると、搭載メモリ容量、総印字枚数、給紙元の設定などプリンタに関する様々な情報を確認することができます。ステータスページは、プリンタの操作パネルの ◎ キーを3秒以上押すと印字されます。

スリープモード

省電力のために設けられているプリンタの動作モードで、プリンタ本体の操作やデータの送受信が一定の時間行われないとスリープモードに移行します。スリープモード時は電力の消費は最小に抑えられます。スリープモードへの移行時間は初期設定で5秒に設定されていますが、**リモート・オペレーションパネル**から設定を変更することができます。

操作パネル

プリンタ上部の右側にあります。4つのインジケータと2つのキーがあります。各インジケータの点灯、点滅、消灯の状態から、プリンタの現在の状態を知ることができます。また、キーを押すことによって、プリンタのオンラインとオフラインを切り替えたり、印字をキャンセルしたりすることができます。

パラレルインタフェース

パラレルインタフェースを使用した場合、プリンタとコンピュータ間のデータ転送は8ビットで行われます。本プリンタは、IEEE1284準拠の双方向通信に対応しています。

フェイスアップトレイ

プリンタの後面にある排紙トレイで、ハガキ、封筒、ラベル用紙などに印字する際に使用します。

プリスクライブ(PRESCRIBE)コマンド

京セラミタプリンタに搭載されている独自のプリンタ制御言語で、プリンタに必要な様々な設定を行うことができます。また、テキストフォーマットで記述されたわかりやすいコマンドであるため、容易にプログラミングを行うことができます。

プリンタドライバ

アプリケーションで作成したデータを印字するために使用するソフトウェアです。FS-1000+のプリンタドライバは、プリンタに付属のCD-ROM(Kyocera Mita Digital Library)に収録されています。

プロセスユニット

感光ドラムと現像器で構成されています。

優先モード

MPトレイの動作モードです。このモードは、MPトレイに用紙をセットしている場合には他の給紙元を選択していてもMPトレイから優先して給紙します。初期設定では優先モードに設定されていますが、**リモート・オペレーションパネル**からカセットモードに切り替えることができます。

索引

C

CLEANER HOME POSITION *3-9*

D

DIMM *xii*

dpi（dots per inch） *E-2*

E

Ecoprint *2-29*, *E-2*

F

FRPO *2-50*, *6-1*

I

IEEE1284 *E-2*

K

KIR（Kyocera Image Refinement） *2-27*, *E-2*

Kyocera Mita Digital Library *E-2*

M

MB（mega bytes） *E-2*

MPトレイ *1-5*, *E-2*

O

OHPフィルム *5-7*, *5-8*

P

PDF417 二次元スタックシンボル *xi*

R

RAMディスク *2-37*, *E-2*

あ

アウトラインフォント *E-2*

い

一般的な問題 *4-2*

インジケータ *2-3*, *4-5*

印字濃度 *2-25*

印字品質の問題 *4-3*

印字方向 *2-18*

インタフェース共有FRPOパラメータ *6-5*

インタフェース信号 *C-3*

インタフェース独立FRPOパラメータ *6-3*

え

エコプリント *2-29*, *E-2*

エミュレーション *2-34*, *E-2*

エラー表示 *4-8*, *4-11*

お

オフライン *E-3*

オンライン *E-3*

か

解像度 *2-30*

拡張メモリ *B-3*, *E-3*

拡張メモリチップ *xii*

カセットモード *E-3*

紙詰まり *4-6*, *4-13*

紙の状態 *5-3*

き

キー *2-3*

基本重量 *5-4*

給紙元 *2-19*, *2-24*

京セラミタ・プリントモニタ *E-2*

こ

固定資産番号 *2-47*

コピー枚数（印字枚数） *2-17*

さ

再生紙 *5-7*, *5-10*

サイドカバー *B-4*

し

自動改ページ待ち時間 *2-31*

仕様 *D-1*

上部カバー *3-3*

す

ステータスページ *2-3*, *2-4*, *E-3*

スリープモード *2-32*, *E-3*

せ

清掃 *3-7*

繊維の方向 *5-5*

前面カバー *3-7*

そ

操作パネル *2-1*, *2-2*, *E-3*

た

対応拡張メモリ *B-3*

タイムアウト *2-31*

ち

チャージャワイヤ *4-3*, *4-4*

着色紙 *5-7*, *5-10*

て

適正紙の選択 *5-3*

電源 *D-2*

転写ローラ *3-8*

と

特殊な用紙 *5-7*

トナーキット(TK-17) *3-2*

トナーコンテナの交換 *3-2*, *4-6*

な

内蔵フォント *A-2*

ね

ネットワーク・インタフェース *2-36*

は

パラレルインタフェース *E-3*

パラレルインタフェースのコミュニケーションモード *C-2*

ひ

表示言語 *2-39*

ふ

ファームウェア設定 *6-2*

ファームウェアのバージョン *2-5*

封筒 *5-7*, *5-10*

フェイスアップトレイ *4-13*, *E-3*

フォントリスト *A-3*

プリスクライブ・コマンド *2-50*, *E-3*

プリンタとの接続 *2-15*

プリンタドライバ *1-1*, *E-3*

プリンタの設定 *2-41*

プリンタのパスワード *2-42*

プリンタメモリの確認 *2-44*

プレ印刷紙 *5-7*, *5-10*

ブロードキャスト *2-50*

プロセスユニット *3-7*, *E-3*

ほ

保水度 *5-5*

ホストバッファ *2-45*

め

メイン基板 *B-2*

メニュー項目 *2-16*

メモリ拡張の確認 *B-6*

メモリチップの装着 *B-3*

メモリの増設 *B-1*

メンテナンス要求表示 *4-6*

ゆ

優先モード *1-5*, *E-4*

よ

用紙サイズ *2-20*, *5-4*

用紙成分 *5-3*

用紙タイプ(用紙の厚さ) *2-22*

用紙に関するその他の仕様 *5-6*

用紙について *5-1*

用紙の厚さ *5-5*

用紙の基本仕様 *5-2*

用紙の滑らかさ *5-4*

ら

ラベル用紙 *5-7*, *5-8*

り

リソースリスト *2-48*

リモート・オペレーションパネル *2-6*, *E-2*

リモート・オペレーションパネルのインストール *2-7*

リモート・オペレーションパネルの起動 *2-9*

リモート・オペレーションパネルの基本設定 *2-12*

リモート・オペレーションパネルの名称と機能 *2-10*

れ

レジストローラ *3-8*

ろ

ロックレバー *3-3*

KYOCERA
mita